

目次

第1章 調査概要と回答者の属性	3
1 調査の趣旨.....	3
2 調査設計.....	3
(1) 調査の方法.....	3
(2) 報告書の見方.....	3
3 調査結果の分析内容.....	4
4 調査の回答状況.....	5
(1) 調査の回答者数・回答率.....	5
(2) 性別及び区域・地区別にみた調査対象者・回答者の構成割合.....	6
(3) 年齢階級別回答率.....	10
5 結果のまとめ.....	12
(1) 回答率.....	12
(2) 介護予防事業対象者の出現率.....	12
(3) 基本チェックリストの回答結果.....	12
(4) 独自設問の回答結果.....	13
(5) 総括.....	14
第2章 町全体の調査結果	17
1 町の高齢者像.....	17
2 健康自立度からみた高齢者像.....	18
3 一般高齢者・介護予防事業対象者の状況.....	19
(1) 性別・年齢別にみる介護予防事業対象者の割合.....	19
(2) 区域・地区別にみる介護予防事業対象者の割合.....	20
(3) 介護予防事業対象者の性別・年齢階級別出現率.....	21
(4) 点数別介護予防事業対象者数.....	22
(5) 基本チェックリスト25設問の回答結果.....	23
4 介護予防事業対象者及びリスク別出現率の経年変化.....	27
5 リスク別出現率の特徴.....	28
(1) 性別・年齢階級別にみた特徴.....	28
(2) 区域・地区別にみた特徴.....	29
6 他リスクとの重複.....	30
第3章 地区別の調査結果	35
1 殿ヶ谷地区.....	35
2 石畑・武蔵地区.....	38
3 元狭山地区.....	41
4 箱根ヶ崎地区.....	44
5 松原地区.....	47
6 長岡地区.....	50
7 都営地区.....	53
8 武蔵野地区.....	56

第4章 日常生活支援事業に関わる設問.....61

1	家族構成及び健康状態.....	61
	(1) 現在の家族構成.....	61
	(2) 現在の健康状態.....	63
2	人との交流について.....	65
	(1) 相談できる人の有無.....	65
	(2) 近所付き合いの程度.....	67
3	孤食について.....	69
	(1) 孤食の有無.....	69
	(2) 孤食による孤独感の有無.....	71
4	歯の健康について.....	73
	(1) 義歯の使用状況.....	73
	(2) 1年に1回以上、歯医者に行く.....	75
5	外出の状況.....	77
	(1) 外出がおっくうだと感じる.....	77
	(2) 外出がおっくうだと感じる理由.....	79
6	物忘れの状況.....	81
	(1) 探し物をする事や物忘れ.....	81
7	スマートフォン等の使用状況.....	83
	(1) スマートフォン等の所持状況.....	83
	(2) 使用しているアプリ.....	85
	(3) スマートフォン等の使い方教室等の参加意向.....	87
8	日常生活の手助けについて.....	89
	(1) 日常生活の手助けをしてほしいこと.....	89
	(2) 子育て家庭や高齢者の日常生活で手伝いできること.....	94
9	活動への参加.....	99
	(1) 参加している活動.....	99
	(2) 活動に参加していない理由.....	101
	(3) 通いの場（体操教室等）やサロンの認知度.....	103
	(4) 体操教室やサロン等への参加意向.....	105

資料編..... 109

1	電算処理の設定条件.....	109
2	使用した帳票類.....	113
	(1) 調査票.....	113
	(2) 結果アドバイス票.....	115

第1章

調査概要と回答者の属性

第1章 調査概要と回答者の属性

1 調査の趣旨

介護予防とは、元気な高齢者になるべく要介護状態にならないように、そして介護が必要な人もそれ以上悪化させないようにする取り組みです。元気なうちから取り組んでいく必要があるのは、生活習慣病などの病気の予防も介護予防も同じことです。介護予防は生涯を通じて自立した暮らしを支えていくことを目指しています。

また、介護予防の充実を図るための対策の一つとして、「虚弱」「運動器の機能」「栄養状態」「口腔機能」「閉じこもり」「認知症」「うつ」などに関する設問で構成された「基本チェックリスト」を活用し介護予防事業対象者を把握しています。

瑞穂町では、町内の要支援・要介護認定者を除く65歳以上の全高齢者を対象とした「基本チェックリスト」により、要介護状態となる恐れのある高齢者を早期に把握し、また、その調査結果の各リスクを数値化し、介護予防事業の対象者に介護予防事業を効果的に展開すること、あわせて「介護予防・日常生活支援総合事業」の町民ニーズ等を把握することを目的に、今回の調査を実施しました。

2 調査設計

(1) 調査の方法

調査票作成	国が示した基本チェックリスト（25 設問）に町独自設問（20 設問）を追加して、「令和3年度瑞穂町介護予防を推進するための基本チェックリスト」を作成しました。
調査対象者	令和3年4月1日現在、町内在住の65歳以上で要支援・要介護認定を受けていない方を対象としました。
調査方法	郵送による配布・回収で実施しました。
調査期間	令和3年9月8日～令和3年9月17日としました。 また、期限後の回答を考慮し、令和3年12月24日回収分までを集計に含めました。
判定・集計	基本チェックリスト（25 設問）については、国が示した基準に基づいて判定を行いました。 独自設問については、今後の「日常生活支援総合事業」実施に向けた判定を行いました。

(2) 報告書の見方

- 集計表やグラフの%表示は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答の設問では、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- 対象者1人で複数のリスクに該当する重複該当者がいるため、リスク該当者数の合計数が回答者数を上回る場合があります。
- 設問において、年代、地域など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値とは一致しません。
- 箱根ヶ崎東松原と箱根ヶ崎西松原を「松原地区」と設定し、分析しています。
- 武蔵野地区から都営地区を分けて、分析しています。

3 調査結果の分析内容

調査結果の分析にあたっては、以下の項目の分析を行い、町の介護予防事業のあり方や事業効果等について検証しました。

一般高齢者	回答者のうち、介護予防事業対象者に該当しなかった方
介護予防事業対象者	基本チェックリスト（25 設問）の回答結果について、国が示した基準で判定し、「生活機能低下リスク」「運動機能低下リスク」「低栄養リスク」「口腔機能低下リスク」「閉じこもりリスク」「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」のいずれかに該当した方（判定の詳細は資料編に記載）

分析 1 一般高齢者と介護予防事業対象者の割合

町の高齢者像を把握するために、一般高齢者、介護予防事業対象者の構成割合を分析しました。

分析 2 介護予防事業対象者の出現率

介護予防事業対象者の出現率を、性別・年齢階級別、地区別、リスク別に分析しました。

分析 3 基本チェックリスト 25 設問の回答結果

介護予防事業対象者となった要因を把握するために、基本チェックリスト 25 設問の回答結果を、性別・年齢階級別に分析しました。

分析 4 地区別のリスク該当状況

7種類のリスクに該当している割合について、性別・年齢階級別、地区別に分析しました。

分析 5 日常生活支援事業に関する設問の回答結果

「介護予防・日常生活支援総合事業」充実に向けて生活支援のニーズを把握するために、性別・年齢階級別、リスク別、地区別に回答結果を分析しました。

4 調査の回答状況

(1) 調査の回答者数・回答率

町全体における調査対象者数は 7,751 人、回答者数は 6,228 人で、回答率は 80.4% となっています。

性別では、女性が 82.7%、男性が 77.8%と女性の方が回答率は高くなっています。

区域別では、瑞穂中学校区域が 80.6%、二中区域が 80.1%となっています。

地区別では、箱根ヶ崎地区で 83.7%、武蔵野地区で 81.9%と、他地区に比べて高くなっています。

図表 1.1 調査の回答者数・回答率（性別、区域・地区別）

項目	調査対象者数（人）	回答者数（人）	回答率（%）
町全体	7,751	6,228	80.4
男性	3,744	2,914	77.8
女性	4,007	3,314	82.7
瑞穂中学校区域	4,484	3,612	80.6
殿ヶ谷地区	602	466	77.4
石畑・武蔵地区	838	675	80.5
元狭山地区	1,484	1,166	78.6
箱根ヶ崎地区	1,560	1,305	83.7
二中区域	3,267	2,616	80.1
松原地区	816	652	79.9
長岡地区	1,000	800	80.0
都営地区	468	359	76.7
武蔵野地区	983	805	81.9

(2) 性別及び区域・地区別にみた調査対象者・回答者の構成割合

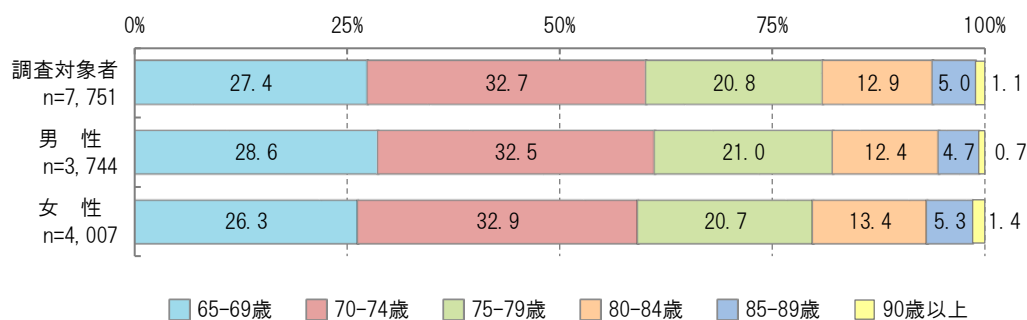
回答者の年齢階級別構成割合をみると、町全体では「70～74 歳」が 33.2%と最も高く、次いで「65～69 歳」が 25.0%となっており、前期高齢者（65～74 歳）で町全体の 58.2%を占めています。

性別では、「70～74 歳」が男女ともに最も高く、男性は 32.9%、女性は 33.4%となっています。

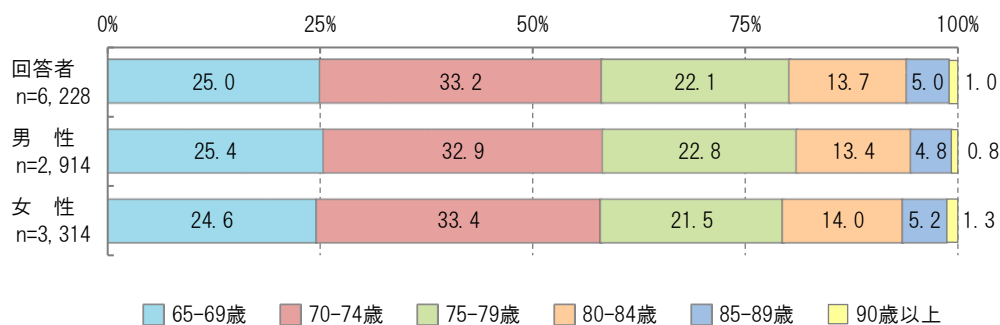
区域別では、瑞穂中学校区域、二中区域ともに各年代の割合が町全体とほぼ同じ傾向を示しています。

地区別では、前期高齢者（65～74 歳）は松原地区（66.8%）、武蔵野地区（61.3%）、元狭山地区（61.1%）で 60%を超えています。一方、都営地区は後期高齢者（75 歳以上）が 61.3%と、他地区に比べて高くなっており、特に「80～84 歳」が 22.6%、「85～89 歳」が 11.7%と高くなっています。回答者の平均年齢も都営地区は 76.8 歳と最も高く、最も低い松原地区（73.2 歳）とは 3.6 歳の開きがあります。

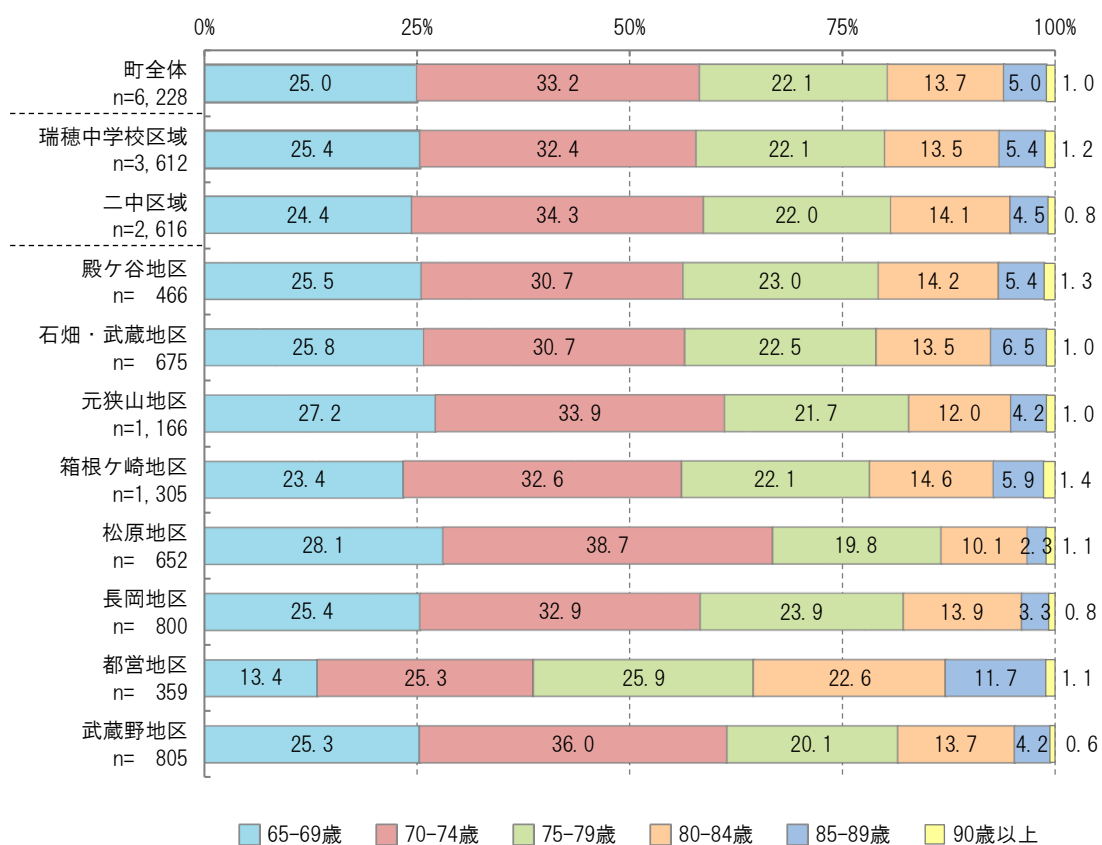
図表 1.2 調査対象者の年齢階級別構成割合（性別）



図表 1.3 回答者の年齢階級別構成割合（性別）



図表 1.4 回答者の年齢階級別構成割合（区域・地区別）



図表 1.5 調査対象者の性別・年齢階級別人口構成（区域・地区別）

上段：人/下段：%

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90歳以上		計		平均年齢
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
調査対象者	1,072 (28.6)	1,054 (26.3)	1,217 (32.5)	1,317 (32.9)	787 (21.0)	829 (20.7)	465 (12.4)	537 (13.4)	176 (4.7)	212 (5.3)	27 (0.7)	58 (1.4)	3,744 (100.0)	4,007 (100.0)	73.9
瑞穂中学校区域	642 (29.4)	614 (26.6)	689 (31.6)	734 (31.9)	459 (21.1)	475 (20.6)	264 (12.1)	312 (13.5)	109 (5.0)	129 (5.6)	17 (0.8)	40 (1.7)	2,180 (100.0)	2,304 (100.0)	73.9
二中区域	430 (27.5)	440 (25.8)	528 (33.8)	583 (34.2)	328 (21.0)	354 (20.8)	201 (12.9)	225 (13.2)	67 (4.3)	83 (4.9)	10 (0.6)	18 (1.1)	1,564 (100.0)	1,703 (100.0)	73.8
殿ヶ谷地区	92 (31.5)	81 (26.1)	90 (30.8)	92 (29.7)	66 (22.6)	64 (20.6)	32 (11.0)	48 (15.5)	11 (3.8)	19 (6.1)	1 (0.3)	6 (1.9)	292 (100.0)	310 (100.0)	74.0
石畑・武蔵地区	131 (31.3)	105 (25.0)	122 (29.2)	138 (32.9)	85 (20.3)	84 (20.0)	47 (11.2)	68 (16.2)	30 (7.2)	21 (5.0)	3 (0.7)	4 (1.0)	418 (100.0)	420 (100.0)	74.0
元狭山地区	222 (30.8)	230 (30.1)	236 (32.7)	247 (32.4)	152 (21.1)	155 (20.3)	76 (10.5)	88 (11.5)	30 (4.2)	31 (4.1)	5 (0.7)	12 (1.6)	721 (100.0)	763 (100.0)	73.4
箱根ヶ崎地区	197 (26.3)	198 (24.4)	241 (32.2)	257 (31.7)	156 (20.8)	172 (21.2)	109 (14.6)	108 (13.3)	38 (5.1)	58 (7.2)	8 (1.1)	18 (2.2)	749 (100.0)	811 (100.0)	74.4
松原地区	131 (32.7)	126 (30.4)	144 (35.9)	163 (39.3)	76 (19.0)	72 (17.3)	35 (8.7)	39 (9.4)	12 (3.0)	11 (2.7)	3 (0.7)	4 (1.0)	401 (100.0)	415 (100.0)	72.8
長岡地区	133 (26.8)	146 (29.0)	160 (32.3)	166 (32.9)	120 (24.2)	110 (21.8)	68 (13.7)	62 (12.3)	11 (2.2)	17 (3.4)	4 (0.8)	3 (0.6)	496 (100.0)	504 (100.0)	73.5
都宮地区	28 (14.9)	45 (16.1)	56 (29.8)	67 (23.9)	38 (20.2)	73 (26.1)	41 (21.8)	57 (20.4)	24 (12.8)	33 (11.8)	1 (0.5)	5 (1.8)	188 (100.0)	280 (100.0)	76.5
武蔵野地区	138 (28.8)	123 (24.4)	168 (35.1)	187 (37.1)	94 (19.6)	99 (19.6)	57 (11.9)	67 (13.3)	20 (4.2)	22 (4.4)	2 (0.4)	6 (1.2)	479 (100.0)	504 (100.0)	73.6

図表 1.6 回答者の性別・年齢階級別人口構成（区域・地区別） 上段：人/下段：%

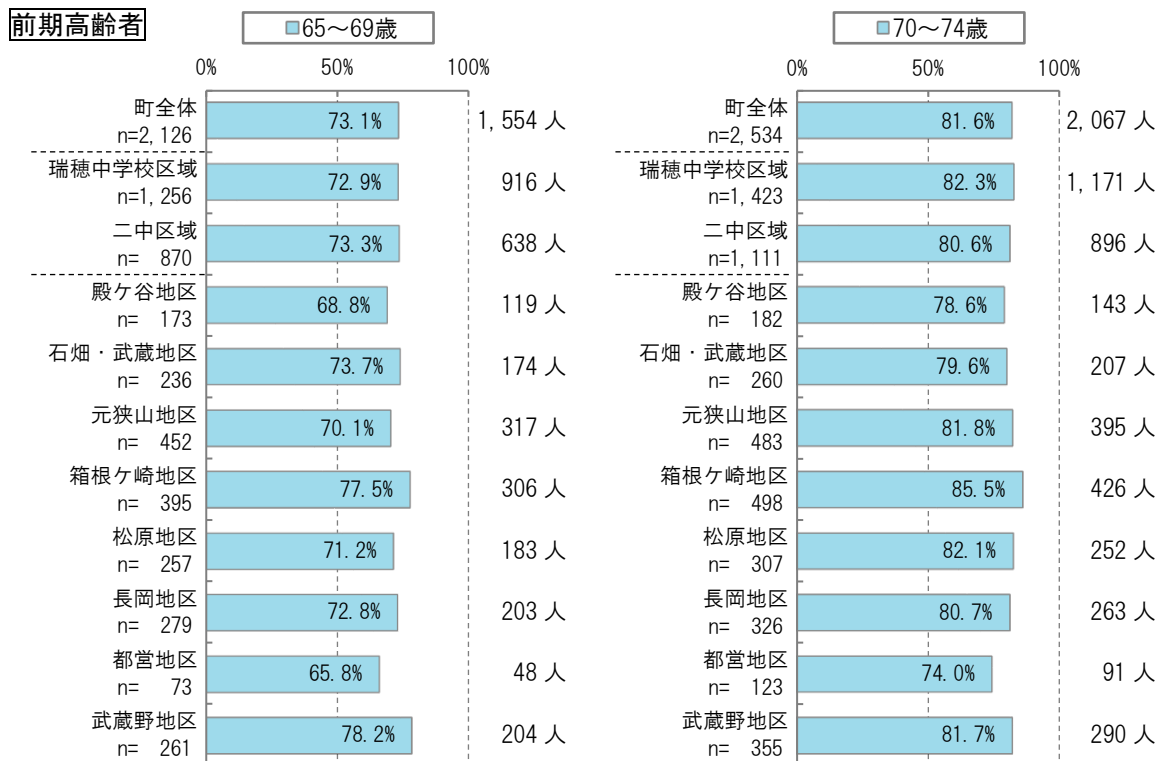
	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85～89歳		90歳以上		計		平均年齢
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
回答者	739 (25.4)	815 (24.6)	959 (32.9)	1,108 (33.4)	664 (22.8)	711 (21.5)	390 (13.4)	465 (14.0)	140 (4.8)	172 (5.2)	22 (0.8)	43 (1.3)	2,914 (100.0)	3,314 (100.0)	74.2
瑞穂 中学校 区域	449 (26.3)	467 (24.5)	547 (32.1)	624 (32.7)	390 (22.9)	410 (21.5)	217 (12.7)	270 (14.2)	89 (5.2)	106 (5.6)	13 (0.8)	30 (1.6)	1,705 (100.0)	1,907 (100.0)	74.2
二中 区域	290 (24.0)	348 (24.7)	412 (34.1)	484 (34.4)	274 (22.7)	301 (21.4)	173 (14.3)	195 (13.9)	51 (4.2)	66 (4.7)	9 (0.7)	13 (0.9)	1,209 (100.0)	1,407 (100.0)	74.1
殿ヶ谷 地区	65 (29.1)	54 (22.2)	67 (30.0)	76 (31.3)	51 (22.9)	56 (23.0)	28 (12.6)	38 (15.6)	11 (4.9)	14 (5.8)	1 (0.4)	5 (2.1)	223 (100.0)	243 (100.0)	74.4
石畑・ 武蔵 地区	94 (28.1)	80 (23.5)	95 (28.4)	112 (32.8)	78 (23.4)	74 (21.7)	37 (11.1)	54 (15.8)	27 (8.1)	17 (5.0)	3 (0.9)	4 (1.2)	334 (100.0)	341 (100.0)	74.4
元狭山 地区	146 (26.9)	171 (27.4)	186 (34.3)	209 (33.5)	124 (22.8)	129 (20.7)	61 (11.2)	79 (12.7)	22 (4.1)	27 (4.3)	4 (0.7)	8 (1.3)	543 (100.0)	623 (100.0)	73.7
箱根ヶ崎 地区	144 (23.8)	162 (23.1)	199 (32.9)	227 (32.4)	137 (22.6)	151 (21.6)	91 (15.0)	99 (14.1)	29 (4.8)	48 (6.9)	5 (0.8)	13 (1.9)	605 (100.0)	700 (100.0)	74.5
松原 地区	86 (27.2)	97 (28.9)	118 (37.3)	134 (39.9)	67 (21.2)	62 (18.5)	35 (11.1)	31 (9.2)	7 (2.2)	8 (2.4)	3 (0.9)	4 (1.2)	316 (100.0)	336 (100.0)	73.2
長岡 地区	84 (22.2)	119 (28.3)	126 (33.2)	137 (32.5)	98 (25.9)	93 (22.1)	56 (14.8)	55 (13.1)	11 (2.9)	15 (3.6)	4 (1.1)	2 (0.5)	379 (100.0)	421 (100.0)	73.8
都営 地区	18 (13.0)	30 (13.6)	37 (26.8)	54 (24.4)	32 (23.2)	61 (27.6)	33 (23.9)	48 (21.7)	17 (12.3)	25 (11.3)	1 (0.7)	3 (1.4)	138 (100.0)	221 (100.0)	76.8
武蔵野 地区	102 (27.1)	102 (23.8)	131 (34.8)	159 (37.1)	77 (20.5)	85 (19.8)	49 (13.0)	61 (14.2)	16 (4.3)	18 (4.2)	1 (0.3)	4 (0.9)	376 (100.0)	429 (100.0)	73.8

(3) 年齢階級別回答率

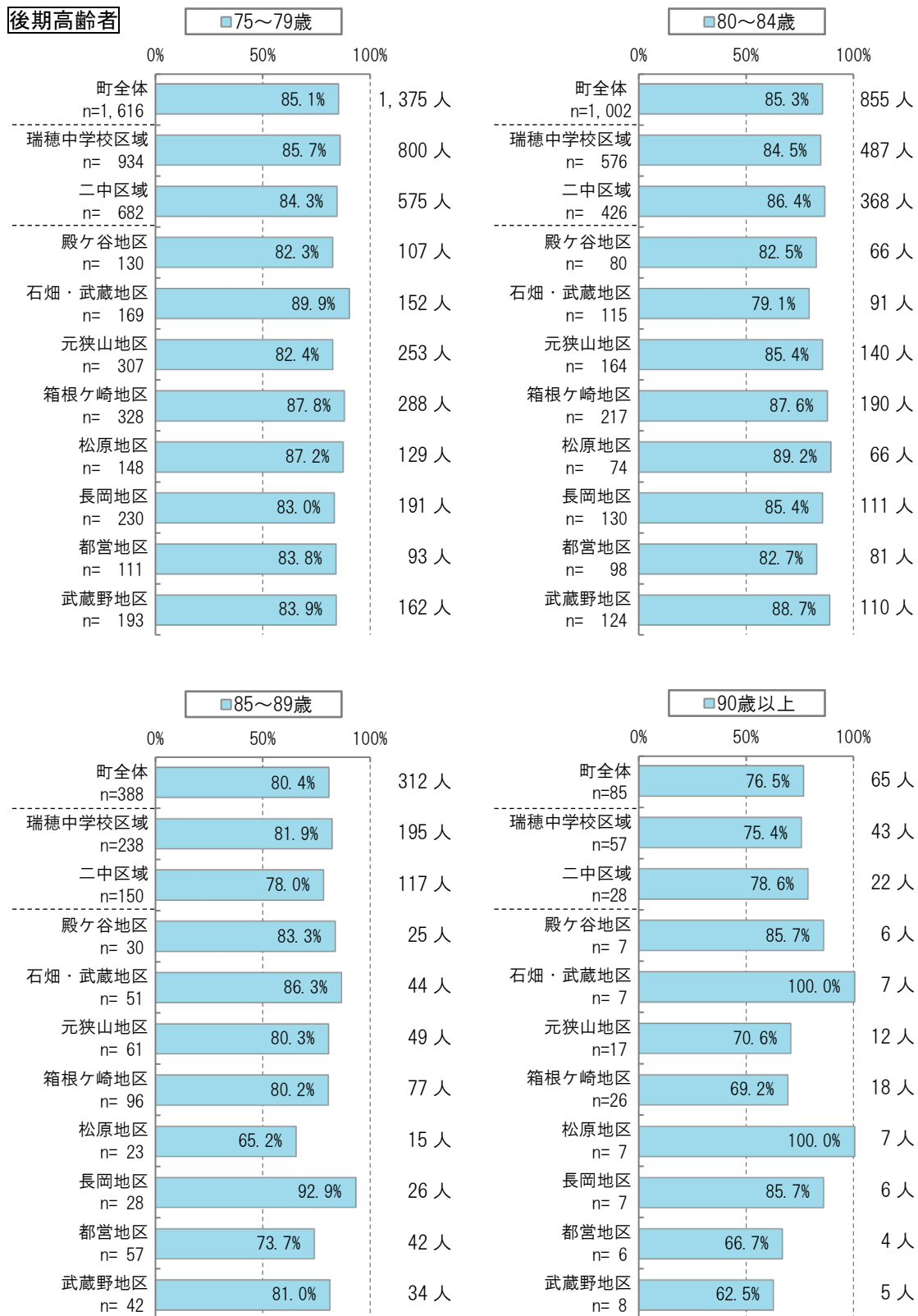
年齢階級別回答率をみると、町全体では「80～84 歳」が 85.3%と最も高く、「75～79 歳」で 85.1%、「70～74 歳」で 81.6%と続きます。

地区別にみると、前期高齢者（65～74 歳）は都営地区、殿ヶ谷地区が他地区に比べて低くなっています。「75～79 歳」は石畑・武蔵地区が 89.9%、「80～84 歳」は松原地区が 89.2%と、他地区に比べて高くなっています。

図表 1.7 年齢階級別回答率（地区別）



後期高齢者



5 結果のまとめ

(1) 回答率

町全体における調査対象者数は 7,751 人、回答者数は 6,228 人となっています。これは調査対象者の 80.4%にあたり、前回（平成 30 年度）の回答率（85.1%）を 4.7 ポイント下回っています。

(2) 介護予防事業対象者の出現率

今回（令和 3 年度）の介護予防事業対象者出現率は 57.3%で、前回（平成 30 年度）の調査結果（53.5%）と比較すると、3.8 ポイント高くなっています。

前期高齢者・後期高齢者別にみると、後期高齢者の介護予防事業対象者出現率が 65.6%と、前期高齢者の 51.4%を大きく上回っています。

性別・年齢階級別では、「65～69 歳」「70～74 歳」「85～89 歳」では男性の割合が女性を上回っています。前期高齢者（65～74 歳）では出現率は約 50%、「75～79 歳」では約 60%、「85～89 歳」になると約 80%に上昇しています。

地区別では、都営地区が 68.5%と最も高くなっており、次いで長岡地区（58.9%）、元狭山地区（58.1%）となっています。一方、松原地区が 52.5%と最も低く、次いで箱根ヶ崎地区（55.7%）、殿ヶ谷地区（56.7%）となっています。

町全体のリスク別出現率は、「生活機能低下リスク」6.6%、「運動機能低下リスク」15.6%、「低栄養リスク」3.7%、「口腔機能低下リスク」19.3%、「閉じこもりリスク」8.3%、「物忘れリスク」33.3%、「うつ傾向リスク」26.7%となっています。平成 27 年度及び平成 30 年度調査結果と比較すると、「運動機能低下リスク」を除いて、最も高い割合となっています。

(3) 基本チェックリストの回答結果

基本チェックリスト 25 設問の回答結果をみると、男性では「預貯金の出し入れをしていない」「友人の家を訪ねていない」「家族や友人の相談にのっていない」（生活機能全般リスク）、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」（口腔機能低下リスク）、「自分で電話番号を調べて電話をかけていない」（物忘れリスク）、「自分が役に立つ人間だと思えない」（うつ傾向リスク）などの割合が女性に比べて高くなっています。

女性では「階段を手すりや壁をつたわって昇っている」「椅子から何かにつかまって立ち上がっている」「転倒に対する不安が大きい」（運動機能低下リスク）、「やせている（BMI が 18.5 未満）」（低栄養リスク）、「口の渇きが気になる」（口腔機能低下リスク）、「昨年と比べて外出の回数が減った」（閉じこもりリスク）などの割合が男性に比べて高くなっています。また、女性は「80～84 歳」の年齢階級で上昇する項目が多くみられます。

(4) 独自設問の回答結果

独自設問のうち、家族構成については、「65歳以上の高齢者のみの世帯」が41.4%と最も高く、「子や孫、親族等との同居世帯」が37.3%、「ひとり暮らし」が13.5%となっています。

近所付き合いの程度は、「会えばあいさつをする程度」が34.3%と最も高く、次いで「たまに世間話をする」が34.1%、「困ったときに相談や助け合いをする」が17.6%となっています。

孤食の状況については、「ほとんどない」が45.6%と最も高く、次いで「たまにある」が28.5%、「毎食」が19.8%となっています。「毎食」は女性が21.0%と、男性(18.5%)を2.5ポイント上回っており、概ね年齢階級が上がるにつれ上昇傾向にあり、「90歳以上」では35.4%となっています。「毎食」と「1週間に半分以上」を合わせた割合は、「85～89歳」では40.8%と最も高くなっています。

外出の状況については、外出がおっくうだと感じるものが「時々ある」が33.7%、「よくある」が5.2%となっています。「時々ある」と「よくある」を合わせた割合は、85歳以上になると50%を超えています。その理由について、84歳までは「『出かけたい』と考える外出先が少ないから」が最も高く、85歳以上では「自身の健康面に不安があるから」が最も高くなっています。

スマートフォン等の所持状況については、男女ともに、「スマートフォン」が最も高く、男性が53.2%と、女性(47.7%)を5.5ポイント上回っています。スマートフォン等を持っている割合は、年齢階級が上がるにつれ低下しており、「65～69歳」では86.7%と最も高く、80歳以上になると50%を下回っています。

スマートフォン等の使い方教室等に参加したい割合は24.6%となっており、女性が26.5%と、男性(22.5%)を4.0ポイント上回っています。

日常生活で何らかの手助けをしてほしい割合は、女性が25.3%と、男性(15.6%)を9.7ポイント上回っています。また、ほとんどの項目で女性が男性を上回り、「電球の取り換え」は8.0ポイント、「家具の移動」は6.6ポイント上回っています。

子育て家庭や高齢者の日常生活で手伝いできることについては、「買物」が17.6%と最も高く、次いで「話し相手」が16.6%、「ゴミ出し」が15.4%となっています。

男性は、「買物」が18.5%と最も高く、次いで「電球の取り換え」が17.9%、「車での送迎」が17.7%となっています。女性は、「話し相手」が19.7%と最も高く、次いで「買物」が16.9%、「ゴミ出し」が14.9%となっています。

社会参加の状況については、何らかの活動に参加している割合は56.0%で、「趣味活動」「収入のある仕事」「町内会活動」の順となっています。特に、女性では「体操教室」や「町内会活動」、男性では「収入のある仕事」や「町内会活動」などの割合が高くなっています。「収入のある仕事」「町内会活動」は男性が女性を上回り、「体操教室」は女性が男性を上回っています。

(5) 総括

町の高齢者数は、後期高齢者の割合が増加しており、介護予防事業対象者の出現率は上昇傾向にあります。近年の新型コロナウイルス感染症の流行により、これまでのような外出や運動を控えたり、地域活動への参加等が減少したりという状況において、生活機能の低下が懸念されます。

後期高齢者では「低栄養リスク」「閉じこもりリスク」「物忘れリスク」の出現率が上昇傾向にあり、前期高齢者においても「低栄養リスク」「口腔機能低下リスク」「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」の出現率が上昇傾向となっています。「口腔機能低下リスク」「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」は重複該当者が多いことから、相互に改善を図る取り組みが必要となります。

「口腔機能低下リスク」は男女ともに75歳以上で20%を超えており、口腔機能の低下により、低栄養や認知機能の低下につながることはないよう、早い段階から口腔ケアに取り組む必要があります。

また、「低栄養リスク」については、年齢とともに孤食の頻度が増え、さらに感染症の影響で会食の機会が減ることで、栄養の偏りや食事量の減少も懸念されます。

新型コロナウイルス感染症等による生活様式の変化に伴い、地域交流、社会参加などのあり方を検討し、介護予防事業に生かしていくことが求められます。

第2章

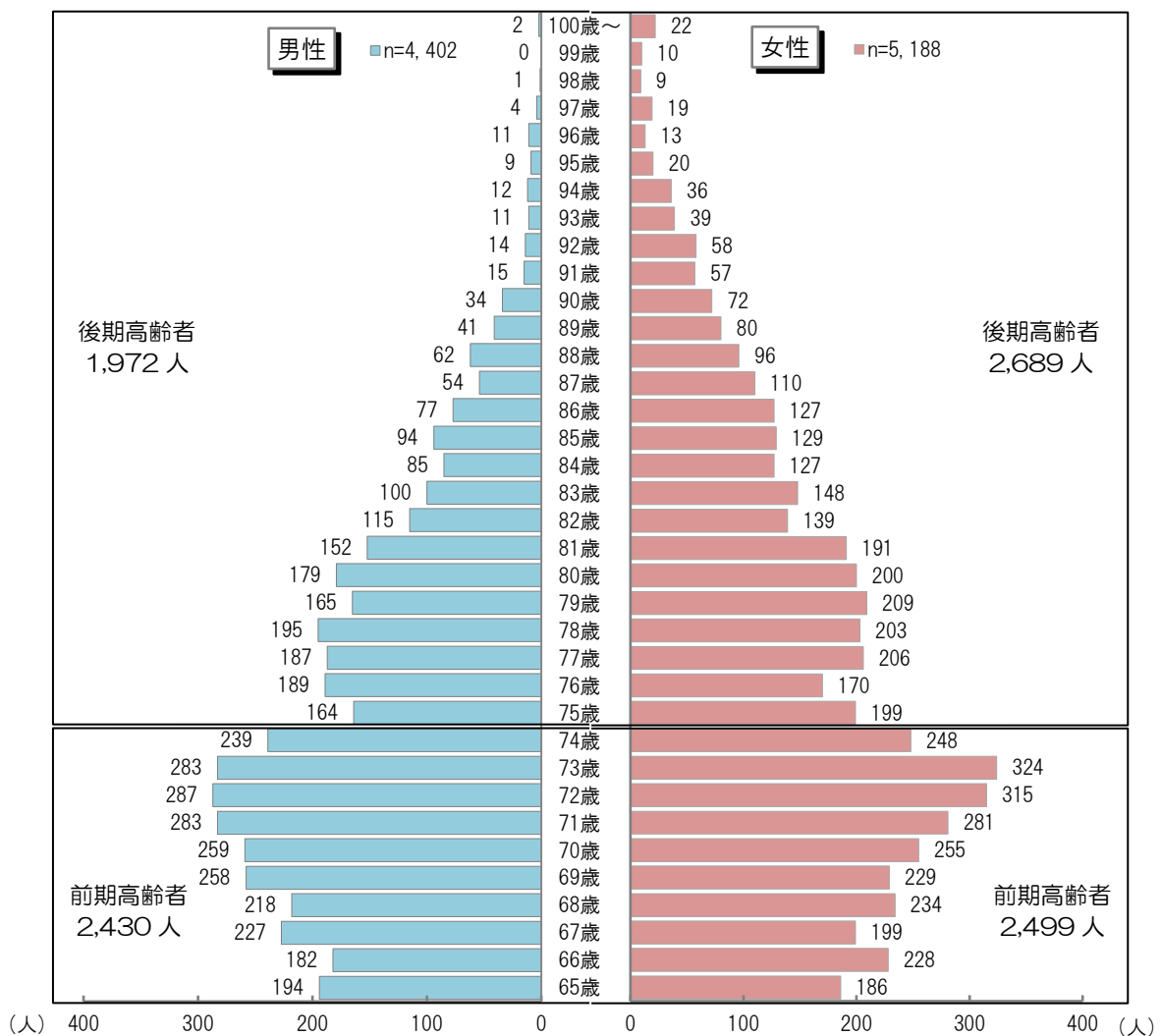
町全体の調査結果

第2章 町全体の調査結果

1 町の高齢者像

町の高齢者人口を1歳階級別にみると、前期高齢者では男性は72歳、女性は73歳で、後期高齢者では男性は78歳、女性は79歳で最も多くなっています。また、女性では100歳以上の人数が22人となっています。人数構成をみると、前期高齢者人口は女性が男性より約70人多く、後期高齢者人口は女性が男性より約700人多くなっています。

図表 2.1 瑞穂町 65歳以上男女別の人口ピラミッド



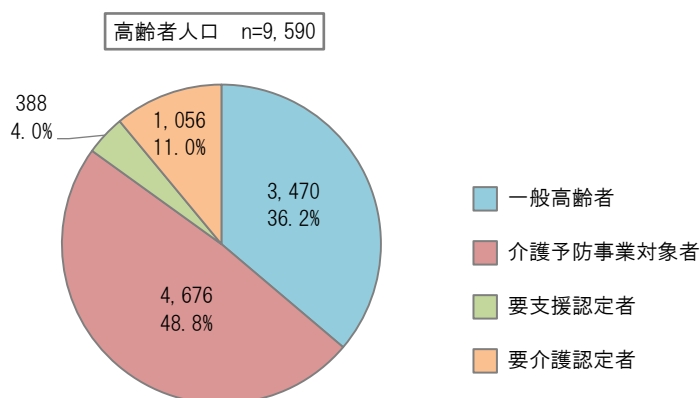
※出典：瑞穂町ホームページ 人口構成と世帯数（令和3年9月1日現在）

2 健康自立度からみた高齢者像

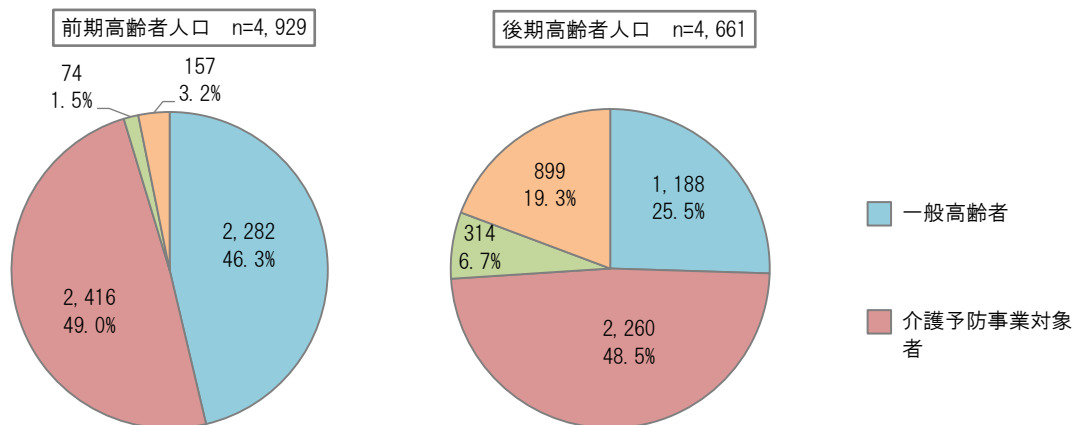
調査結果から町の一般高齢者数と介護予防事業対象者数を計算し、高齢者を健康自立度別に4分類すると、介護予防事業対象者が48.8%と5割近くを占め、一般高齢者が36.2%、要支援認定者が4.0%、要介護認定者が11.0%となっています。

同様に、前期高齢者と後期高齢者を健康自立度別に4分類すると、前期高齢者では一般高齢者が46.3%、介護予防事業対象者が49.0%であるのに対して、後期高齢者では一般高齢者が25.5%、介護予防事業対象者が48.5%となっています。

図表 2.2-1 健康自立度【4分類】からみた高齢者像（全体）



図表 2.2-2 健康自立度【4分類】からみた高齢者像（前期高齢者・後期高齢者）



※高齢者人口及び認定者数は、令和3年9月1日現在の実数。

3 一般高齢者・介護予防事業対象者の状況

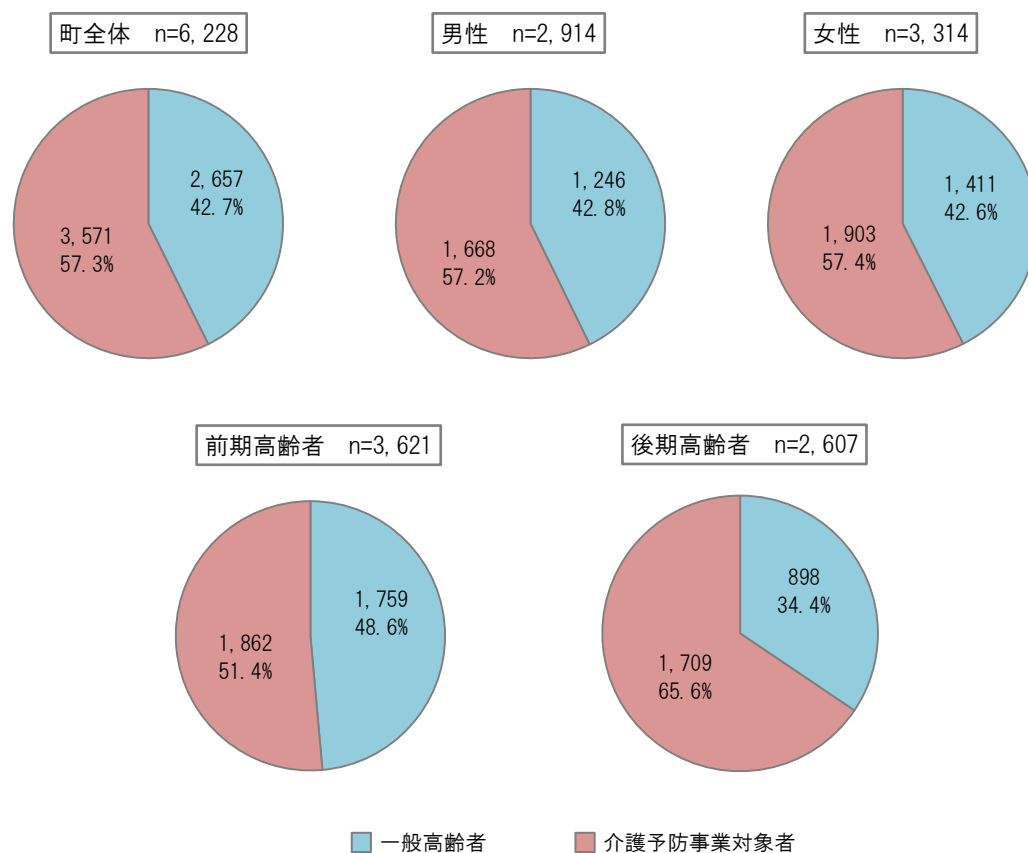
(1) 性別・年齢別にみる介護予防事業対象者の割合

回答者における一般高齢者の割合は42.7%、介護予防事業対象者は57.3%となっています。

性別では、大きな差はみられません。

前期高齢者・後期高齢者別に介護予防事業対象者の割合をみると、後期高齢者(65.6%)が前期高齢者(51.4%)を14.2ポイント上回っています。

図表 2.3 介護予防事業対象者の割合（性別、前期高齢者・後期高齢者別）

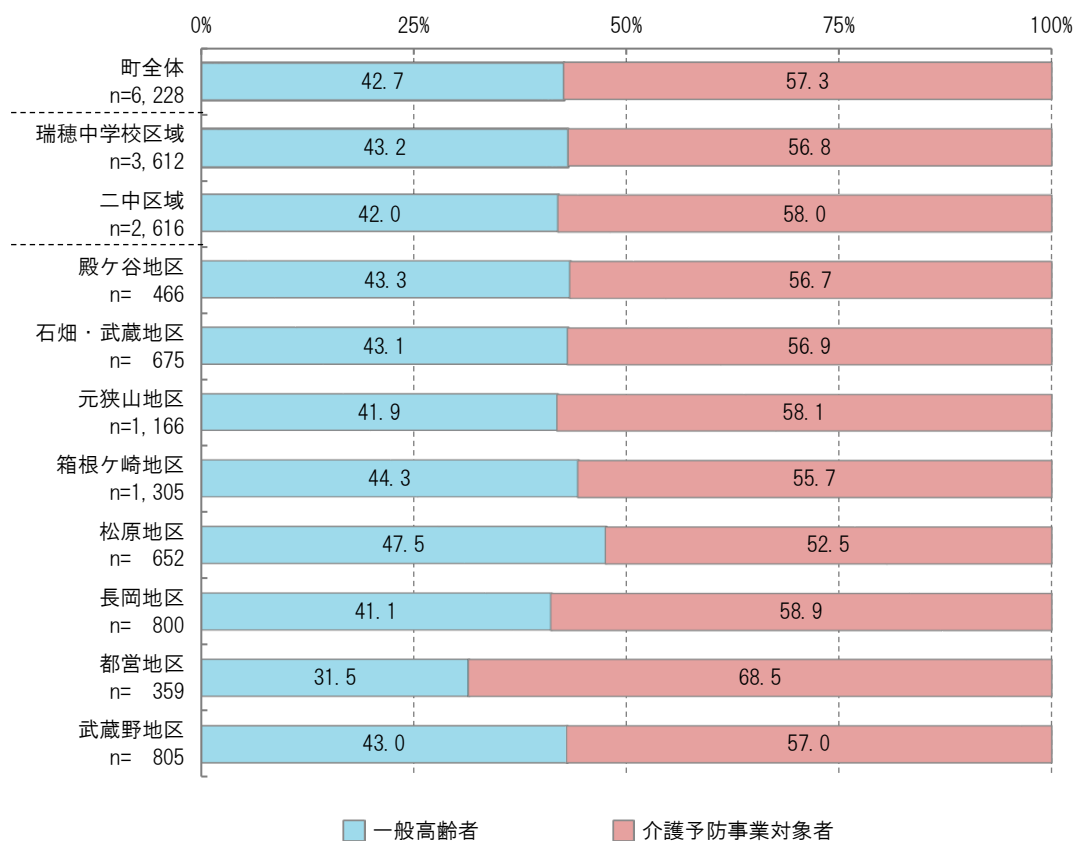


(2) 区域・地区別にみる介護予防事業対象者の割合

区域別に介護予防事業対象者の割合をみると、瑞穂中学校区域（56.8%）が二中区域（58.0%）を1.2ポイント下回っています。

地区別に介護予防事業対象者の割合をみると、都営地区が68.5%と最も高くなっており、次いで長岡地区（58.9%）、元狭山地区（58.1%）となっています。一方、松原地区が52.5%と最も低く、次いで箱根ヶ崎地区（55.7%）、殿ヶ谷地区（56.7%）となっています。

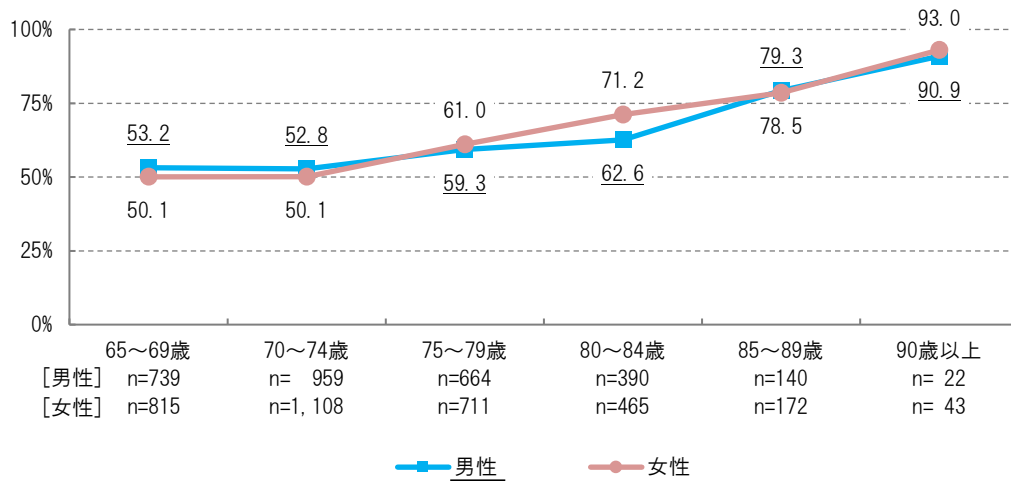
図表 2.4 介護予防事業対象者の割合（区域・地区別）



(3) 介護予防事業対象者の性別・年齢階級別出現率

介護予防事業対象者の性別・年齢階級別出現率をみると、「65～69歳」「70～74歳」「85～89歳」では男性の割合が女性を上回っています。前期高齢者（65～74歳）では出現率は約50%、「75～79歳」では約60%、「85～89歳」になると約80%に上昇しています。

図表 2.5 介護予防事業対象者の性別・年齢階級別出現率（性別）

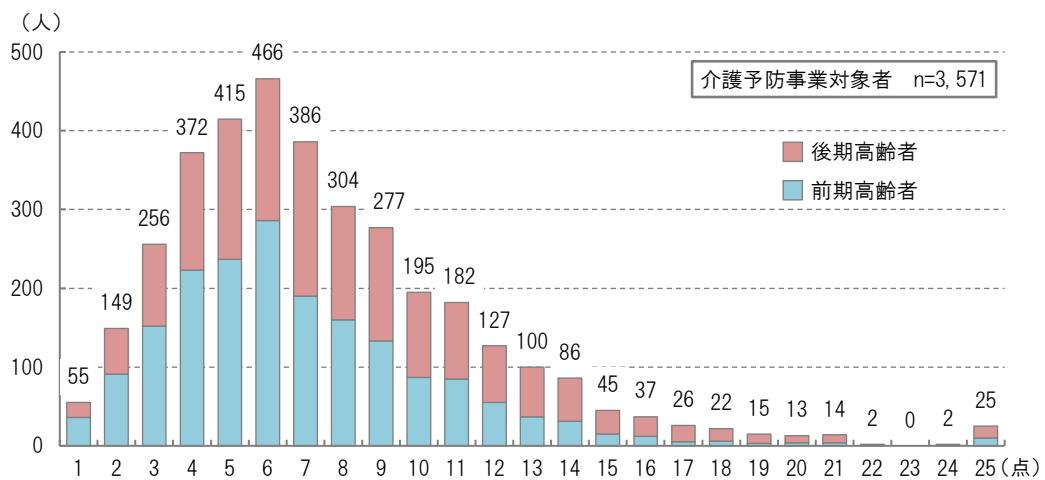


(4) 点数別介護予防事業対象者数

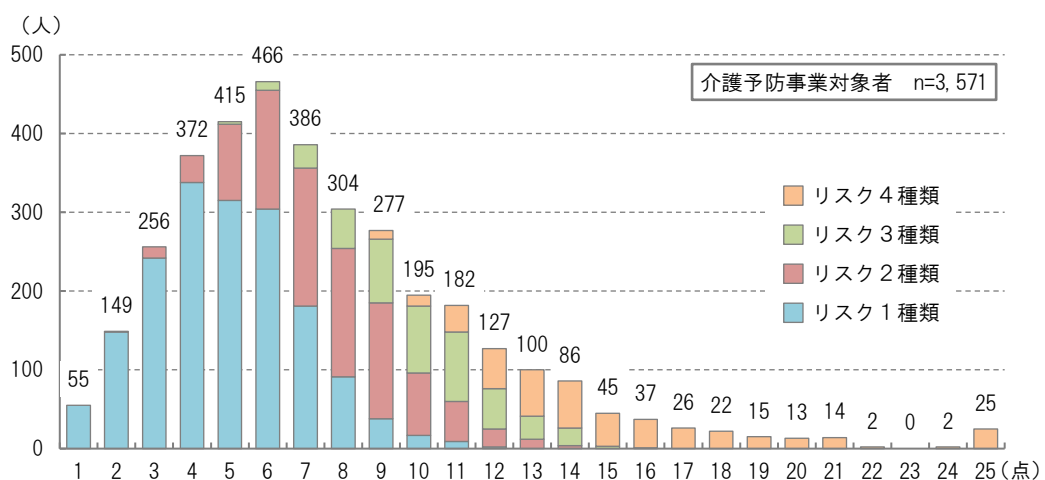
基本チェックリスト 25 設問の点数別に介護予防事業対象者数をみると、6点の介護予防事業対象者数が最も多く、次いで5点、7点となっています。また、6点までは前期高齢者の占める割合が高く、7点～9点では前期高齢者と後期高齢者の割合が約5割となっています。10点以上になると、後期高齢者の占める割合のほうが高くなっています。

点数とリスクの重複数をみると、5点からリスク3種類、9点からリスク4種類の重複者が現れ、10点で3種類または4種類の重複者の占める割合が約5割となり、11点以上になると、6割を超えています。

図表 2.6 点数別介護予防事業対象者数（町全体、前期・後期高齢者別）



図表 2.7 点数別リスク重複数（町全体）

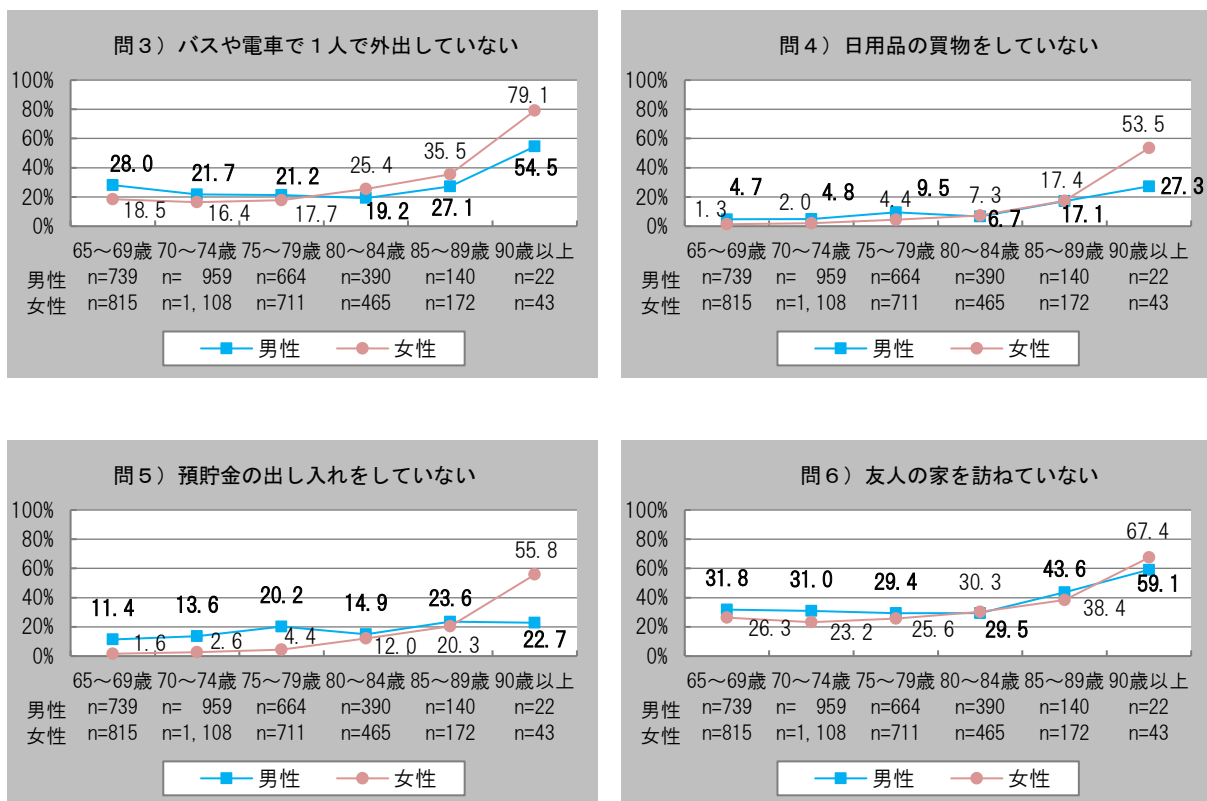


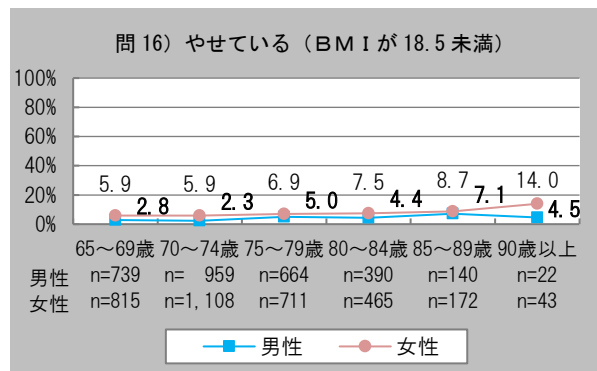
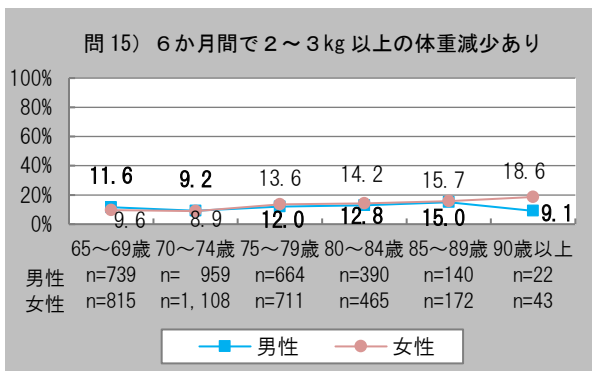
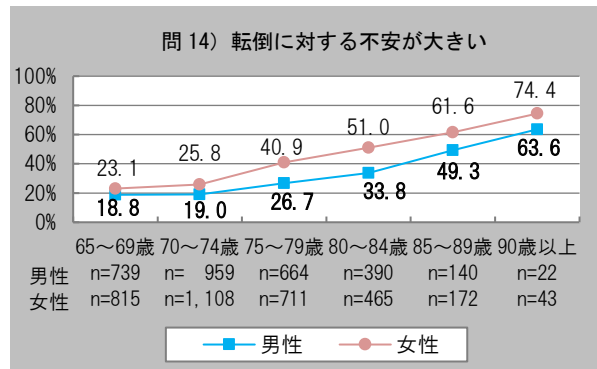
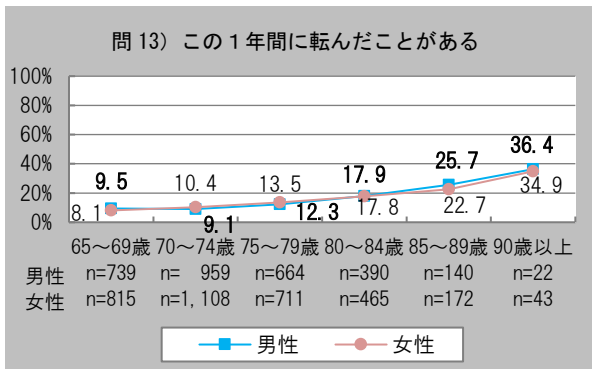
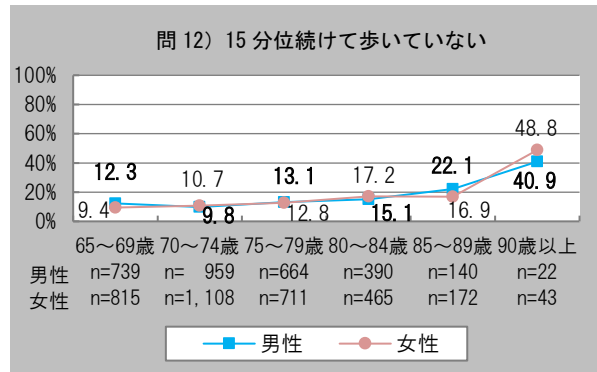
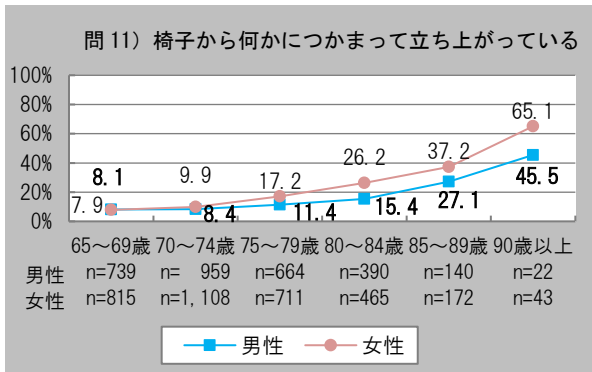
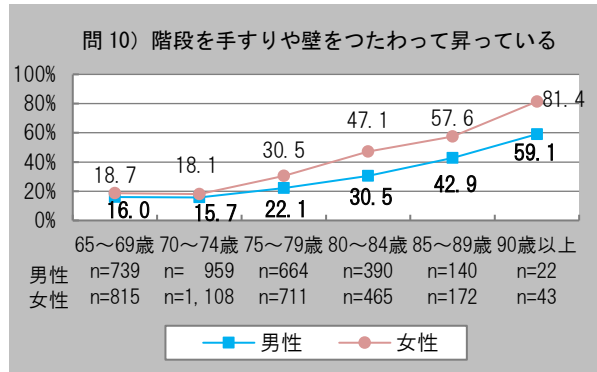
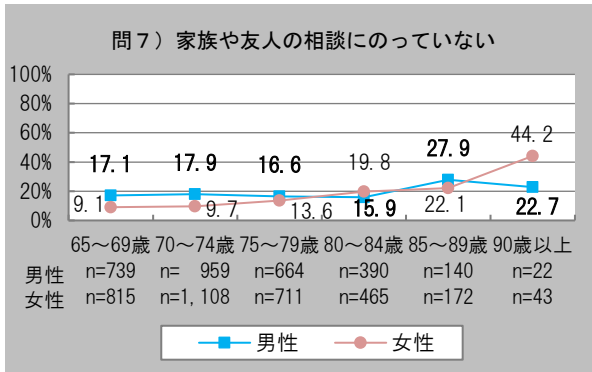
(5) 基本チェックリスト 25 設問の回答結果

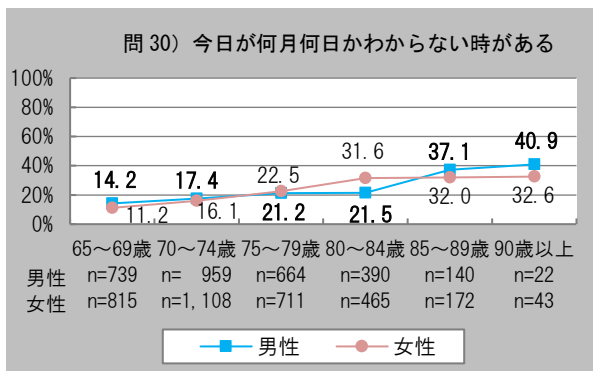
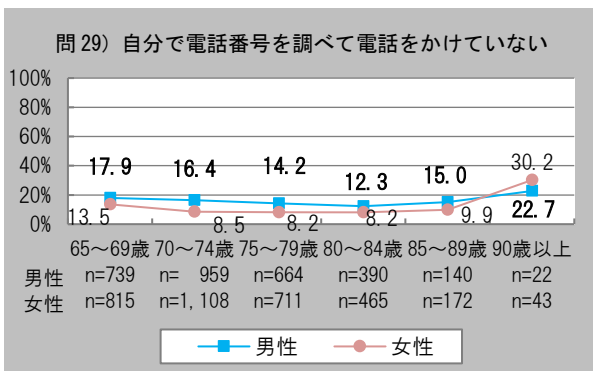
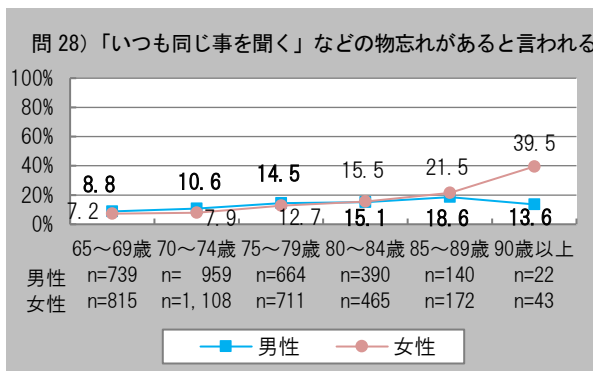
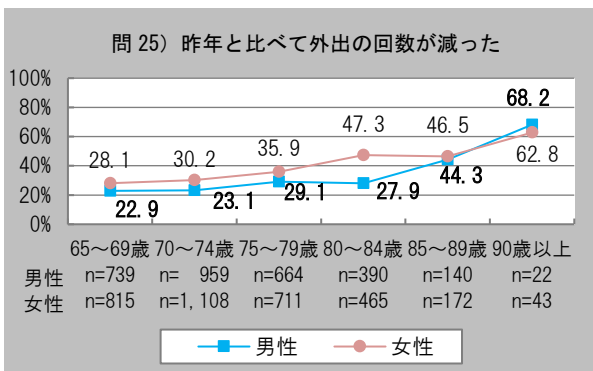
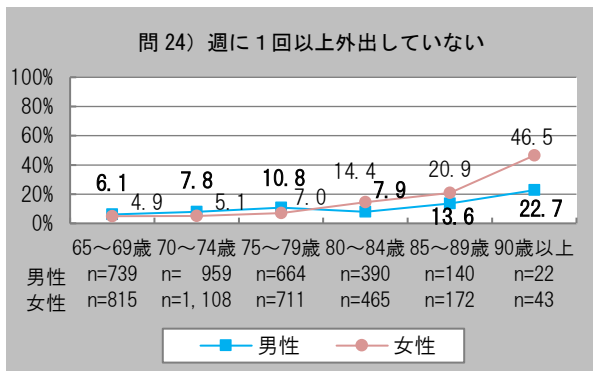
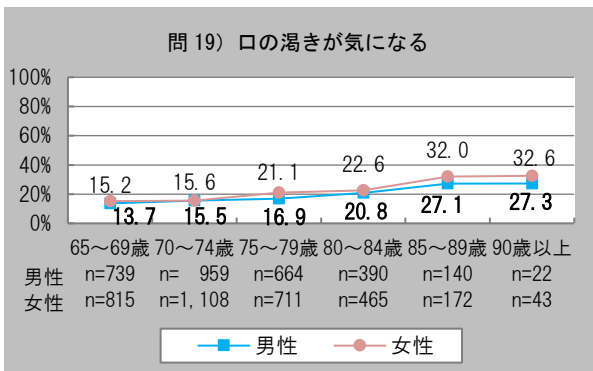
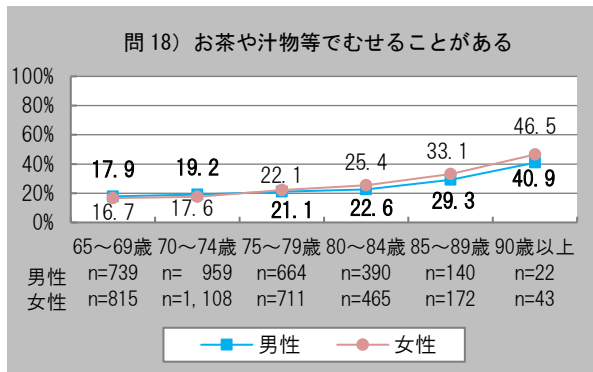
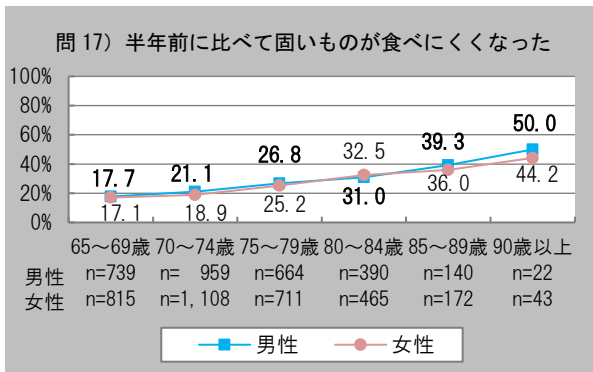
基本チェックリスト 25 設問の回答内容を性別・年齢階級別にみると、男性では「預貯金の出し入れをしていない」「友人の家を訪ねていない」「家族や友人の相談にのっていない」（生活機能全般リスク）、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」（口腔機能低下リスク）、「自分で電話番号を調べて電話をかけていない」（物忘れリスク）、「自分が役に立つ人間だと思えない」（うつ傾向リスク）などの割合が女性に比べて高くなっています。

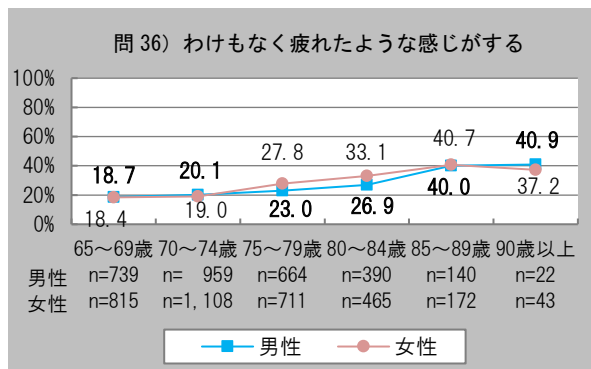
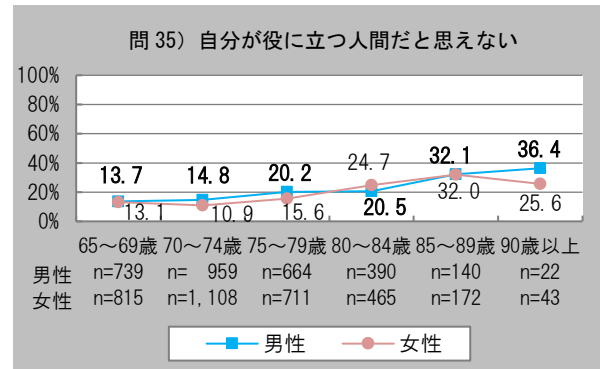
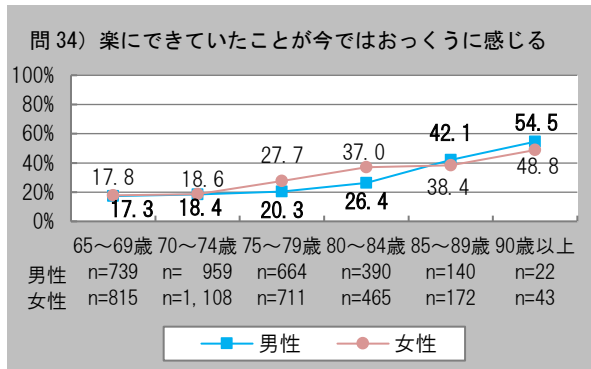
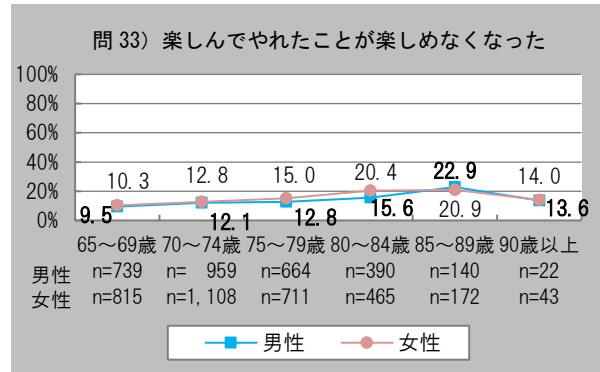
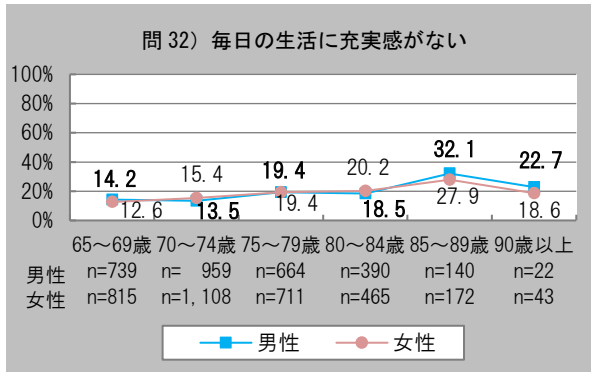
女性では「階段を手すりや壁をつたわって昇っている」「椅子から何かにつかまって立ち上がっている」「転倒に対する不安が大きい」（運動機能低下リスク）、「やせている（BMIが18.5未満）」（低栄養リスク）、「口の渇きが気になる」（口腔機能低下リスク）、「昨年と比べて外出の回数が減った」（閉じこもりリスク）などの割合が男性に比べて高くなっています。また、女性は「80～84歳」の年齢階級で上昇する項目が多くみられます。

図表 2.8 基本チェックリスト 25 設問の回答結果（性別・年齢階級別）







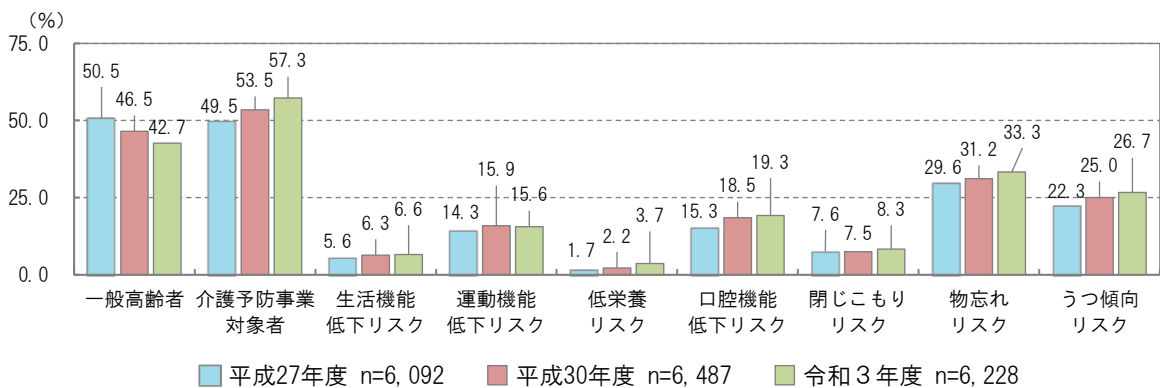


4 介護予防事業対象者及びリスク別出現率の経年変化

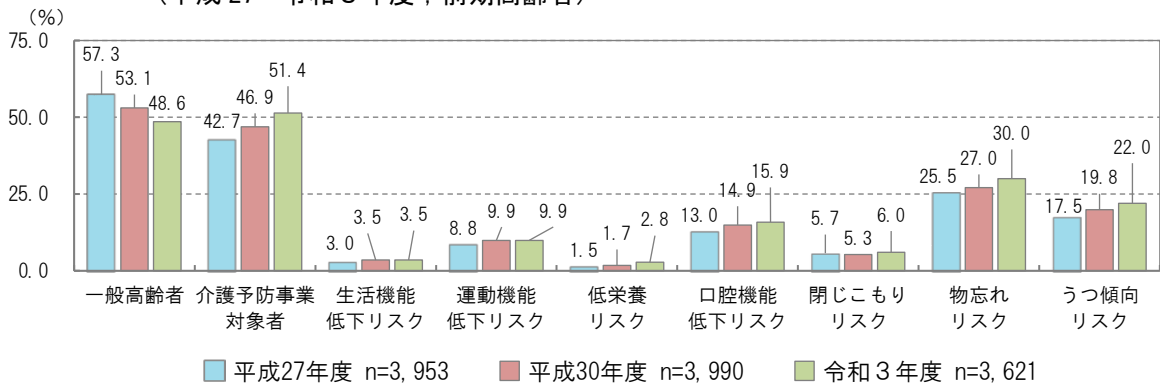
町全体の介護予防事業対象者の割合は57.3%で、経年でみると上昇傾向にあります。町全体のリスク別出現率は、「生活機能低下リスク」が6.6%、「運動機能低下リスク」が15.6%、「低栄養リスク」が3.7%、「口腔機能低下リスク」が19.3%、「閉じこもりリスク」が8.3%、「物忘れリスク」が33.3%、「うつ傾向リスク」が26.7%となっています。平成27年度及び平成30年度調査結果と比較すると、「運動機能低下リスク」を除いて、最も高い割合となっています。

前期高齢者では「低栄養リスク」「口腔機能低下リスク」「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」が上昇傾向、後期高齢者では「低栄養リスク」「閉じこもりリスク」「物忘れリスク」が上昇傾向となっています。

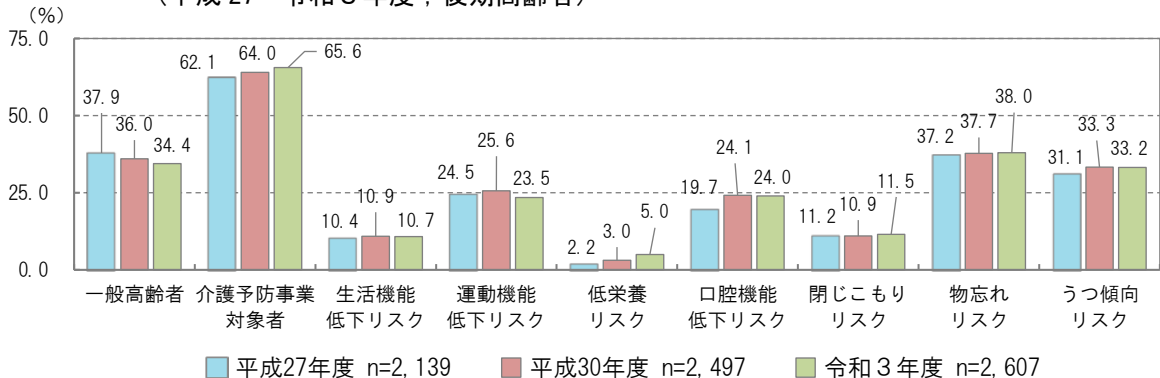
図表 2.9-1 介護予防事業対象者の割合及びリスク別出現率（平成27～令和3年度）



図表 2.9-2 介護予防事業対象者の割合及びリスク別平均出現率（平成27～令和3年度；前期高齢者）



図表 2.9-3 介護予防事業対象者の割合及びリスク別平均出現率（平成27～令和3年度；後期高齢者）



5 リスク別出現率の特徴

(1) 性別・年齢階級別にみた特徴

7種類のリスク別出現率を性別・年齢階級別にみると、「生活機能低下リスク」は、80歳以上で女性の出現率が男性より高くなり、85歳以上で20%を超えています。

「運動機能低下リスク」は、「65～69歳」を除いて、女性が男性の出現率より高く、75歳以上で20%を超えています。

「低栄養リスク」は、65～74歳、80～89歳で女性が男性の出現率より高くなっています。

「口腔機能低下リスク」は、男女とも75歳以上で20%を超えています。

「閉じこもりリスク」は、65～79歳では男性、80歳以上では女性のほうが高くなっています。

「物忘れリスク」は、「80～84歳」を除いて男性のほうが高くなっており、男性は前期高齢者（65～74歳）で30%を超えています。

「うつ傾向リスク」は、65～84歳で女性のほうが高くなっています。

図表 2.10 リスク別人数及び出現率（性別・年齢階級別）

上段：人/下段：%

町全体	男性						女性					
	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上
n=6, 228	n=739	n=959	n=664	n=390	n=140	n=22	n=815	n=1, 108	n=711	n=465	n=172	n=43
生活機能 低下リスク	41 (5. 5)	39 (4. 1)	55 (8. 3)	35 (9. 0)	17 (12. 1)	6 (27. 3)	17 (2. 1)	31 (2. 8)	47 (6. 6)	61 (13. 1)	37 (21. 5)	22 (51. 2)
運動機能 低下リスク	69 (9. 3)	80 (8. 3)	82 (12. 3)	78 (20. 0)	43 (30. 7)	13 (59. 1)	76 (9. 3)	134 (12. 1)	146 (20. 5)	151 (32. 5)	70 (40. 7)	29 (67. 4)
低栄養 リスク	14 (1. 9)	20 (2. 1)	33 (5. 0)	16 (4. 1)	8 (5. 7)	3 (13. 6)	31 (3. 8)	35 (3. 2)	31 (4. 4)	22 (4. 7)	13 (7. 6)	4 (9. 3)
口腔機能 低下リスク	106 (14. 3)	166 (17. 3)	136 (20. 5)	96 (24. 6)	42 (30. 0)	8 (36. 4)	129 (15. 8)	173 (15. 6)	156 (21. 9)	113 (24. 3)	56 (32. 6)	18 (41. 9)
閉じこもり リスク	45 (6. 1)	75 (7. 8)	72 (10. 8)	31 (7. 9)	19 (13. 6)	5 (22. 7)	40 (4. 9)	57 (5. 1)	50 (7. 0)	67 (14. 4)	36 (20. 9)	20 (46. 5)
物忘れ リスク	254 (34. 4)	322 (33. 6)	245 (36. 9)	133 (34. 1)	68 (48. 6)	13 (59. 1)	219 (26. 9)	290 (26. 2)	246 (34. 6)	190 (40. 9)	71 (41. 3)	25 (58. 1)
うつ傾向 リスク	158 (21. 4)	210 (21. 9)	181 (27. 3)	117 (30. 0)	65 (46. 4)	11 (50. 0)	179 (22. 0)	250 (22. 6)	219 (30. 8)	178 (38. 3)	78 (45. 3)	17 (39. 5)

(2) 区域・地区別にみた特徴

地区別にリスク出現率の高い割合をみると、「生活機能低下リスク」は殿ヶ谷地区が9.2%と最も高く、「低栄養リスク」は武蔵野地区が4.2%と最も高くなっていますが、それ以外のリスクは全て都営地区が最も高くなっています（運動機能低下リスク18.4%、口腔機能低下リスク23.1%、閉じこもりリスク10.3%、物忘れリスク40.1%、うつ傾向リスク35.7%）。また、都営地区は「生活機能低下リスク」が7.2%と2番目に高くなっています。

2番目に出現率が高い地区は、「運動機能低下リスク」と「閉じこもりリスク」は殿ヶ谷地区、「低栄養リスク」は石畑・武蔵地区、「口腔機能低下リスク」は箱根ヶ崎地区、「物忘れリスク」と「うつ傾向リスク」は長岡地区となっています。

※地区別の詳細は第3章（P.35～58）に記載しています。

図表 2.11 介護予防事業対象者のリスク別人数及び出現率（区域・地区別） 上段：人/下段：%

	生活機能 低下リスク	運動機能 低下リスク	低栄養 リスク	口腔機能 低下リスク	閉じこもり リスク	物忘れ リスク	うつ傾向 リスク
町全体 n=6,228	408 (6.6)	971 (15.6)	230 (3.7)	1,199 (19.3)	517 (8.3)	2,076 (33.3)	1,663 (26.7)
瑞穂中学校区域 n=3,612	253 (7.0)	574 (15.9)	130 (3.6)	709 (19.6)	309 (8.6)	1,172 (32.4)	968 (26.8)
二中区域 n=2,616	155 (5.9)	397 (15.2)	100 (3.8)	490 (18.7)	208 (8.0)	904 (34.6)	695 (26.6)
殿ヶ谷地区 n=466	43 (9.2)	80 (17.2)	16 (3.4)	93 (20.0)	44 (9.4)	165 (35.4)	132 (28.3)
石畑・武蔵地区 n=675	44 (6.5)	111 (16.4)	28 (4.1)	114 (16.9)	56 (8.3)	214 (31.7)	170 (25.2)
元狭山地区 n=1,166	74 (6.3)	183 (15.7)	37 (3.2)	232 (19.9)	95 (8.1)	400 (34.3)	312 (26.8)
箱根ヶ崎地区 n=1,305	92 (7.0)	200 (15.3)	49 (3.8)	270 (20.7)	114 (8.7)	393 (30.1)	354 (27.1)
松原地区 n=652	34 (5.2)	92 (14.1)	24 (3.7)	111 (17.0)	43 (6.6)	200 (30.7)	138 (21.2)
長岡地区 n=800	47 (5.9)	121 (15.1)	28 (3.5)	150 (18.8)	68 (8.5)	285 (35.6)	227 (28.4)
都営地区 n=359	26 (7.2)	66 (18.4)	14 (3.9)	83 (23.1)	37 (10.3)	144 (40.1)	128 (35.7)
武蔵野地区 n=805	48 (6.0)	118 (14.7)	34 (4.2)	146 (18.1)	60 (7.5)	275 (34.2)	202 (25.1)

6 他リスクとの重複

各リスク該当者が他のリスクと重複している割合をみると、リスク該当者が最も多い「物忘れリスク」該当者（2,076人）のうち42.8%が「うつ傾向リスク」、29.5%が「口腔機能低下リスク」とそれぞれ重複しています。次に該当者が多い「うつ傾向リスク」では、該当者（1,663人）のうち53.5%が「物忘れリスク」、37.1%が「口腔機能低下リスク」、33.0%が「運動機能低下リスク」とそれぞれ重複しています。

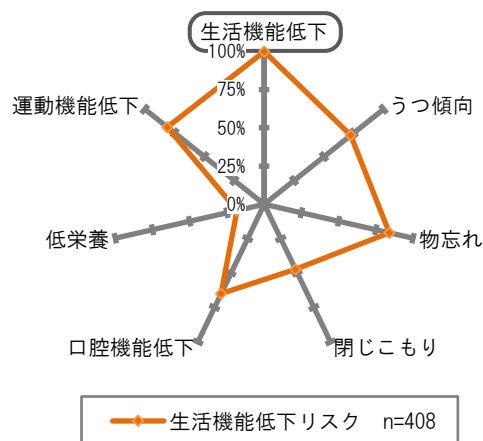
また、「口腔機能低下リスク」該当者（1,199人）のうち、50%以上が「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」と重複し、「運動機能低下リスク」該当者（971人）のうち、50%以上が「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」と重複し、「閉じこもりリスク」該当者（517人）のうち、50%以上が「物忘れリスク」と重複しています。

図表 2.12-1 他リスクとの重複人数及び割合（町全体）

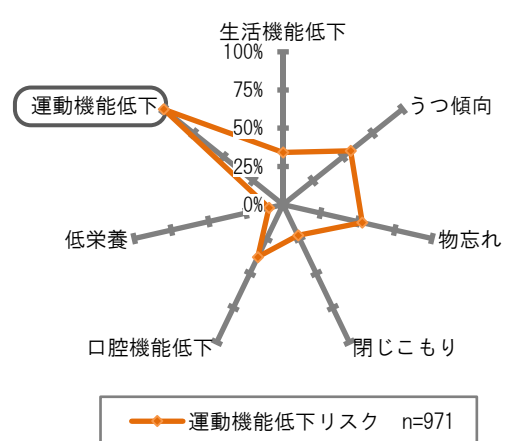
項目	上段：人 下段：%						
	生活機能低下リスク	運動機能低下リスク	低栄養リスク	口腔機能低下リスク	閉じこもりリスク	物忘れリスク	うつ傾向リスク
生活機能低下リスク	408 (100.0)	331 (81.1)	74 (18.1)	265 (65.0)	193 (47.3)	343 (84.1)	296 (72.5)
運動機能低下リスク	331 (34.1)	971 (100.0)	92 (9.5)	370 (38.1)	217 (22.3)	516 (53.1)	548 (56.4)
低栄養リスク	74 (32.2)	92 (40.0)	230 (100.0)	98 (42.6)	60 (26.1)	119 (51.7)	123 (53.5)
口腔機能低下リスク	265 (22.1)	370 (30.9)	98 (8.2)	1,199 (100.0)	161 (13.4)	613 (51.1)	617 (51.5)
閉じこもりリスク	193 (37.3)	217 (42.0)	60 (11.6)	161 (31.1)	517 (100.0)	269 (52.0)	256 (49.5)
物忘れリスク	343 (16.5)	516 (24.9)	119 (5.7)	613 (29.5)	269 (13.0)	2,076 (100.0)	889 (42.8)
うつ傾向リスク	296 (17.8)	548 (33.0)	123 (7.4)	617 (37.1)	256 (15.4)	889 (53.5)	1,663 (100.0)

図表 2.12-2 他リスクとの重複割合（町全体）

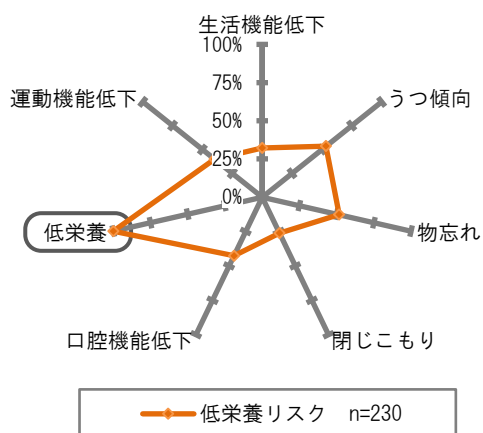
【生活機能低下リスクと他リスクとの重複】



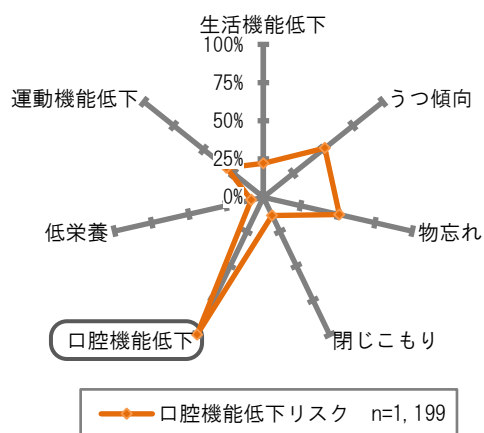
【運動機能低下リスクと他リスクとの重複】



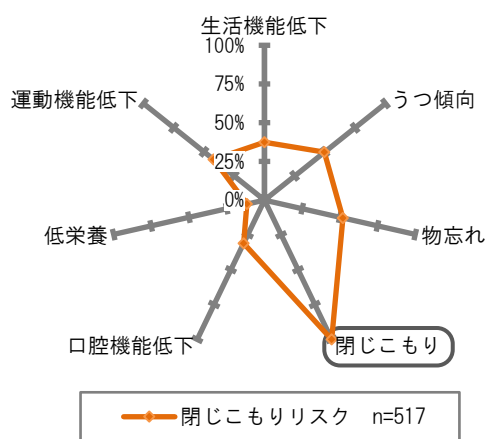
【低栄養リスクと他リスクとの重複】



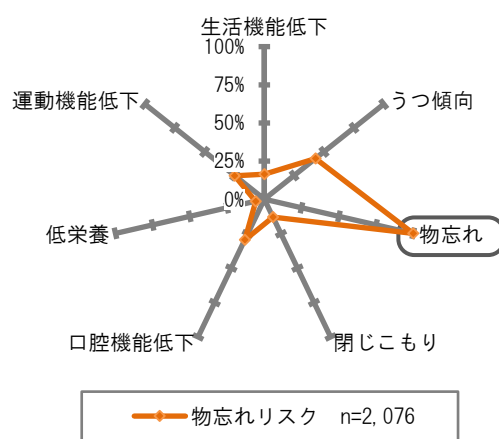
【口腔機能低下リスクと他リスクとの重複】



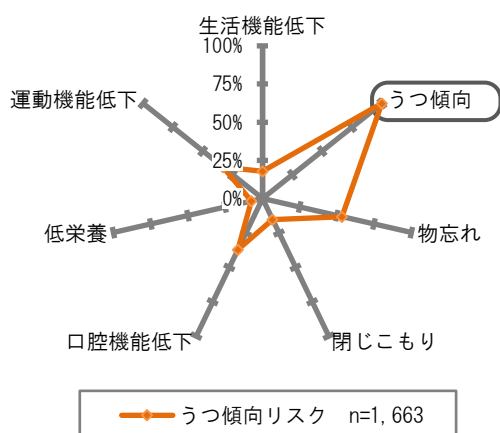
【閉じこもりリスクと他リスクとの重複】



【物忘れリスクと他リスクとの重複】



【うつ傾向リスクと他リスクとの重複】



第3章

地区別の調査結果

第3章 地区別の調査結果

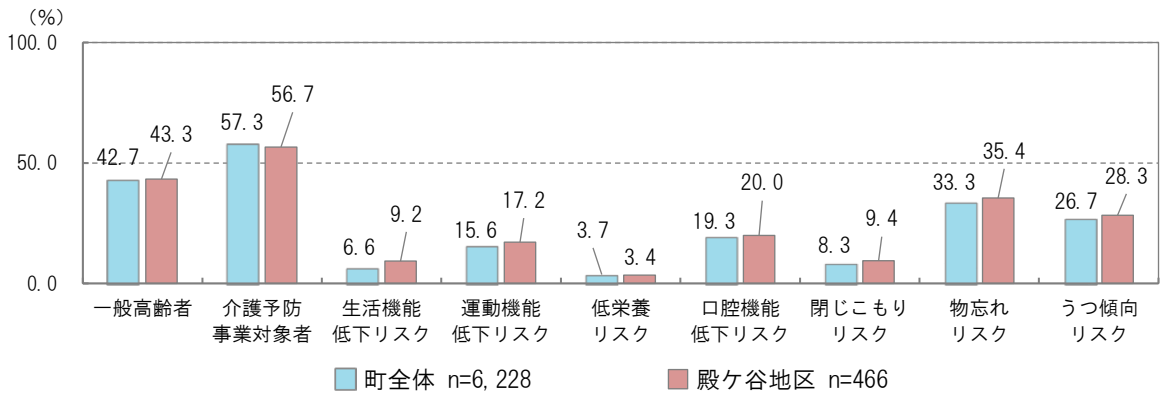
1 殿ヶ谷地区

殿ヶ谷地区の介護予防事業対象者の出現率は56.7%と、町全体の割合を0.6ポイント下回っています。リスク別の出現率は、「低栄養リスク」を除く全てのリスクで町全体の割合を上回っており、特に「生活機能低下リスク」は2.6ポイント高く、地区別で最も高くなっています。また、「運動機能低下リスク」「閉じこもりリスク」は地区別で2番目に高くなっています（P.29 図表2.11 参照）。

リスク別の出現率を性別・年齢階級別にみると、「物忘れリスク」は男性の90歳以上を除いて、全ての年齢階級で30%を超えています。

他のリスクとの重複割合をみると、「閉じこもりリスク」は、「生活機能低下リスク」「運動機能低下リスク」「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」との重複割合が50%以上となっています。

図表 3.1-1 介護予防事業対象者出現率及びリスク別出現率



図表 3.1-2 リスク別人数及び出現率（性別・年齢階級別）

上段：人/下段：%

殿ヶ谷地区 n=466	男性						女性					
	65歳 ~ 69歳	70歳 ~ 74歳	75歳 ~ 79歳	80歳 ~ 84歳	85歳 ~ 89歳	90歳 以上	65歳 ~ 69歳	70歳 ~ 74歳	75歳 ~ 79歳	80歳 ~ 84歳	85歳 ~ 89歳	90歳 以上
	n=65	n=67	n=51	n=28	n=11	n=1	n=54	n=76	n=56	n=38	n=14	n=5
生活機能 低下リスク	5 (7.7)	7 (10.4)	3 (5.9)	2 (7.1)	1 (9.1)	0 (0.0)	2 (3.7)	4 (5.3)	4 (7.1)	8 (21.1)	6 (42.9)	1 (20.0)
運動機能 低下リスク	10 (15.4)	12 (17.9)	3 (5.9)	6 (21.4)	3 (27.3)	0 (0.0)	4 (7.4)	7 (9.2)	11 (19.6)	16 (42.1)	5 (35.7)	3 (60.0)
低栄養 リスク	1 (1.5)	3 (4.5)	1 (2.0)	2 (7.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.7)	0 (0.0)	2 (3.6)	2 (5.3)	2 (14.3)	1 (20.0)
口腔機能 低下リスク	13 (20.0)	16 (23.9)	8 (15.7)	5 (17.9)	2 (18.2)	0 (0.0)	14 (25.9)	11 (14.5)	7 (12.5)	11 (28.9)	5 (35.7)	1 (20.0)
閉じこもり リスク	4 (6.2)	7 (10.4)	5 (9.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.9)	7 (9.2)	4 (7.1)	7 (18.4)	6 (42.9)	3 (60.0)
物忘れ リスク	20 (30.8)	26 (38.8)	17 (33.3)	11 (39.3)	6 (54.5)	0 (0.0)	18 (33.3)	24 (31.6)	20 (35.7)	12 (31.6)	6 (42.9)	5 (100.0)
うつ傾向 リスク	12 (18.5)	21 (31.3)	15 (29.4)	9 (32.1)	5 (45.5)	0 (0.0)	15 (27.8)	16 (21.1)	17 (30.4)	14 (36.8)	8 (57.1)	0 (0.0)

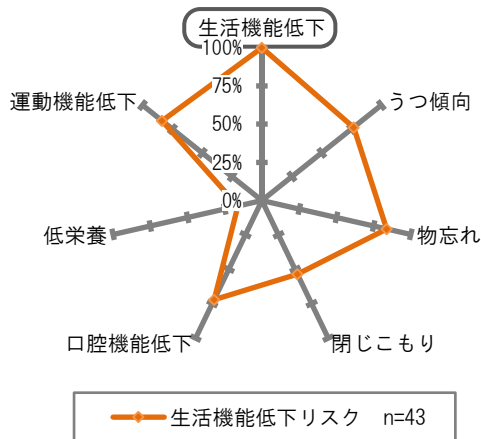
図表 3.1-3.1 他リスクとの重複人数及び割合

上段：人/下段：%

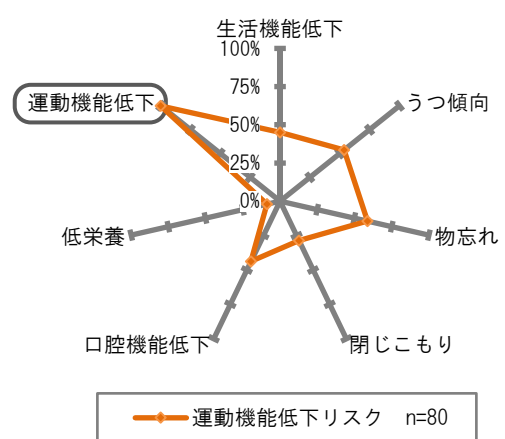
項目	生活機能 低下リスク	運動機能 低下リスク	低栄養 リスク	口腔機能 低下リスク	閉じこもり リスク	物忘れ リスク	うつ傾向 リスク
生活機能低下リスク	43 (100.0)	36 (83.7)	7 (16.3)	31 (72.1)	23 (53.5)	36 (83.7)	33 (76.7)
運動機能低下リスク	36 (45.0)	80 (100.0)	7 (8.8)	35 (43.8)	23 (28.8)	47 (58.8)	43 (53.8)
低栄養リスク	7 (43.8)	7 (43.8)	16 (100.0)	5 (31.3)	8 (50.0)	13 (81.3)	10 (62.5)
口腔機能低下リスク	31 (33.3)	35 (37.6)	5 (5.4)	93 (100.0)	19 (20.4)	54 (58.1)	55 (59.1)
閉じこもりリスク	23 (52.3)	23 (52.3)	8 (18.2)	19 (43.2)	44 (100.0)	25 (56.8)	22 (50.0)
物忘れリスク	36 (21.8)	47 (28.5)	13 (7.9)	54 (32.7)	25 (15.2)	165 (100.0)	73 (44.2)
うつ傾向リスク	33 (25.0)	43 (32.6)	10 (7.6)	55 (41.7)	22 (16.7)	73 (55.3)	132 (100.0)

図表 3.1-3.2 他リスクとの重複割合

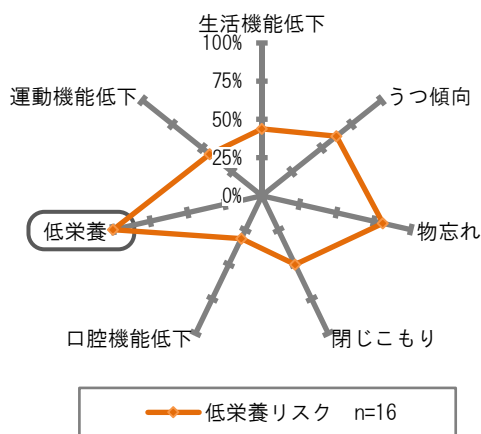
【生活機能低下リスクと他リスクとの重複】



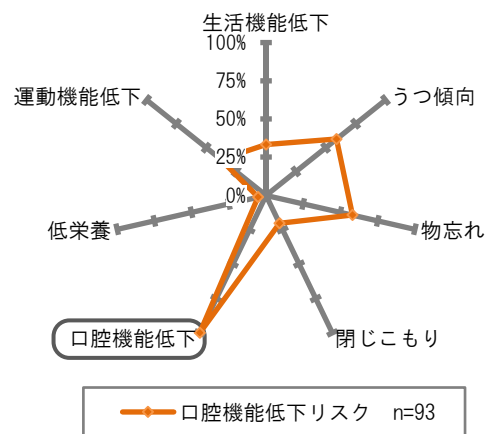
【運動機能低下リスクと他リスクとの重複】



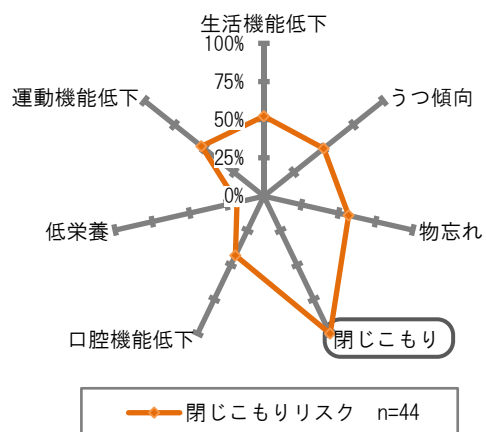
【低栄養リスクと他リスクとの重複】



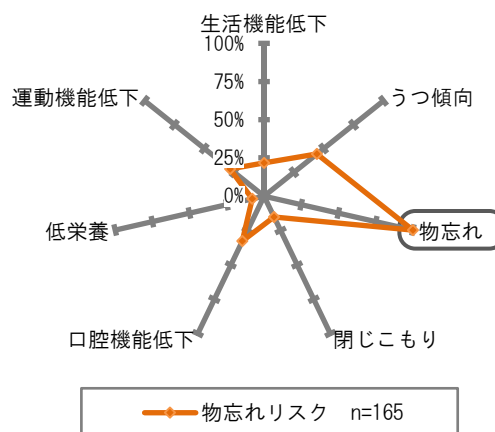
【口腔機能低下リスクと他リスクとの重複】



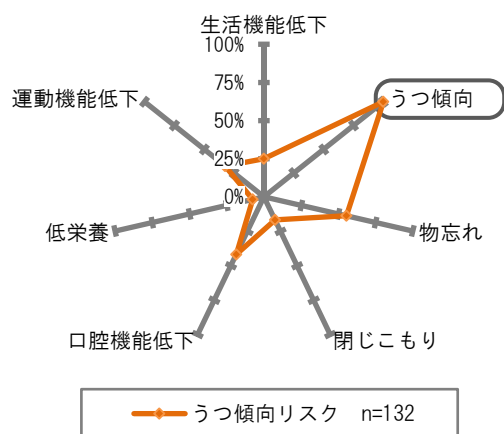
【閉じこもりリスクと他リスクとの重複】



【物忘れリスクと他リスクとの重複】



【うつ傾向リスクと他リスクとの重複】



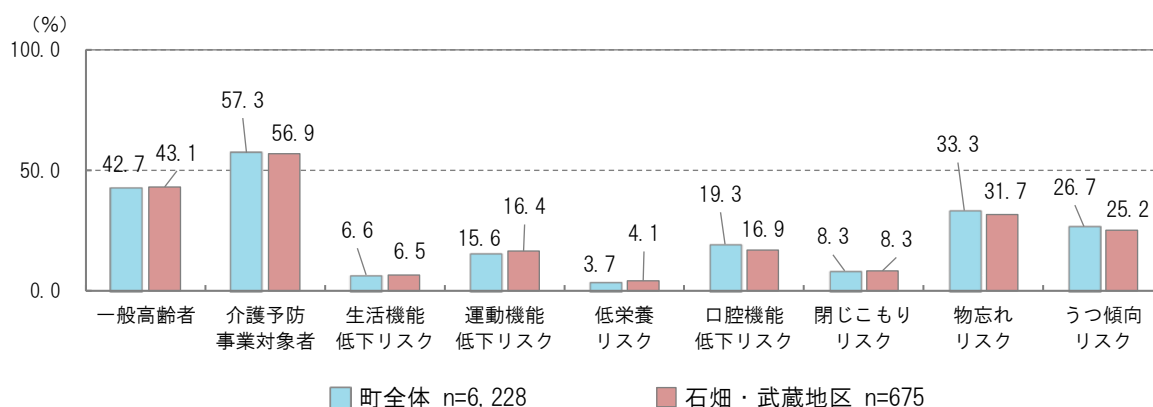
2 石畑・武蔵地区

石畑・武蔵地区の介護予防事業対象者の出現率は56.9%と、町全体の割合を0.4ポイント下回っています。リスク別の出現率は、「運動機能低下リスク」「低栄養リスク」が町全体の割合を上回っており、「低栄養リスク」は地区別で2番目に高くなっています。一方、「口腔機能低下リスク」は地区別で最も低くなっています（P.29 図表 2.11 参照）。

リスク別の出現率を性別・年齢階級別にみると、「運動機能低下リスク」は全ての年齢階級で女性が男性を上回っています。

他のリスクとの重複割合をみると、「運動機能低下リスク」「低栄養リスク」「閉じこもりリスク」は、「うつ傾向リスク」との重複割合が50%以上となっています。

図表 3.2-1 介護予防事業対象者出現率及びリスク別出現率



図表 3.2-2 リスク別人数及び出現率（性別・年齢階級別）

上段：人/下段：%

石畑・武蔵地区 n=675	男性						女性					
	65歳 ~ 69歳	70歳 ~ 74歳	75歳 ~ 79歳	80歳 ~ 84歳	85歳 ~ 89歳	90歳 以上	65歳 ~ 69歳	70歳 ~ 74歳	75歳 ~ 79歳	80歳 ~ 84歳	85歳 ~ 89歳	90歳 以上
	n=94	n=95	n=78	n=37	n=27	n=3	n=80	n=112	n=74	n=54	n=17	n=4
生活機能 低下リスク	5 (5.3)	1 (1.1)	7 (9.0)	5 (13.5)	5 (18.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (2.7)	8 (10.8)	4 (7.4)	4 (23.5)	2 (50.0)
運動機能 低下リスク	11 (11.7)	9 (9.5)	9 (11.5)	6 (16.2)	10 (37.0)	1 (33.3)	12 (15.0)	14 (12.5)	13 (17.6)	16 (29.6)	8 (47.1)	2 (50.0)
低栄養 リスク	3 (3.2)	1 (1.1)	4 (5.1)	1 (2.7)	1 (3.7)	2 (66.7)	2 (2.5)	4 (3.6)	3 (4.1)	6 (11.1)	0 (0.0)	1 (25.0)
口腔機能 低下リスク	12 (12.8)	14 (14.7)	13 (16.7)	7 (18.9)	10 (37.0)	0 (0.0)	7 (8.8)	20 (17.9)	12 (16.2)	10 (18.5)	7 (41.2)	2 (50.0)
閉じこもり リスク	8 (8.5)	6 (6.3)	5 (6.4)	7 (18.9)	4 (14.8)	0 (0.0)	5 (6.3)	3 (2.7)	6 (8.1)	8 (14.8)	2 (11.8)	2 (50.0)
物忘れ リスク	26 (27.7)	37 (38.9)	28 (35.9)	8 (21.6)	12 (44.4)	2 (66.7)	16 (20.0)	27 (24.1)	27 (36.5)	21 (38.9)	8 (47.1)	2 (50.0)
うつ傾向 リスク	25 (26.6)	18 (18.9)	17 (21.8)	11 (29.7)	15 (55.6)	2 (66.7)	14 (17.5)	19 (17.0)	22 (29.7)	20 (37.0)	7 (41.2)	0 (0.0)

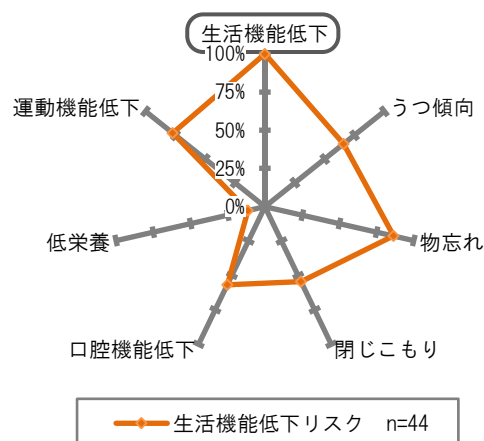
図表 3.2-3.1 他リスクとの重複人数及び割合

上段：人/下段：%

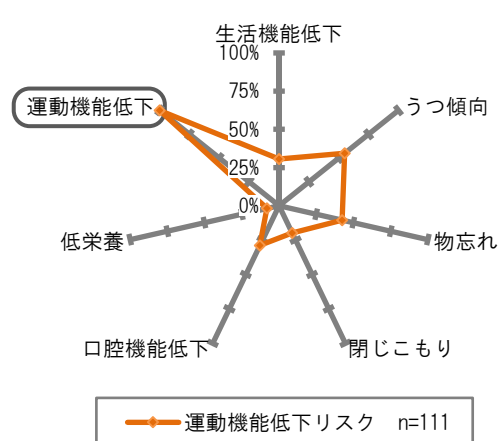
項目	生活機能 低下リスク	運動機能 低下リスク	低栄養 リスク	口腔機能 低下リスク	閉じこもり リスク	物忘れ リスク	うつ傾向 リスク
生活機能低下リスク	44 (100.0)	34 (77.3)	5 (11.4)	25 (56.8)	24 (54.5)	38 (86.4)	29 (65.9)
運動機能低下リスク	34 (30.6)	111 (100.0)	9 (8.1)	32 (28.8)	22 (19.8)	47 (42.3)	61 (55.0)
低栄養リスク	5 (17.9)	9 (32.1)	28 (100.0)	10 (35.7)	6 (21.4)	10 (35.7)	14 (50.0)
口腔機能低下リスク	25 (21.9)	32 (28.1)	10 (8.8)	114 (100.0)	21 (18.4)	52 (45.6)	51 (44.7)
閉じこもりリスク	24 (42.9)	22 (39.3)	6 (10.7)	21 (37.5)	56 (100.0)	27 (48.2)	29 (51.8)
物忘れリスク	38 (17.8)	47 (22.0)	10 (4.7)	52 (24.3)	27 (12.6)	214 (100.0)	87 (40.7)
うつ傾向リスク	29 (17.1)	61 (35.9)	14 (8.2)	51 (30.0)	29 (17.1)	87 (51.2)	170 (100.0)

図表 3.2-3.2 他リスクとの重複割合

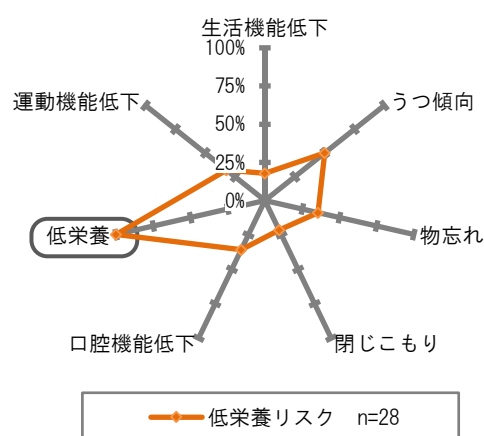
【生活機能低下リスクと他リスクとの重複】



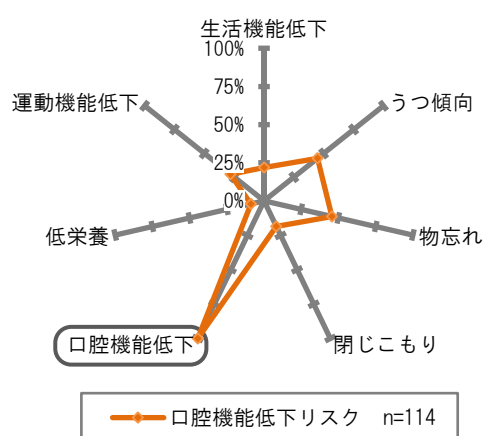
【運動機能低下リスクと他リスクとの重複】



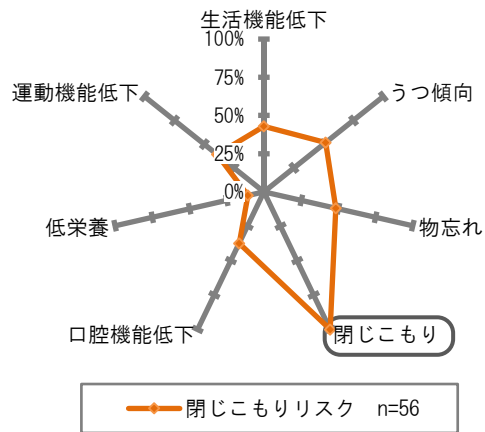
【低栄養リスクと他リスクとの重複】



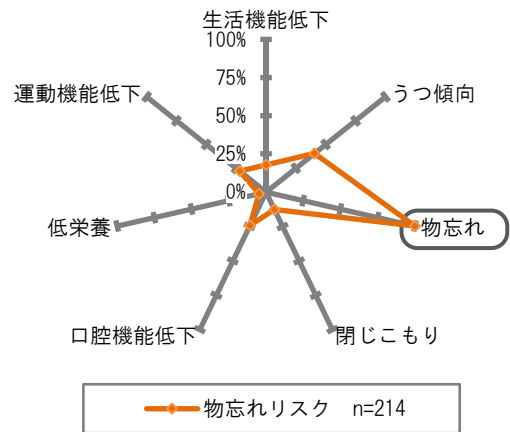
【口腔機能低下リスクと他リスクとの重複】



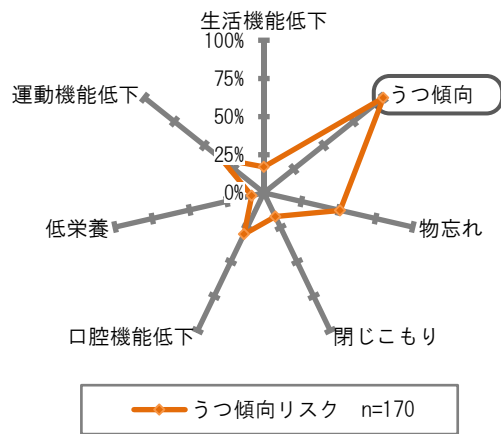
【閉じこもりリスクと他リスクとの重複】



【物忘れリスクと他リスクとの重複】



【うつ傾向リスクと他リスクとの重複】



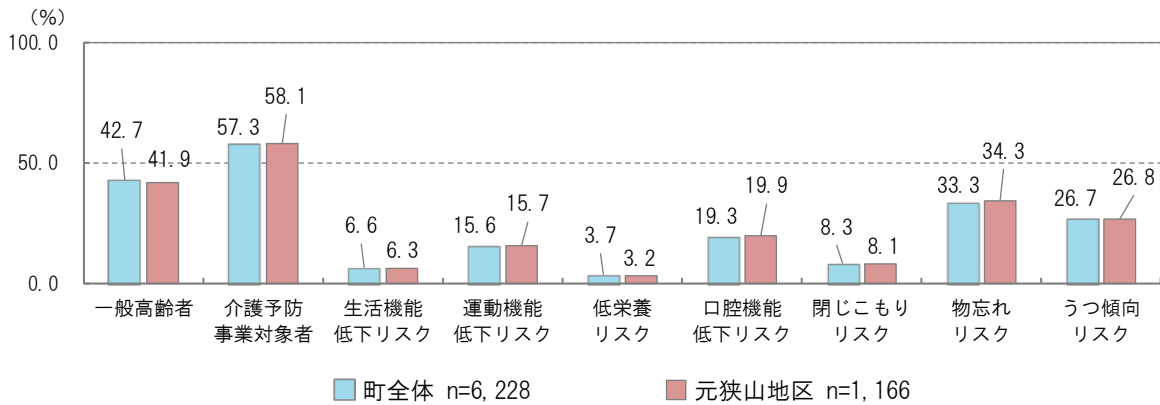
3 元狭山地区

元狭山地区の介護予防事業対象者の出現率は58.1%と、町全体の割合を0.8ポイント上回っています。リスク別の出現率は、「運動機能低下リスク」「口腔機能低下リスク」「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」が町全体の割合を上回っています。一方、「低栄養リスク」は地区別で最も低くなっています（P.29 図表2.11 参照）。

リスク別の出現率を性別・年齢階級別にみると、「運動機能低下リスク」は「65～69歳」を除いて、女性が男性を上回り、「口腔機能低下リスク」は「65～69歳」「90歳以上」を除いて、男性が女性を上回っています。また、「物忘れリスク」は男性は全ての年齢階級で30%を超え、女性は75歳以上で30%を超えています。

他のリスクとの重複割合をみると、「運動機能低下リスク」「口腔機能低下リスク」は、「うつ傾向リスク」との重複割合が50%を超え、「運動機能低下リスク」「閉じこもりリスク」「うつ傾向リスク」は「物忘れリスク」との重複割合が50%を超えています。

図表 3.3-1 介護予防事業対象者出現率及びリスク別出現率



図表 3.3-2 リスク別人数及び出現率（性別・年齢階級別）

上段：人/下段：%

元狭山地区 n=1,166	男性						女性					
	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上
	n=146	n=186	n=124	n=61	n=22	n=4	n=171	n=209	n=129	n=79	n=27	n=8
生活機能 低下リスク	9 (6.2)	2 (1.1)	13 (10.5)	6 (9.8)	5 (22.7)	0 (0.0)	5 (2.9)	4 (1.9)	7 (5.4)	10 (12.7)	8 (29.6)	5 (62.5)
運動機能 低下リスク	15 (10.3)	10 (5.4)	19 (15.3)	11 (18.0)	11 (50.0)	2 (50.0)	14 (8.2)	27 (12.9)	28 (21.7)	26 (32.9)	14 (51.9)	6 (75.0)
低栄養 リスク	4 (2.7)	3 (1.6)	3 (2.4)	2 (3.3)	3 (13.6)	0 (0.0)	7 (4.1)	6 (2.9)	4 (3.1)	2 (2.5)	3 (11.1)	0 (0.0)
口腔機能 低下リスク	22 (15.1)	35 (18.8)	33 (26.6)	15 (24.6)	7 (31.8)	2 (50.0)	26 (15.2)	34 (16.3)	30 (23.3)	16 (20.3)	8 (29.6)	4 (50.0)
閉じこもり リスク	7 (4.8)	14 (7.5)	17 (13.7)	4 (6.6)	6 (27.3)	1 (25.0)	9 (5.3)	10 (4.8)	10 (7.8)	11 (13.9)	3 (11.1)	3 (37.5)
物忘れ リスク	54 (37.0)	66 (35.5)	39 (31.5)	25 (41.0)	16 (72.7)	2 (50.0)	44 (25.7)	52 (24.9)	47 (36.4)	34 (43.0)	14 (51.9)	7 (87.5)
うつ傾向 リスク	35 (24.0)	39 (21.0)	38 (30.6)	20 (32.8)	13 (59.1)	1 (25.0)	39 (22.8)	42 (20.1)	40 (31.0)	30 (38.0)	10 (37.0)	5 (62.5)

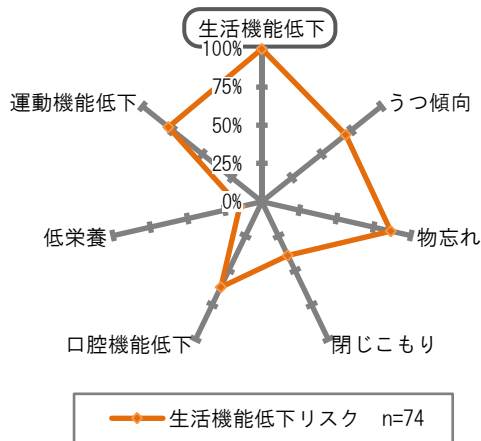
図表 3.3-3.1 他リスクとの重複人数及び割合

上段：人/下段：%

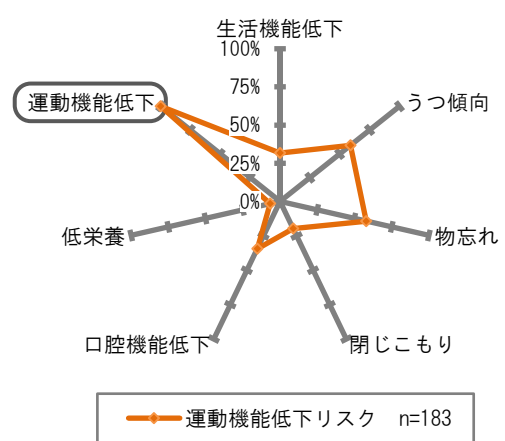
項目	生活機能 低下リスク	運動機能 低下リスク	低栄養 リスク	口腔機能 低下リスク	閉じこもり リスク	物忘れ リスク	うつ傾向 リスク
生活機能低下リスク	74 (100.0)	58 (78.4)	11 (14.9)	46 (62.2)	29 (39.2)	64 (86.5)	52 (70.3)
運動機能低下リスク	58 (31.7)	183 (100.0)	12 (6.6)	63 (34.4)	36 (19.7)	106 (57.9)	108 (59.0)
低栄養リスク	11 (29.7)	12 (32.4)	37 (100.0)	14 (37.8)	6 (16.2)	15 (40.5)	16 (43.2)
口腔機能低下リスク	46 (19.8)	63 (27.2)	14 (6.0)	232 (100.0)	24 (10.3)	114 (49.1)	122 (52.6)
閉じこもりリスク	29 (30.5)	36 (37.9)	6 (6.3)	24 (25.3)	95 (100.0)	50 (52.6)	40 (42.1)
物忘れリスク	64 (16.0)	106 (26.5)	15 (3.8)	114 (28.5)	50 (12.5)	400 (100.0)	174 (43.5)
うつ傾向リスク	52 (16.7)	108 (34.6)	16 (5.1)	122 (39.1)	40 (12.8)	174 (55.8)	312 (100.0)

図表 3.3-3.2 他リスクとの重複割合

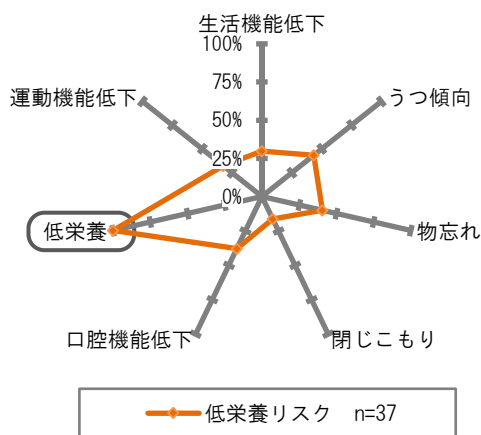
【生活機能低下リスクと他リスクとの重複】



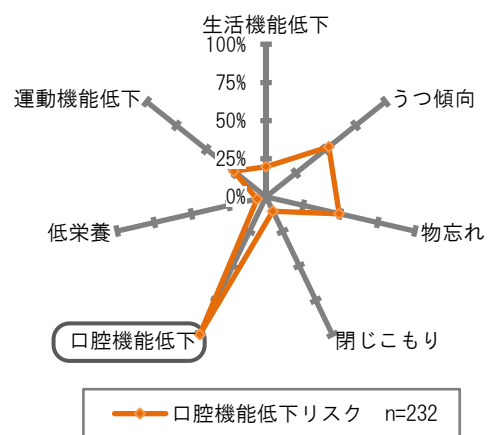
【運動機能低下リスクと他リスクとの重複】



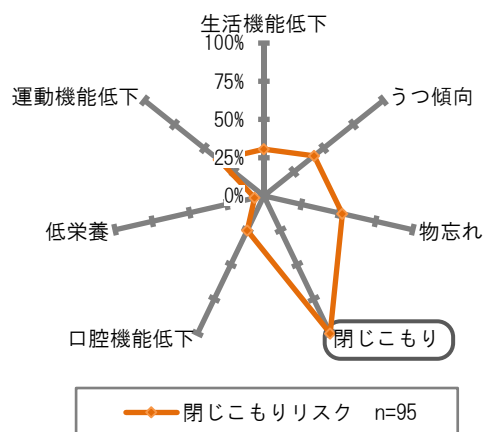
【低栄養リスクと他リスクとの重複】



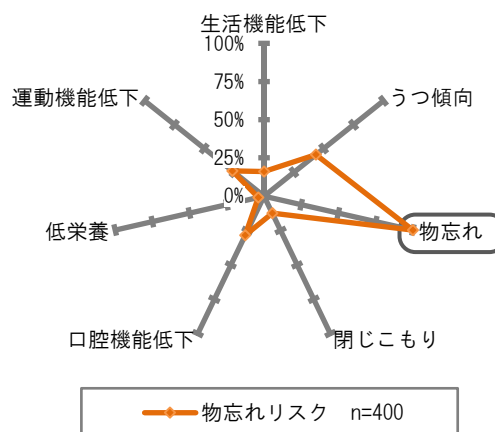
【口腔機能低下リスクと他リスクとの重複】



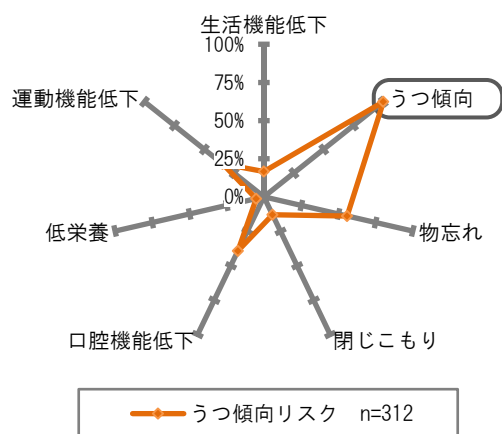
【閉じこもりリスクと他リスクとの重複】



【物忘れリスクと他リスクとの重複】



【うつ傾向リスクと他リスクとの重複】



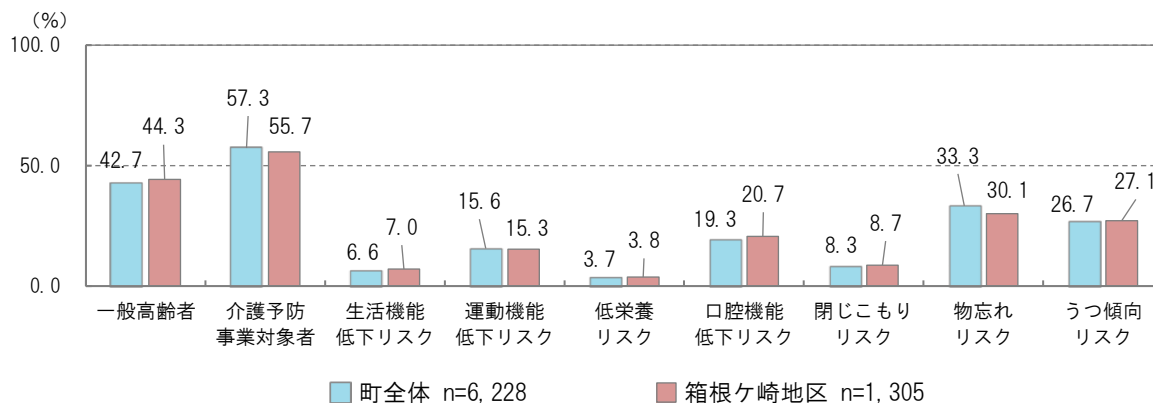
4 箱根ヶ崎地区

箱根ヶ崎地区の介護予防事業対象者の出現率は 55.7%と、町全体の割合を 1.6 ポイント下回っています。リスク別の出現率は、「生活機能低下リスク」「低栄養リスク」「口腔機能低下リスク」「閉じこもりリスク」「うつ傾向リスク」が町全体の割合を上回り、「口腔機能低下リスク」は地区別で 2 番目に高くなっています。一方、「物忘れリスク」は地区別で最も低くなっています (P.29 図表 2.11 参照)。

リスク別の出現率を性別・年齢階級別にみると、「運動機能低下リスク」は「65～69 歳」を除いて、女性が男性を上回り、「口腔機能低下リスク」は「90 歳以上」を除いて、女性が男性を上回っています。また、「物忘れリスク」は男女とも全ての年齢階級で 20% を超え、「80～84 歳」を除いて、男性が女性を上回っています。

他のリスクとの重複割合をみると、「低栄養リスク」は、「運動機能低下リスク」「口腔機能低下リスク」「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」との重複割合が 50% を超えています。

図表 3.4-1 介護予防事業対象者出現率及びリスク別出現率



図表 3.4-2 リスク別人数及び出現率 (性別・年齢階級別)

上段：人/下段：%

箱根ヶ崎地区 n=1,305	男性						女性					
	65歳 ~ 69歳	70歳 ~ 74歳	75歳 ~ 79歳	80歳 ~ 84歳	85歳 ~ 89歳	90歳 以上	65歳 ~ 69歳	70歳 ~ 74歳	75歳 ~ 79歳	80歳 ~ 84歳	85歳 ~ 89歳	90歳 以上
	n=144	n=199	n=137	n=91	n=29	n=5	n=162	n=227	n=151	n=99	n=48	n=13
生活機能 低下リスク	9 (6.3)	11 (5.5)	11 (8.0)	6 (6.6)	4 (13.8)	0 (0.0)	4 (2.5)	7 (3.1)	14 (9.3)	13 (13.1)	7 (14.6)	6 (46.2)
運動機能 低下リスク	13 (9.0)	19 (9.5)	14 (10.2)	13 (14.3)	8 (27.6)	2 (40.0)	13 (8.0)	27 (11.9)	33 (21.9)	31 (31.3)	19 (39.6)	8 (61.5)
低栄養 リスク	2 (1.4)	3 (1.5)	14 (10.2)	3 (3.3)	2 (6.9)	1 (20.0)	4 (2.5)	7 (3.1)	9 (6.0)	2 (2.0)	1 (2.1)	1 (7.7)
口腔機能 低下リスク	20 (13.9)	28 (14.1)	31 (22.6)	26 (28.6)	7 (24.1)	2 (40.0)	29 (17.9)	39 (17.2)	38 (25.2)	32 (32.3)	13 (27.1)	5 (38.5)
閉じこもり リスク	7 (4.9)	18 (9.0)	14 (10.2)	7 (7.7)	5 (17.2)	0 (0.0)	8 (4.9)	12 (5.3)	12 (7.9)	13 (13.1)	10 (20.8)	8 (61.5)
物忘れ リスク	43 (29.9)	67 (33.7)	52 (38.0)	28 (30.8)	12 (41.4)	4 (80.0)	38 (23.5)	46 (20.3)	47 (31.1)	37 (37.4)	15 (31.3)	4 (30.8)
うつ傾向 リスク	35 (24.3)	44 (22.1)	38 (27.7)	24 (26.4)	14 (48.3)	3 (60.0)	36 (22.2)	51 (22.5)	46 (30.5)	36 (36.4)	21 (43.8)	6 (46.2)

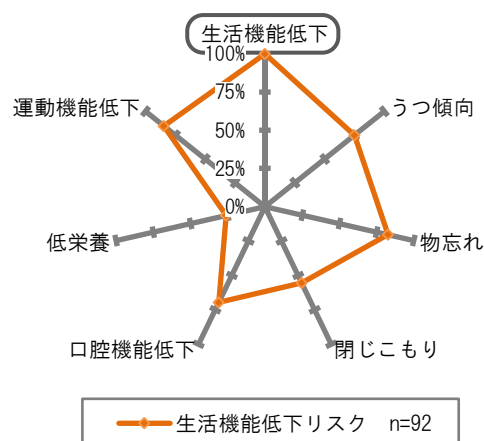
図表 3.4-3.1 他リスクとの重複人数及び割合

上段：人/下段：%

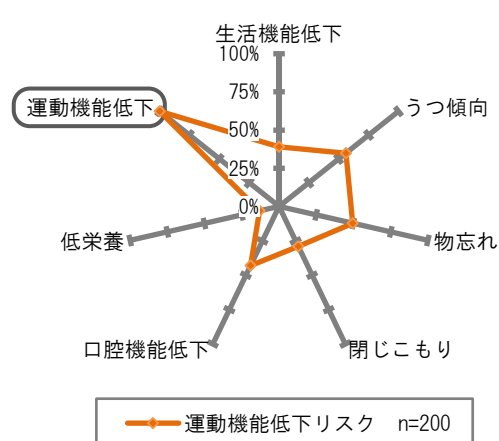
項目	生活機能 低下リスク	運動機能 低下リスク	低栄養 リスク	口腔機能 低下リスク	閉じこもり リスク	物忘れ リスク	うつ傾向 リスク
生活機能低下リスク	92 (100.0)	78 (84.8)	24 (26.1)	64 (69.6)	51 (55.4)	76 (82.6)	69 (75.0)
運動機能低下リスク	78 (39.0)	200 (100.0)	26 (13.0)	86 (43.0)	58 (29.0)	99 (49.5)	112 (56.0)
低栄養リスク	24 (49.0)	26 (53.1)	49 (100.0)	31 (63.3)	19 (38.8)	27 (55.1)	31 (63.3)
口腔機能低下リスク	64 (23.7)	86 (31.9)	31 (11.5)	270 (100.0)	47 (17.4)	137 (50.7)	137 (50.7)
閉じこもりリスク	51 (44.7)	58 (50.9)	19 (16.7)	47 (41.2)	114 (100.0)	59 (51.8)	66 (57.9)
物忘れリスク	76 (19.3)	99 (25.2)	27 (6.9)	137 (34.9)	59 (15.0)	393 (100.0)	185 (47.1)
うつ傾向リスク	69 (19.5)	112 (31.6)	31 (8.8)	137 (38.7)	66 (18.6)	185 (52.3)	354 (100.0)

図表 3.4-3.2 他リスクとの重複割合

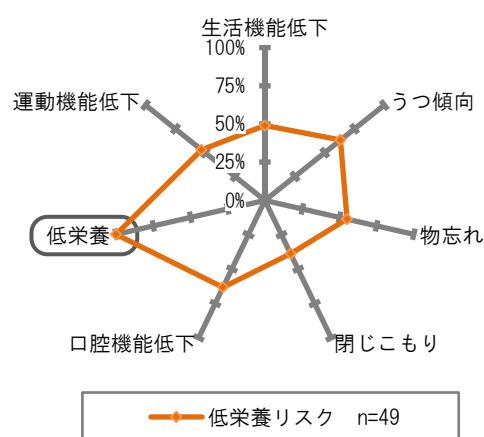
【生活機能低下リスクと他リスクとの重複】



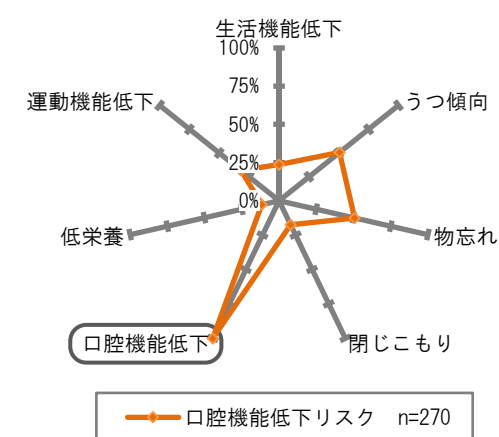
【運動機能低下リスクと他リスクとの重複】



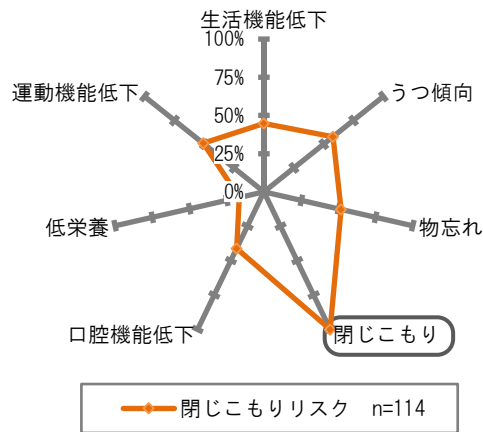
【低栄養リスクと他リスクとの重複】



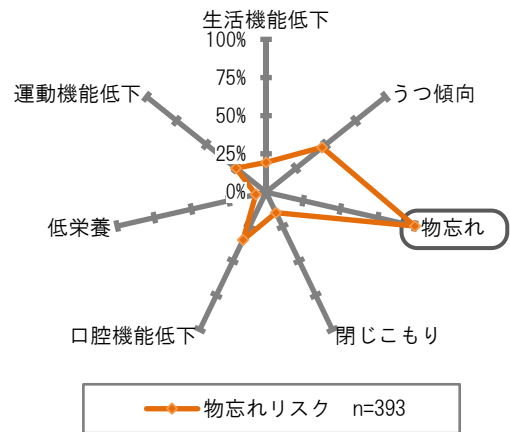
【口腔機能低下リスクと他リスクとの重複】



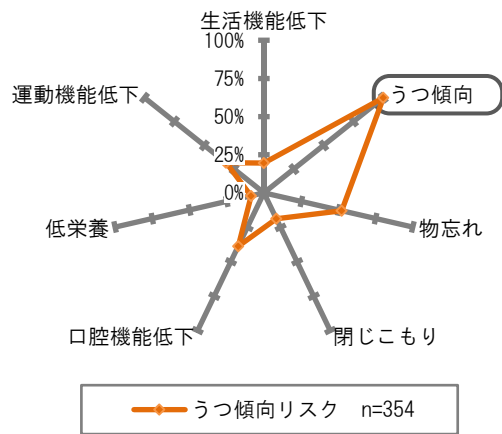
【閉じこもりリスクと他リスクとの重複】



【物忘れリスクと他リスクとの重複】



【うつ傾向リスクと他リスクとの重複】



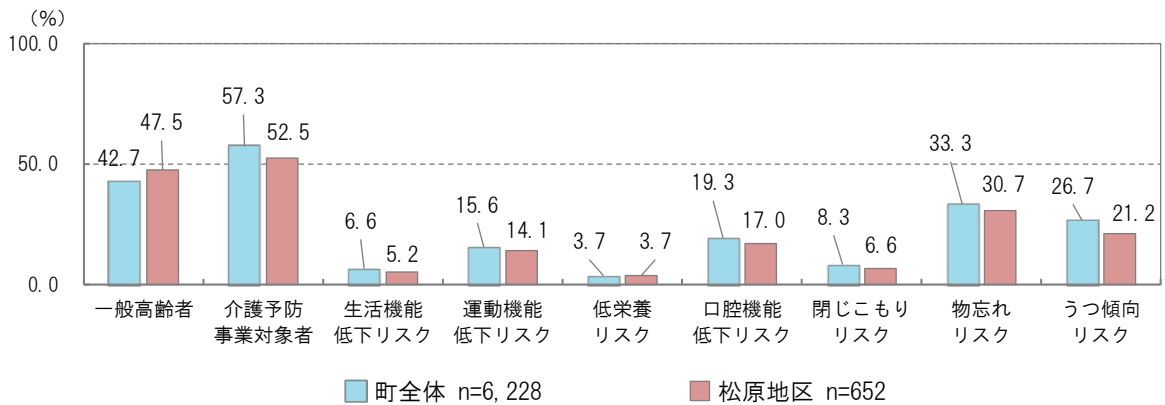
5 松原地区

松原地区の介護予防事業対象者の出現率は 52.5%と地区別で最も低く、町全体の割合を 4.8 ポイント下回っています。リスク別の出現率は、「低栄養リスク」を除いて町全体の割合を下回っており、「生活機能低下リスク」「運動機能低下リスク」「閉じこもりリスク」「うつ傾向リスク」は地区別で最も低くなっています。特に「うつ傾向リスク」は 5.5 ポイント、町全体より低くなっています（P.29 図表 2.11 参照）。

リスク別の出現率を性別・年齢階級別にみると、「物忘れリスク」は男性の「65～69歳」で 37.2%と 70～79 歳より高くなっています。

他のリスクとの重複割合をみると、「運動機能低下リスク」は、「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」との重複割合が 50%を超え、「低栄養リスク」は「うつ傾向リスク」との重複割合が 50%を超え、「閉じこもりリスク」「うつ傾向リスク」は「物忘れリスク」との重複割合が 50%以上となっています。

図表 3.5-1 介護予防事業対象者出現率及びリスク別出現率



図表 3.5-2 リスク別人数及び出現率（性別・年齢階級別） 上段：人/下段：%

松原地区 n=652	男性						女性					
	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上
	n=86	n=118	n=67	n=35	n=7	n=3	n=97	n=134	n=62	n=31	n=8	n=4
生活機能 低下リスク	2 (2.3)	3 (2.5)	5 (7.5)	1 (2.9)	0 (0.0)	3 (100.0)	2 (2.1)	2 (1.5)	4 (6.5)	5 (16.1)	3 (37.5)	4 (100.0)
運動機能 低下リスク	4 (4.7)	6 (5.1)	13 (19.4)	8 (22.9)	2 (28.6)	3 (100.0)	8 (8.2)	16 (11.9)	10 (16.1)	13 (41.9)	5 (62.5)	4 (100.0)
低栄養 リスク	1 (1.2)	5 (4.2)	4 (6.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (5.2)	2 (1.5)	4 (6.5)	3 (9.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
口腔機能 低下リスク	10 (11.6)	24 (20.3)	12 (17.9)	9 (25.7)	3 (42.9)	2 (66.7)	14 (14.4)	15 (11.2)	13 (21.0)	3 (9.7)	4 (50.0)	2 (50.0)
閉じこもり リスク	1 (1.2)	8 (6.8)	6 (9.0)	1 (2.9)	0 (0.0)	1 (33.3)	3 (3.1)	9 (6.7)	3 (4.8)	5 (16.1)	4 (50.0)	2 (50.0)
物忘れ リスク	32 (37.2)	31 (26.3)	22 (32.8)	14 (40.0)	1 (14.3)	2 (66.7)	27 (27.8)	28 (20.9)	22 (35.5)	13 (41.9)	4 (50.0)	4 (100.0)
うつ傾向 リスク	10 (11.6)	20 (16.9)	18 (26.9)	9 (25.7)	2 (28.6)	3 (100.0)	18 (18.6)	27 (20.1)	16 (25.8)	11 (35.5)	3 (37.5)	1 (25.0)

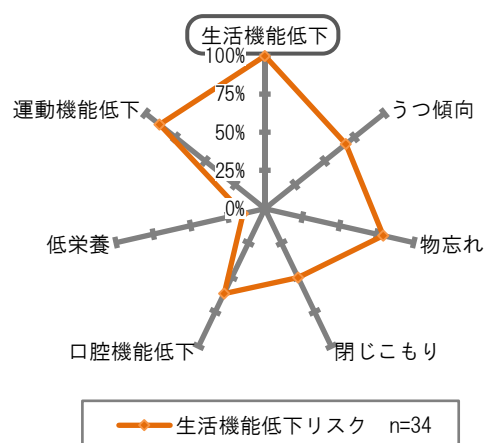
図表 3.5-3.1 他リスクとの重複人数及び割合

上段：人/下段：%

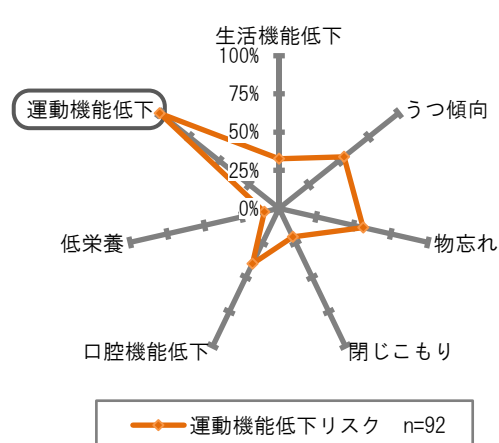
項目	生活機能 低下リスク	運動機能 低下リスク	低栄養 リスク	口腔機能 低下リスク	閉じこもり リスク	物忘れ リスク	うつ傾向 リスク
生活機能低下リスク	34 (100.0)	30 (88.2)	5 (14.7)	21 (61.8)	17 (50.0)	27 (79.4)	23 (67.6)
運動機能低下リスク	30 (32.6)	92 (100.0)	9 (9.8)	37 (40.2)	19 (20.7)	52 (56.5)	50 (54.3)
低栄養リスク	5 (20.8)	9 (37.5)	24 (100.0)	10 (41.7)	3 (12.5)	10 (41.7)	13 (54.2)
口腔機能低下リスク	21 (18.9)	37 (33.3)	10 (9.0)	111 (100.0)	15 (13.5)	53 (47.7)	50 (45.0)
閉じこもりリスク	17 (39.5)	19 (44.2)	3 (7.0)	15 (34.9)	43 (100.0)	22 (51.2)	18 (41.9)
物忘れリスク	27 (13.5)	52 (26.0)	10 (5.0)	53 (26.5)	22 (11.0)	200 (100.0)	69 (34.5)
うつ傾向リスク	23 (16.7)	50 (36.2)	13 (9.4)	50 (36.2)	18 (13.0)	69 (50.0)	138 (100.0)

図表 3.5-3.2 他リスクとの重複割合

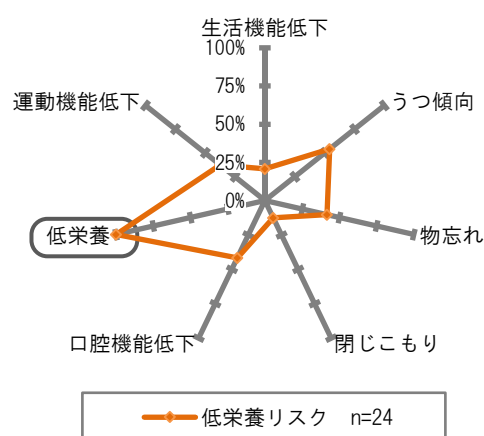
【生活機能低下リスクと他リスクとの重複】



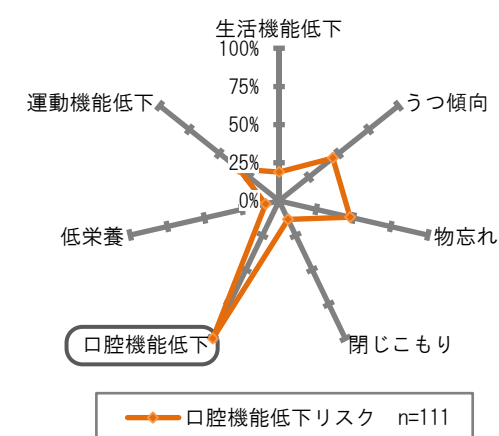
【運動機能低下リスクと他リスクとの重複】



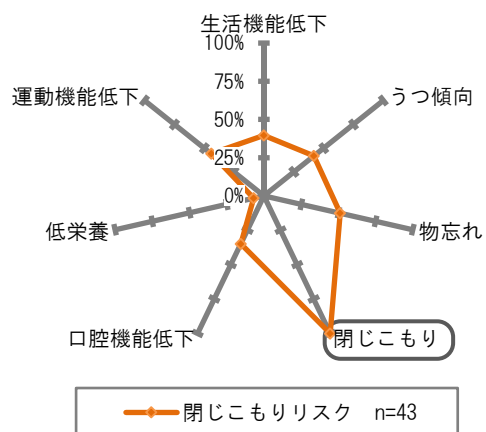
【低栄養リスクと他リスクとの重複】



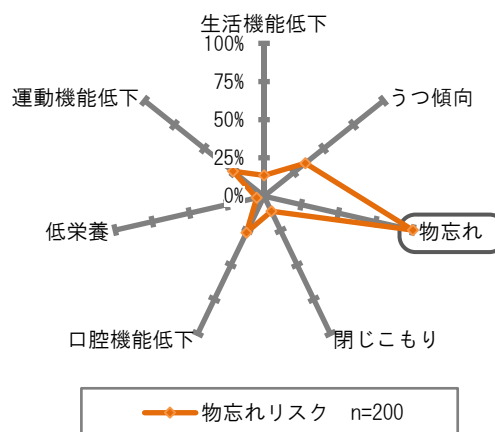
【口腔機能低下リスクと他リスクとの重複】



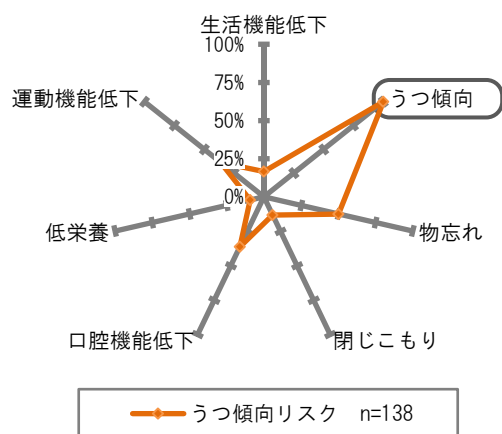
【閉じこもりリスクと他リスクとの重複】



【物忘れリスクと他リスクとの重複】



【うつ傾向リスクと他リスクとの重複】



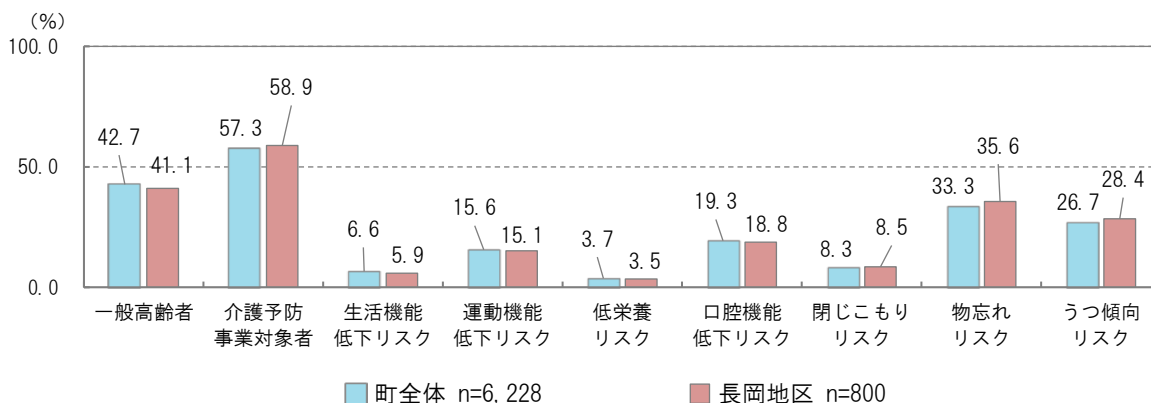
6 長岡地区

長岡地区の介護予防事業対象者の出現率は 58.9%と、町全体の割合を 1.6 ポイント上回っています。リスク別の出現率は、「閉じこもりリスク」「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」が町全体の割合を上回り、「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」は地区別で2番目に高くなっています。一方、「生活機能低下リスク」は地区別で2番目に低くなっています（P.29 図表 2.11 参照）。

リスク別の出現率を性別・年齢階級別にみると、「低栄養リスク」「運動機能低下リスク」は「90歳以上」を除いて女性が男性を上回っています。「物忘れリスク」は、男性は「80～84歳」を除く全ての年齢階級で、女性は70歳以上で30%を上回っています。

他のリスクとの重複割合をみると、「運動機能低下リスク」「低栄養リスク」「閉じこもりリスク」は「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」との重複割合が50%を超え、「口腔機能低下リスク」は「うつ傾向リスク」との重複割合が50%を超え、「うつ傾向リスク」は「物忘れリスク」との重複割合が50%を超えています。

図表 3.6-1 介護予防事業対象者出現率及びリスク別出現率



図表 3.6-2 リスク別人数及び出現率（性別・年齢階級別）

上段：人/下段：%

長岡地区 n=800	男性						女性					
	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上
	n=84	n=126	n=98	n=56	n=11	n=4	n=119	n=137	n=93	n=55	n=15	n=2
生活機能 低下リスク	4 (4.8)	7 (5.6)	7 (7.1)	5 (8.9)	1 (9.1)	3 (75.0)	3 (2.5)	4 (2.9)	2 (2.2)	7 (12.7)	2 (13.3)	2 (100.0)
運動機能 低下リスク	4 (4.8)	10 (7.9)	10 (10.2)	14 (25.0)	2 (18.2)	4 (100.0)	11 (9.2)	14 (10.2)	21 (22.6)	22 (40.0)	7 (46.7)	2 (100.0)
低栄養 リスク	1 (1.2)	1 (0.8)	4 (4.1)	1 (1.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (3.4)	8 (5.8)	5 (5.4)	3 (5.5)	1 (6.7)	0 (0.0)
口腔機能 低下リスク	13 (15.5)	22 (17.5)	20 (20.4)	12 (21.4)	3 (27.3)	2 (50.0)	16 (13.4)	22 (16.1)	19 (20.4)	18 (32.7)	1 (6.7)	2 (100.0)
閉じこもり リスク	9 (10.7)	9 (7.1)	10 (10.2)	4 (7.1)	2 (18.2)	2 (50.0)	6 (5.0)	7 (5.1)	4 (4.3)	9 (16.4)	5 (33.3)	1 (50.0)
物忘れ リスク	31 (36.9)	45 (35.7)	46 (46.9)	14 (25.0)	7 (63.6)	3 (75.0)	29 (24.4)	47 (34.3)	34 (36.6)	23 (41.8)	5 (33.3)	1 (50.0)
うつ傾向 リスク	14 (16.7)	28 (22.2)	28 (28.6)	18 (32.1)	5 (45.5)	2 (50.0)	26 (21.8)	42 (30.7)	33 (35.5)	24 (43.6)	6 (40.0)	1 (50.0)

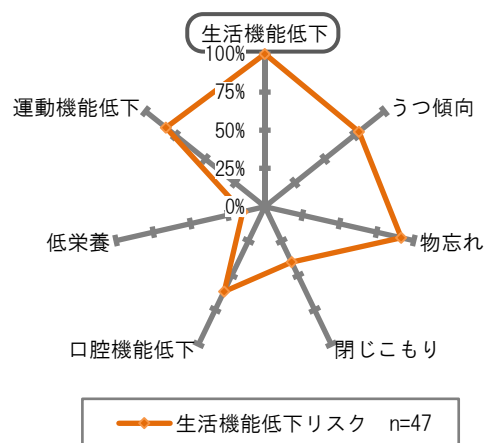
図表 3.6-3.1 他リスクとの重複人数及び割合

上段：人/下段：%

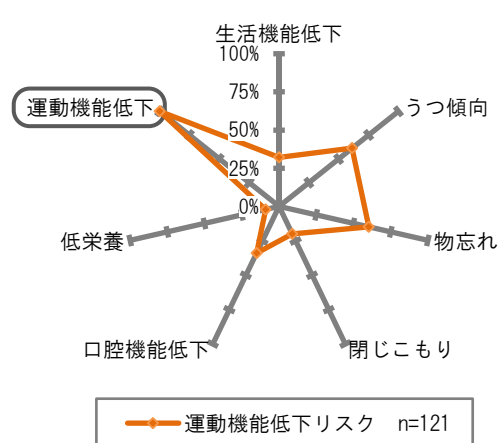
項目	生活機能 低下リスク	運動機能 低下リスク	低栄養 リスク	口腔機能 低下リスク	閉じこもり リスク	物忘れ リスク	うつ傾向 リスク
生活機能低下リスク	47 (100.0)	39 (83.0)	7 (14.9)	29 (61.7)	19 (40.4)	43 (91.5)	37 (78.7)
運動機能低下リスク	39 (32.2)	121 (100.0)	11 (9.1)	41 (33.9)	24 (19.8)	73 (60.3)	74 (61.2)
低栄養リスク	7 (25.0)	11 (39.3)	28 (100.0)	9 (32.1)	4 (14.3)	16 (57.1)	16 (57.1)
口腔機能低下リスク	29 (19.3)	41 (27.3)	9 (6.0)	150 (100.0)	14 (9.3)	73 (48.7)	78 (52.0)
閉じこもりリスク	19 (27.9)	24 (35.3)	4 (5.9)	14 (20.6)	68 (100.0)	41 (60.3)	35 (51.5)
物忘れリスク	43 (15.1)	73 (25.6)	16 (5.6)	73 (25.6)	41 (14.4)	285 (100.0)	128 (44.9)
うつ傾向リスク	37 (16.3)	74 (32.6)	16 (7.0)	78 (34.4)	35 (15.4)	128 (56.4)	227 (100.0)

図表 3.6-3.2 他リスクとの重複割合

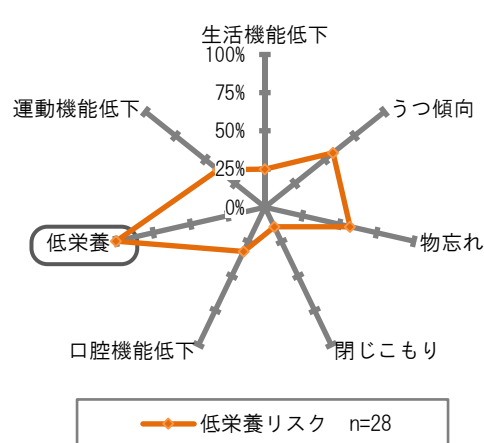
【生活機能低下リスクと他リスクとの重複】



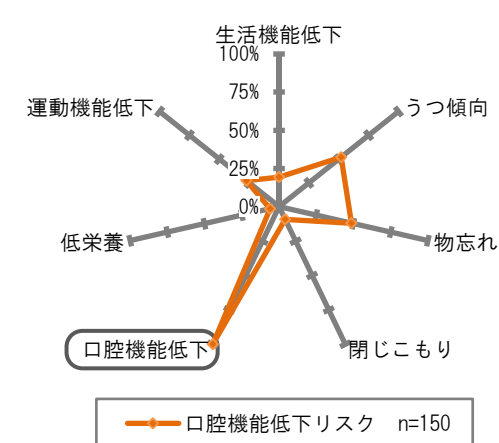
【運動機能低下リスクと他リスクとの重複】



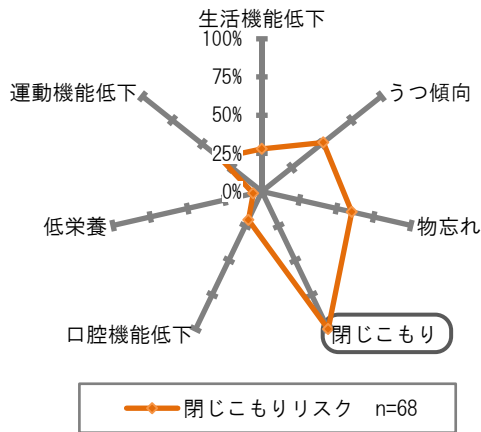
【低栄養リスクと他リスクとの重複】



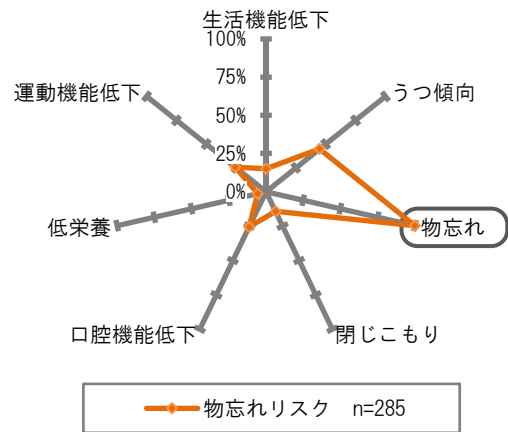
【口腔機能低下リスクと他リスクとの重複】



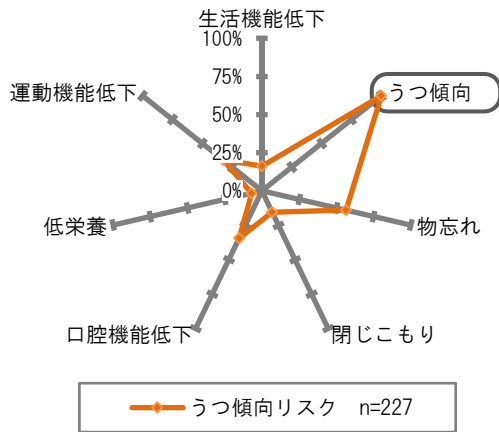
【閉じこもりリスクと他リスクとの重複】



【物忘れリスクと他リスクとの重複】



【うつ傾向リスクと他リスクとの重複】



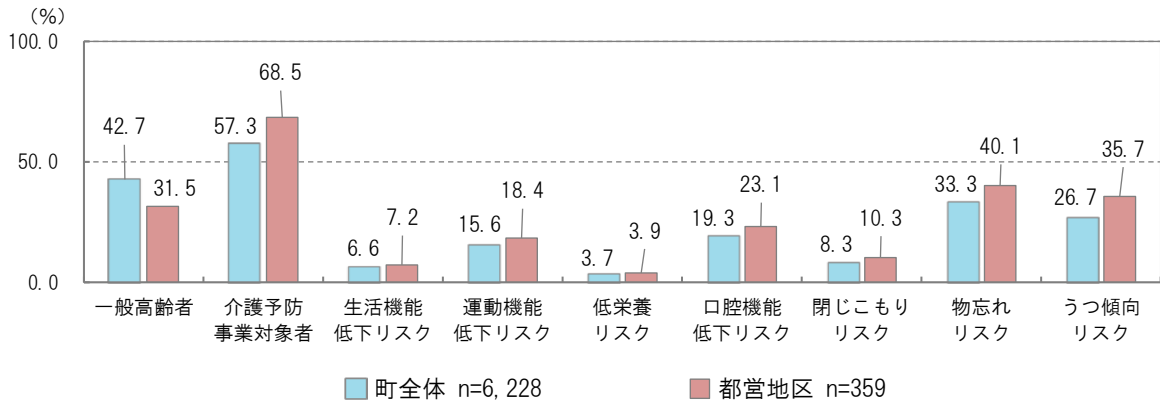
7 都営地区

都営地区の介護予防事業対象者の出現率は 68.5%と地区別で最も高く、町全体の割合を 11.2 ポイント上回っています。リスク別の出現率は、全てのリスクで町全体の割合を上回っており、「生活機能低下リスク」「低栄養リスク」を除いて地区別で最も高くなっています（P.29 図表 2.11 参照）。特に「うつ傾向リスク」は 9.0 ポイント、「物忘れリスク」は 6.8 ポイント、町全体より高くなっています。

リスク別の出現率を性別・年齢階級別にみると、「物忘れリスク」は男性の「90 歳以上」を除く全ての年齢階級で 30%を超え、女性は「65～69 歳」で 40.0%と 70～79 歳より高くなっています。

他のリスクとの重複割合をみると、「運動機能低下リスク」「低栄養リスク」「口腔機能低下リスク」は、「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」との重複割合が 50%以上、「閉じこもりリスク」は「うつ傾向リスク」との重複割合が 50%を超えています。

図表 3.7-1 介護予防事業対象者出現率及びリスク別出現率



図表 3.7-2 リスク別人数及び出現率（性別・年齢階級別）

上段：人/下段：%

都営地区 n=359	男性						女性					
	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上
	n=18	n=37	n=32	n=33	n=17	n=1	n=30	n=54	n=61	n=48	n=25	n=3
生活機能 低下リスク	0 (0.0)	5 (13.5)	3 (9.4)	2 (6.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.3)	2 (3.7)	4 (6.6)	6 (12.5)	2 (8.0)	1 (33.3)
運動機能 低下リスク	1 (5.6)	5 (13.5)	6 (18.8)	5 (15.2)	2 (11.8)	1 (100.0)	5 (16.7)	8 (14.8)	12 (19.7)	12 (25.0)	7 (28.0)	2 (66.7)
低栄養 リスク	0 (0.0)	1 (2.7)	1 (3.1)	3 (9.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.3)	2 (3.7)	2 (3.3)	2 (4.2)	1 (4.0)	1 (33.3)
口腔機能 低下リスク	5 (27.8)	6 (16.2)	10 (31.3)	6 (18.2)	7 (41.2)	0 (0.0)	9 (30.0)	6 (11.1)	14 (23.0)	10 (20.8)	9 (36.0)	1 (33.3)
閉じこもり リスク	2 (11.1)	7 (18.9)	4 (12.5)	4 (12.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (13.3)	2 (3.7)	5 (8.2)	6 (12.5)	3 (12.0)	0 (0.0)
物忘れ リスク	6 (33.3)	12 (32.4)	18 (56.3)	13 (39.4)	11 (64.7)	0 (0.0)	12 (40.0)	16 (29.6)	23 (37.7)	21 (43.8)	11 (44.0)	1 (33.3)
うつ傾向 リスク	5 (27.8)	13 (35.1)	10 (31.3)	11 (33.3)	5 (29.4)	0 (0.0)	11 (36.7)	14 (25.9)	20 (32.8)	24 (50.0)	13 (52.0)	2 (66.7)

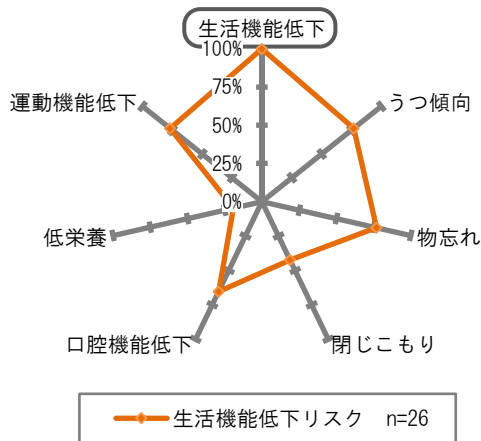
図表 3.7-3.1 他リスクとの重複人数及び割合

上段：人/下段：%

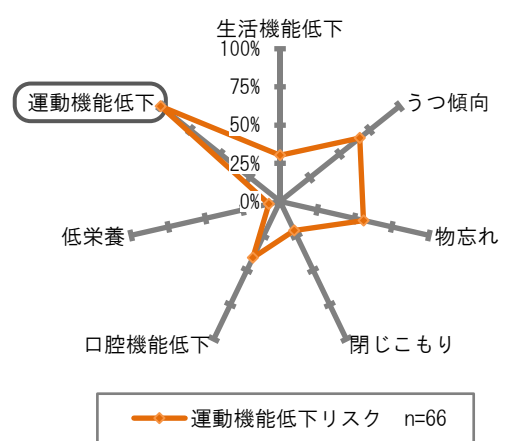
項目	生活機能 低下リスク	運動機能 低下リスク	低栄養 リスク	口腔機能 低下リスク	閉じこもり リスク	物忘れ リスク	うつ傾向 リスク
生活機能低下リスク	26 (100.0)	20 (76.9)	5 (19.2)	17 (65.4)	11 (42.3)	20 (76.9)	20 (76.9)
運動機能低下リスク	20 (30.3)	66 (100.0)	5 (7.6)	27 (40.9)	14 (21.2)	37 (56.1)	44 (66.7)
低栄養リスク	5 (35.7)	5 (35.7)	14 (100.0)	6 (42.9)	5 (35.7)	10 (71.4)	7 (50.0)
口腔機能低下リスク	17 (20.5)	27 (32.5)	6 (7.2)	83 (100.0)	10 (12.0)	47 (56.6)	48 (57.8)
閉じこもりリスク	11 (29.7)	14 (37.8)	5 (13.5)	10 (27.0)	37 (100.0)	17 (45.9)	23 (62.2)
物忘れリスク	20 (13.9)	37 (25.7)	10 (6.9)	47 (32.6)	17 (11.8)	144 (100.0)	63 (43.8)
うつ傾向リスク	20 (15.6)	44 (34.4)	7 (5.5)	48 (37.5)	23 (18.0)	63 (49.2)	128 (100.0)

図表 3.7-3.2 他リスクとの重複割合

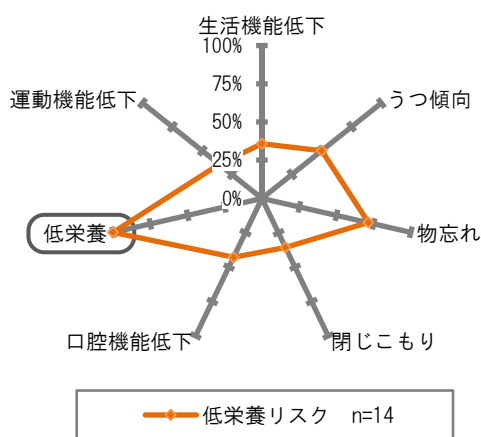
【生活機能低下リスクと他リスクとの重複】



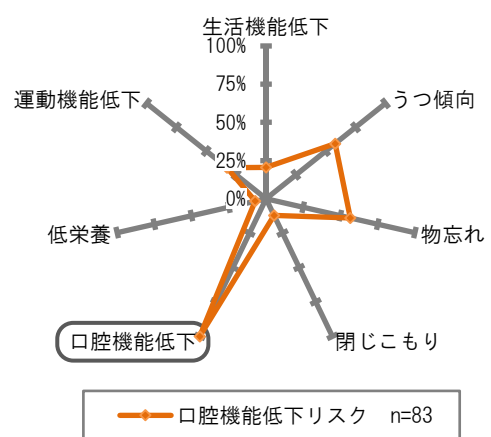
【運動機能低下リスクと他リスクとの重複】



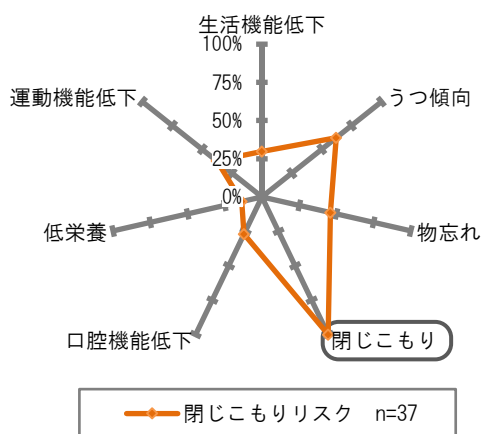
【低栄養リスクと他リスクとの重複】



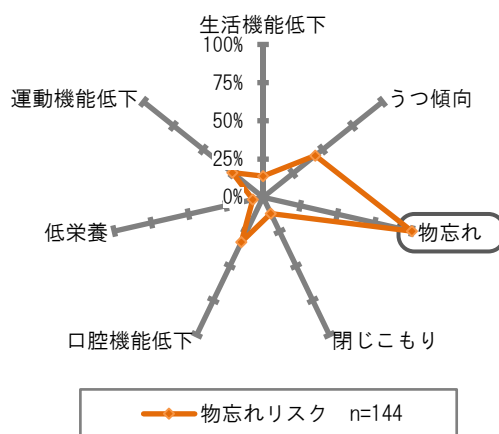
【口腔機能低下リスクと他リスクとの重複】



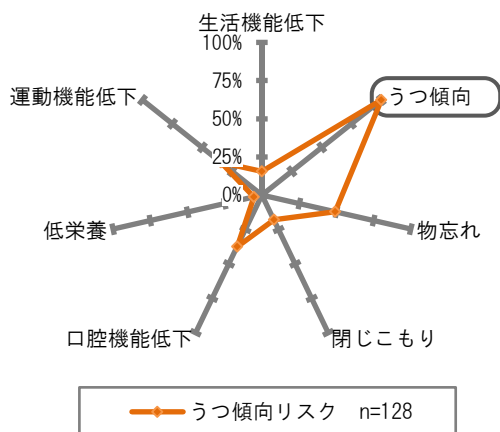
【閉じこもりリスクと他リスクとの重複】



【物忘れリスクと他リスクとの重複】



【うつ傾向リスクと他リスクとの重複】



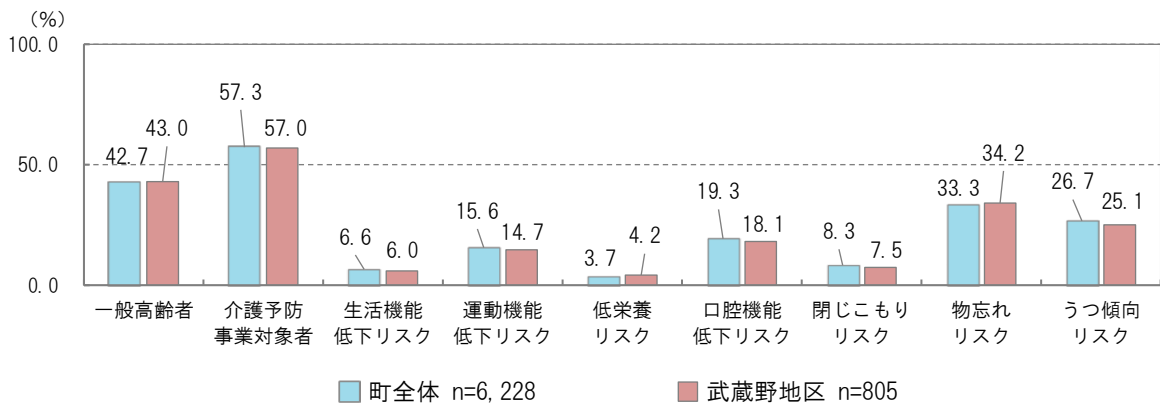
8 武蔵野地区

武蔵野地区の介護予防事業対象者の出現率は 57.0%と、町全体の割合を 0.3 ポイント下回っています。リスク別の出現率は、「低栄養リスク」「物忘れリスク」は町全体の割合を上回っており、「低栄養リスク」は地区別で最も高くなっています。一方、「運動機能低下リスク」「閉じこもりリスク」「うつ傾向リスク」は地区別で2番目に低くなっています（P.29 図表 2.11 参照）。

リスク別の出現率を性別・年齢階級別にみると、「低栄養リスク」は女性の「65～69歳」が 5.9%と 70～84歳より高く、「物忘れリスク」は男性の「65～69歳」が 41.2%と他の年齢階級より高くなっています。

他のリスクとの重複割合をみると、「低栄養リスク」は「物忘れリスク」との重複割合が 50%を超え、「口腔機能低下リスク」は「物忘れリスク」「うつ傾向リスク」との重複割合が 50%を超え、「うつ傾向リスク」は「物忘れリスク」との重複割合が 50%を超えています。

図表 3.8-1 介護予防事業対象者出現率及びリスク別出現率



図表 3.8-2 リスク別人数及び出現率（性別・年齢階級別） 上段：人/下段：%

武蔵野地区 n=805	男性						女性					
	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上
	n=102	n=131	n=77	n=49	n=16	n=1	n=102	n=159	n=85	n=61	n=18	n=4
生活機能 低下リスク	7 (6.9)	3 (2.3)	6 (7.8)	8 (16.3)	1 (6.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (3.1)	4 (4.7)	8 (13.1)	5 (27.8)	1 (25.0)
運動機能 低下リスク	11 (10.8)	9 (6.9)	8 (10.4)	15 (30.6)	5 (31.3)	0 (0.0)	9 (8.8)	21 (13.2)	18 (21.2)	15 (24.6)	5 (27.8)	2 (50.0)
低栄養 リスク	2 (2.0)	3 (2.3)	2 (2.6)	4 (8.2)	2 (12.5)	0 (0.0)	6 (5.9)	6 (3.8)	2 (2.4)	2 (3.3)	5 (27.8)	0 (0.0)
口腔機能 低下リスク	11 (10.8)	21 (16.0)	9 (11.7)	16 (32.7)	3 (18.8)	0 (0.0)	14 (13.7)	26 (16.4)	23 (27.1)	13 (21.3)	9 (50.0)	1 (25.0)
閉じこもり リスク	7 (6.9)	6 (4.6)	11 (14.3)	4 (8.2)	2 (12.5)	1 (100.0)	4 (3.9)	7 (4.4)	6 (7.1)	8 (13.1)	3 (16.7)	1 (25.0)
物忘れ リスク	42 (41.2)	38 (29.0)	23 (29.9)	20 (40.8)	3 (18.8)	0 (0.0)	35 (34.3)	50 (31.4)	26 (30.6)	29 (47.5)	8 (44.4)	1 (25.0)
うつ傾向 リスク	22 (21.6)	27 (20.6)	17 (22.1)	15 (30.6)	6 (37.5)	0 (0.0)	20 (19.6)	39 (24.5)	25 (29.4)	19 (31.1)	10 (55.6)	2 (50.0)

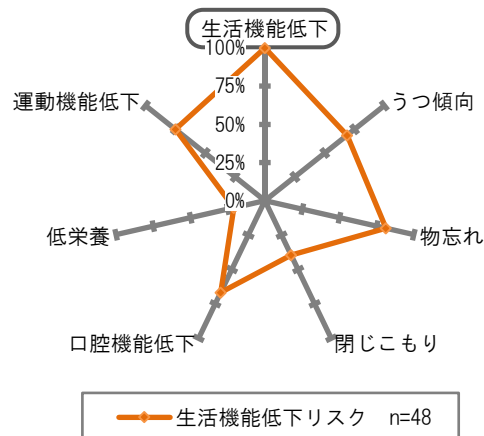
図表 3.8-3.1 他リスクとの重複人数及び割合

上段：人/下段：%

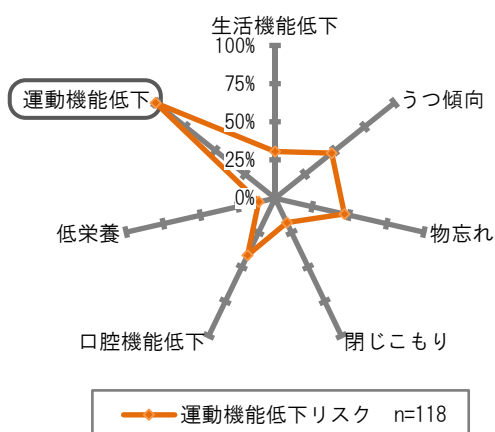
項目	生活機能 低下リスク	運動機能 低下リスク	低栄養 リスク	口腔機能 低下リスク	閉じこもり リスク	物忘れ リスク	うつ傾向 リスク
生活機能低下リスク	48 (100.0)	36 (75.0)	10 (20.8)	32 (66.7)	19 (39.6)	39 (81.3)	33 (68.8)
運動機能低下リスク	36 (30.5)	118 (100.0)	13 (11.0)	49 (41.5)	21 (17.8)	55 (46.6)	56 (47.5)
低栄養リスク	10 (29.4)	13 (38.2)	34 (100.0)	13 (38.2)	9 (26.5)	18 (52.9)	16 (47.1)
口腔機能低下リスク	32 (21.9)	49 (33.6)	13 (8.9)	146 (100.0)	11 (7.5)	83 (56.8)	76 (52.1)
閉じこもりリスク	19 (31.7)	21 (35.0)	9 (15.0)	11 (18.3)	60 (100.0)	28 (46.7)	23 (38.3)
物忘れリスク	39 (14.2)	55 (20.0)	18 (6.5)	83 (30.2)	28 (10.2)	275 (100.0)	110 (40.0)
うつ傾向リスク	33 (16.3)	56 (27.7)	16 (7.9)	76 (37.6)	23 (11.4)	110 (54.5)	202 (100.0)

図表 3.8-3.2 他リスクとの重複割合

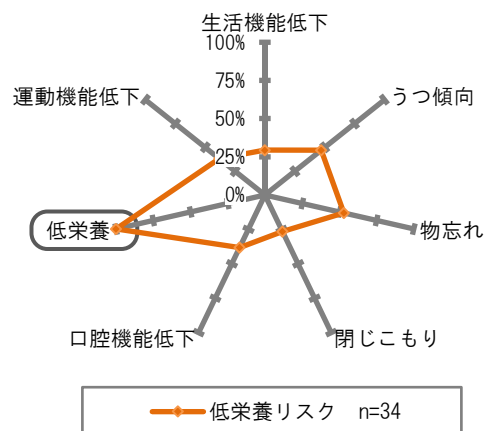
【生活機能低下リスクと他リスクとの重複】



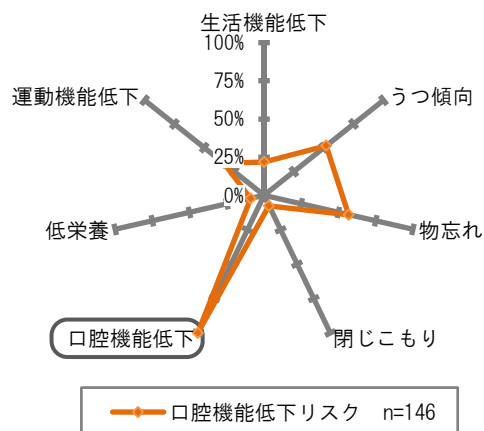
【運動機能低下リスクと他リスクとの重複】



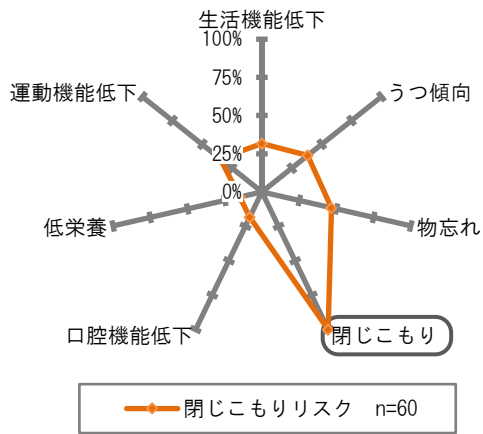
【低栄養リスクと他リスクとの重複】



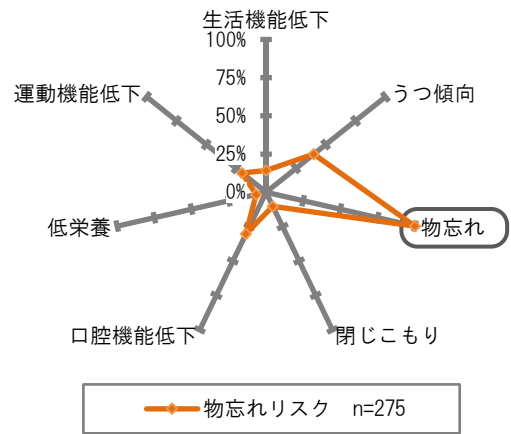
【口腔機能低下リスクと他リスクとの重複】



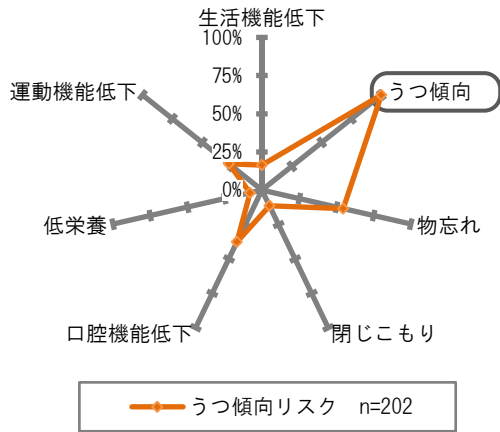
【閉じこもりリスクと他リスクとの重複】



【物忘れリスクと他リスクとの重複】



【うつ傾向リスクと他リスクとの重複】



第4章

日常生活支援事業に関する設問

第4章 日常生活支援事業に関わる設問

1 家族構成及び健康状態

(1) 現在の家族構成

町全体では「65歳以上の高齢者のみの世帯」が41.4%と最も高く、「子や孫、親族等との同居世帯」が37.3%、「ひとり暮らし」が13.5%となっています。

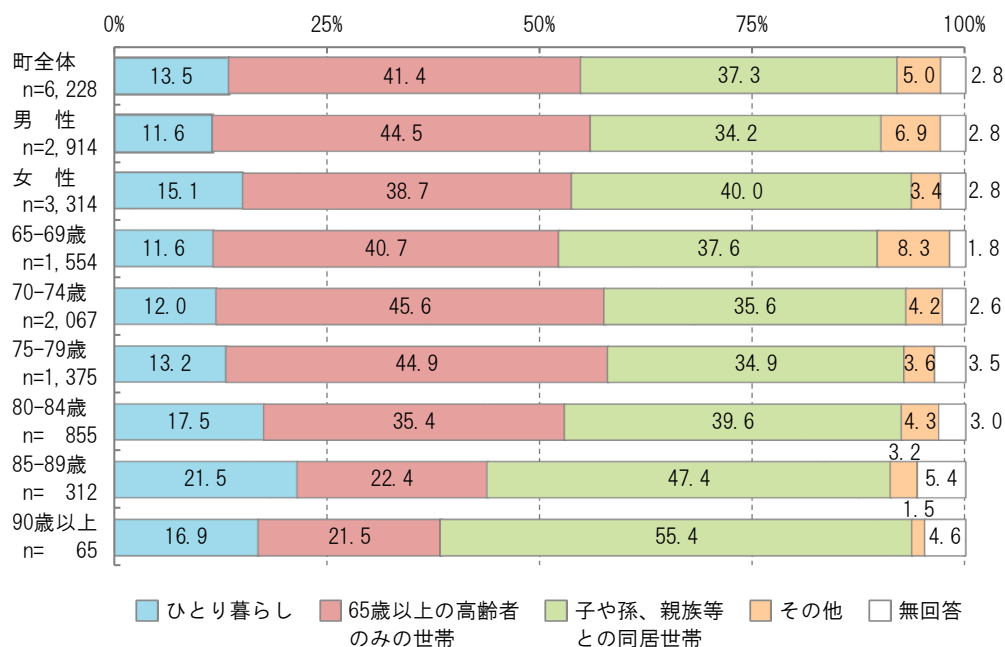
性別では、「ひとり暮らし」は女性が15.1%と、男性（11.6%）を3.5ポイント上回っています。

年齢階級別では、「ひとり暮らし」は「85～89歳」まで年齢階級が上がるにつれ上昇し、「85～89歳」では21.5%となっています。「ひとり暮らし」と「65歳以上の高齢者のみの世帯」を合わせた割合は、「80～84歳」まで50%を超えています。

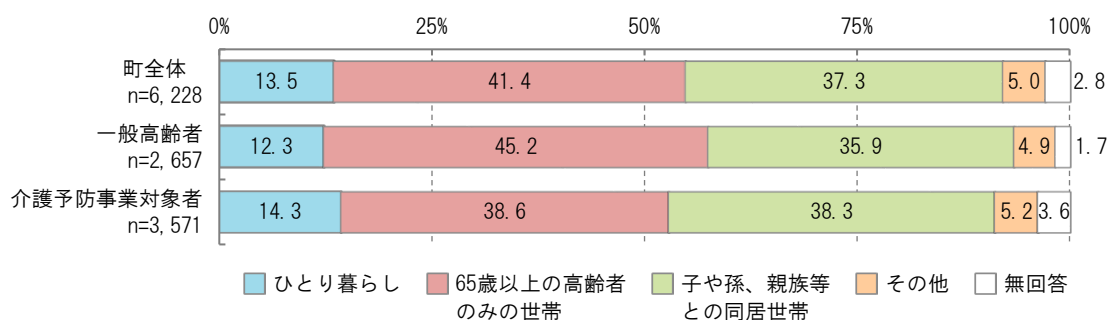
判定別では、「ひとり暮らし」は介護予防事業対象者が14.3%と、一般高齢者（12.3%）を2.0ポイント上回っています。

地区別では、「ひとり暮らし」は都営地区が27.6%と最も高く、2番目に高い箱根ヶ崎地区（14.9%）より10ポイント以上高くなっています。「65歳以上の高齢者のみの世帯」は武蔵野地区が48.9%と最も高く、「子や孫、親族等との同居世帯」は殿ヶ谷地区が44.0%と最も高くなっています。

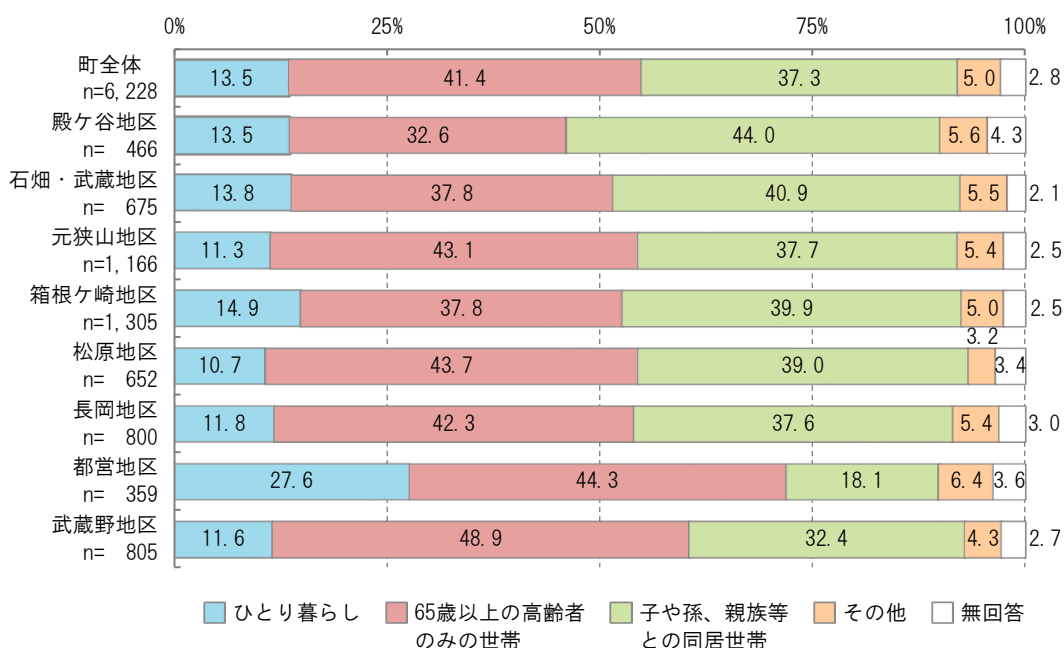
図表 4.1-1 現在の家族構成（性別・年齢階級別）



図表 4.1-2 現在の家族構成（判定別）



図表 4.1-3 現在の家族構成（地区別）



(2) 現在の健康状態

町全体では「普通」が42.7%と最も高く、次いで「良い」が24.6%、「まあ良い」が20.3%となっています。「良い」「まあ良い」を合わせた割合は44.9%となっており、「あまり良くない」「良くない」を合わせた割合(10.5%)を34.4ポイント上回っています。

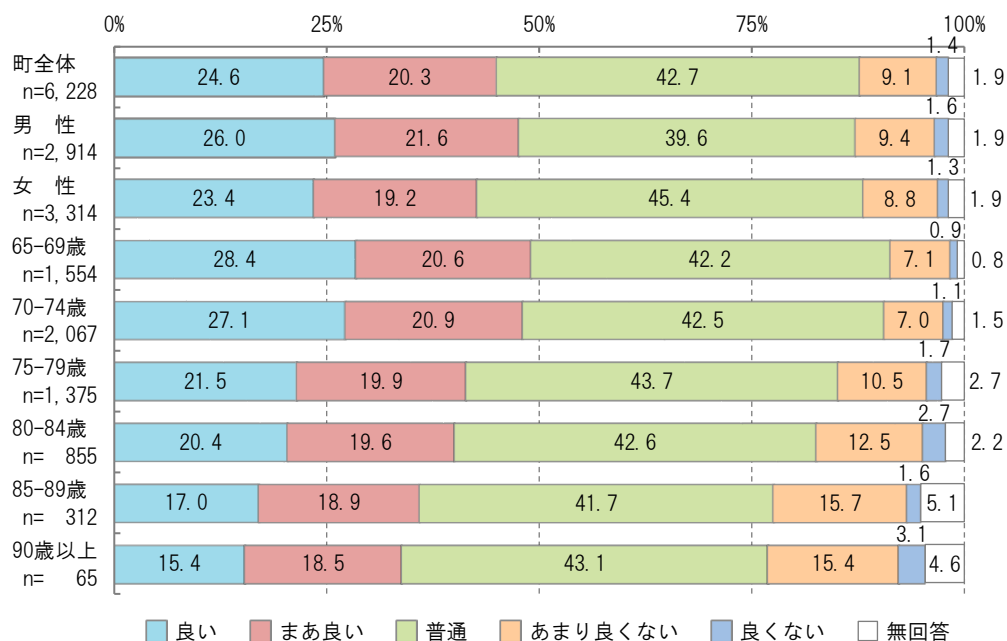
性別では、「良い」「まあ良い」を合わせた割合は、男性が47.6%と、女性(42.6%)を5.0ポイント上回っています。

年齢階級別では、「良い」「まあ良い」を合わせた割合は、「65～69歳」が49.0%と最も高く、年齢階級が上がるにつれ低下しています。

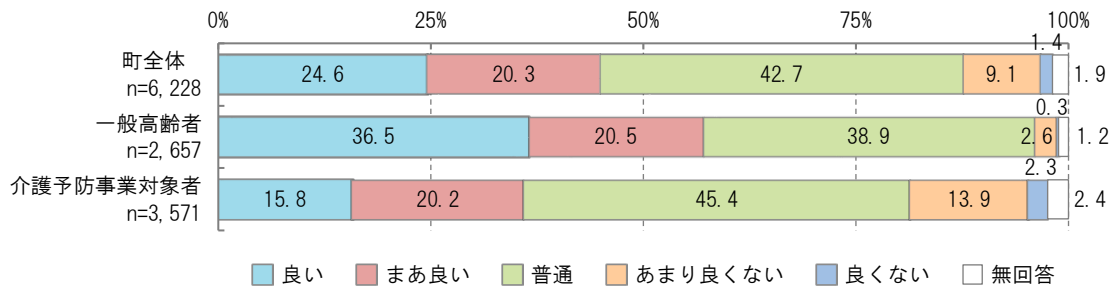
判定別では、「良い」「まあ良い」を合わせた割合は、一般高齢者が57.0%と、介護予防事業対象者(36.0%)を21.0ポイント上回っており、介護予防事業対象者では「あまり良くない」「良くない」を合わせた割合が16.2%となっています。

地区別では、「良い」「まあ良い」を合わせた割合は、元狭山地区が47.4%と最も高く、都営地区が38.2%と最も低くなっています。都営地区では「あまり良くない」「良くない」を合わせた割合が18.1%となっています。

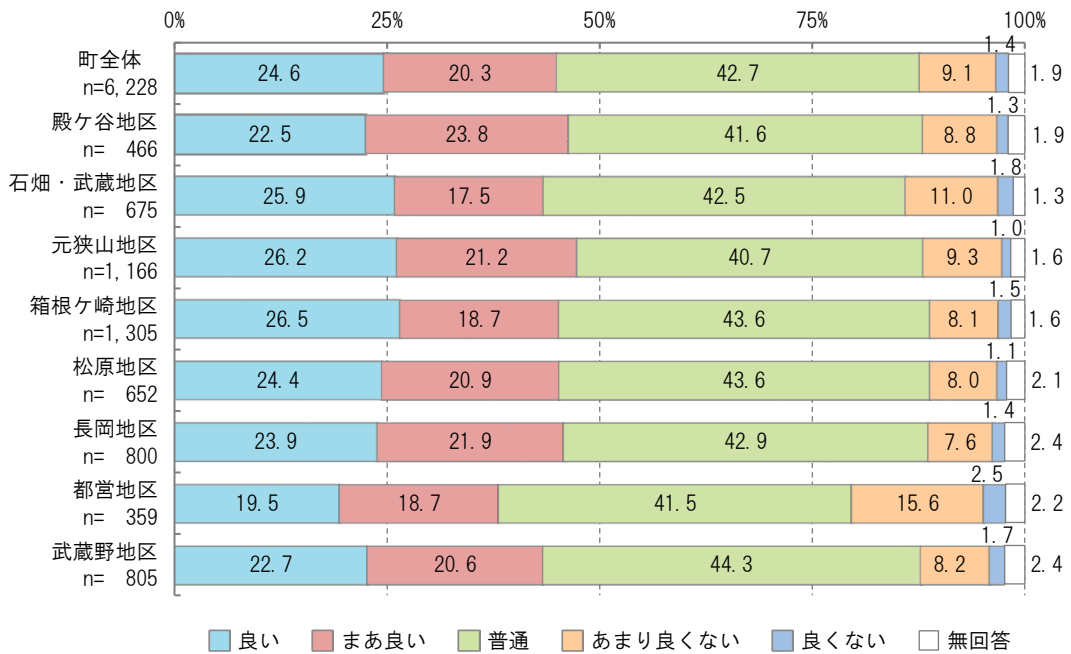
図表 4.2-1 現在の健康状態 (性別・年齢階級別)



図表 4.2-2 現在の健康状態（判定別）



図表 4.2-3 現在の健康状態（地区別）



2 人との交流について

(1) 相談できる人の有無

町全体では「はい（相談できる人がいる）」が90.8%となっています。

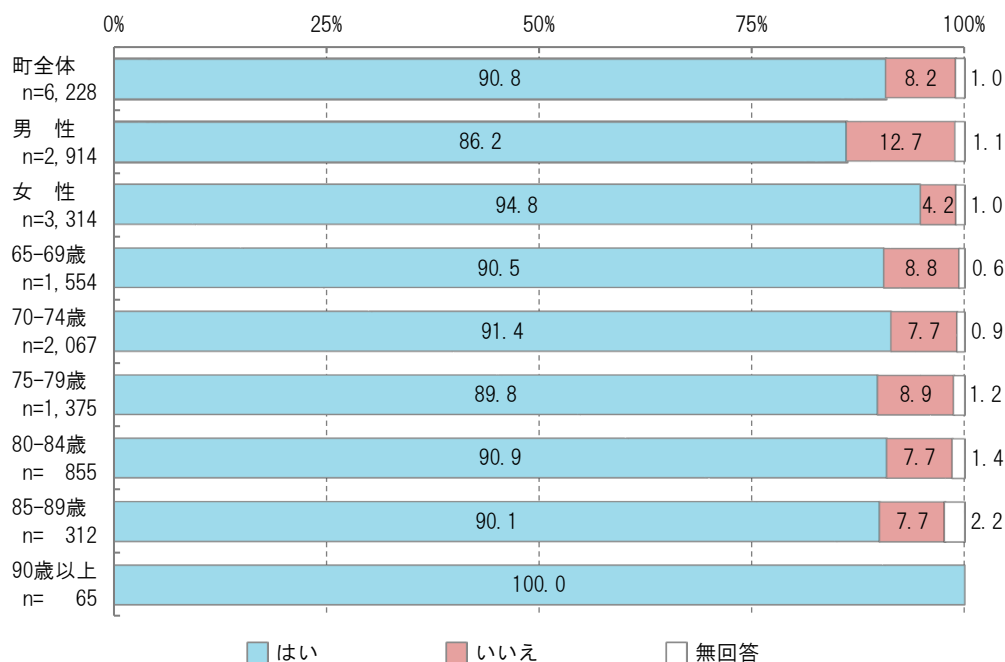
性別では、「はい」は、女性が94.8%と、男性（86.2%）を8.6ポイント上回っています。

年齢階級別では、「はい」は、「90歳以上」が100.0%となっているのを除いて、大きな差はみられません。

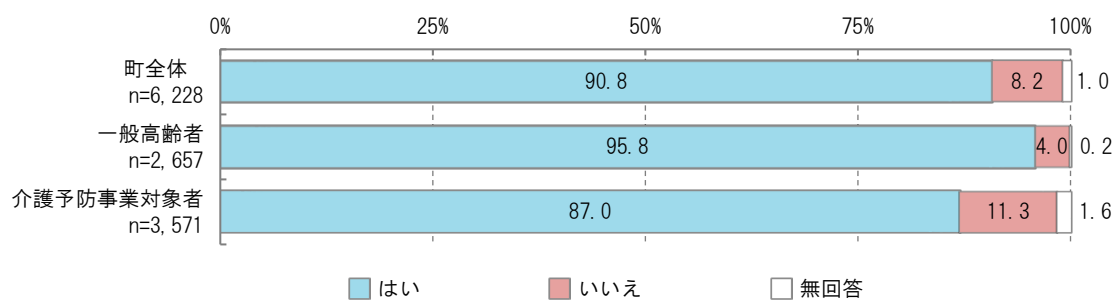
判定別では、「はい」は、一般高齢者が95.8%と、介護予防事業対象者（87.0%）を8.8ポイント上回っています。

地区別では、「はい」は、都営地区が85.5%となっているのを除いて、約90%となっています。

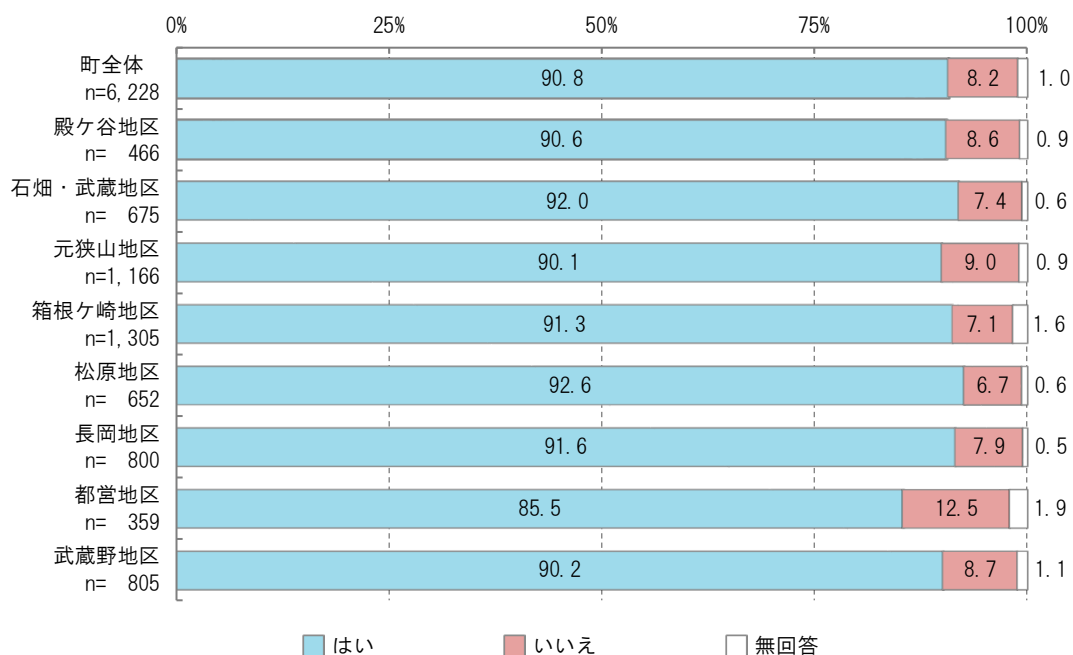
図表 4.3-1 相談できる人がいる（性別・年齢階級別）



図表 4.3-2 相談できる人がいる（判定別）



図表 4.3-3 相談できる人がいる（地区別）



(2) 近所付き合いの程度

町全体では「会えばあいさつをする程度」が34.3%と最も高く、次いで「たまに世間話をする」が34.1%、「困ったときに相談や助け合いをする」が17.6%となっています。

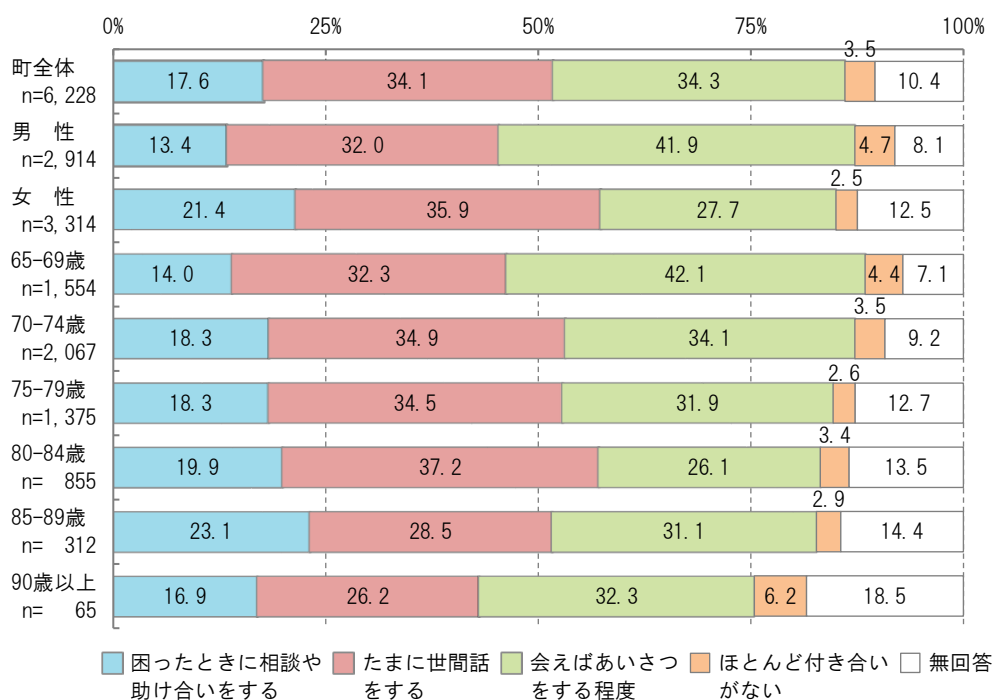
性別では、「困ったときに相談や助け合いをする」は女性が21.4%と、男性(13.4%)を8.0ポイント上回り、「たまに世間話をする」は女性が35.9%と、男性(32.0%)を3.9ポイント上回っています。

年齢階級別では、「困ったときに相談や助け合いをする」は、「85～89歳」まで概ね年齢階級が上がるにつれ上昇傾向にあり、「85～89歳」では23.1%となっています。

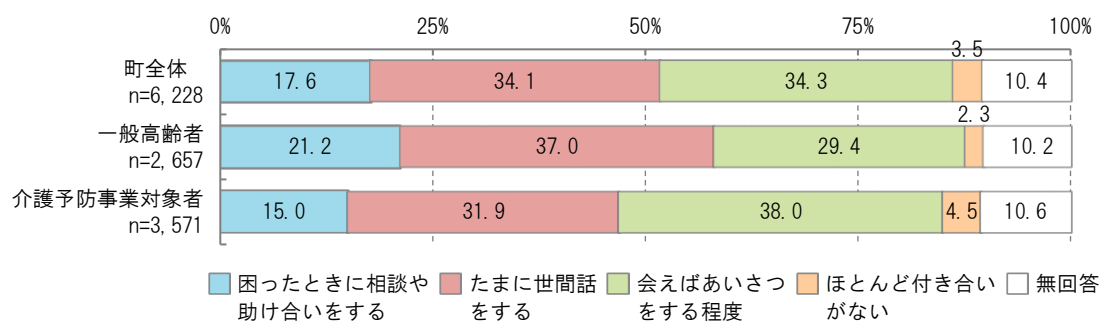
判定別では「困ったときに相談や助け合いをする」は、一般高齢者が21.2%と、介護予防事業対象者(15.0%)を6.2ポイント上回り、「たまに世間話をする」は、一般高齢者が37.0%と、介護予防事業対象者(31.9%)を5.1ポイント上回っています。

地区別では、「困ったときに相談や助け合いをする」は、石畑・武蔵地区が21.5%と最も高く、次いで殿ヶ谷地区が19.7%となっています。一方、松原地区が13.2%と最も低く、次いで長岡地区が15.9%となっています。

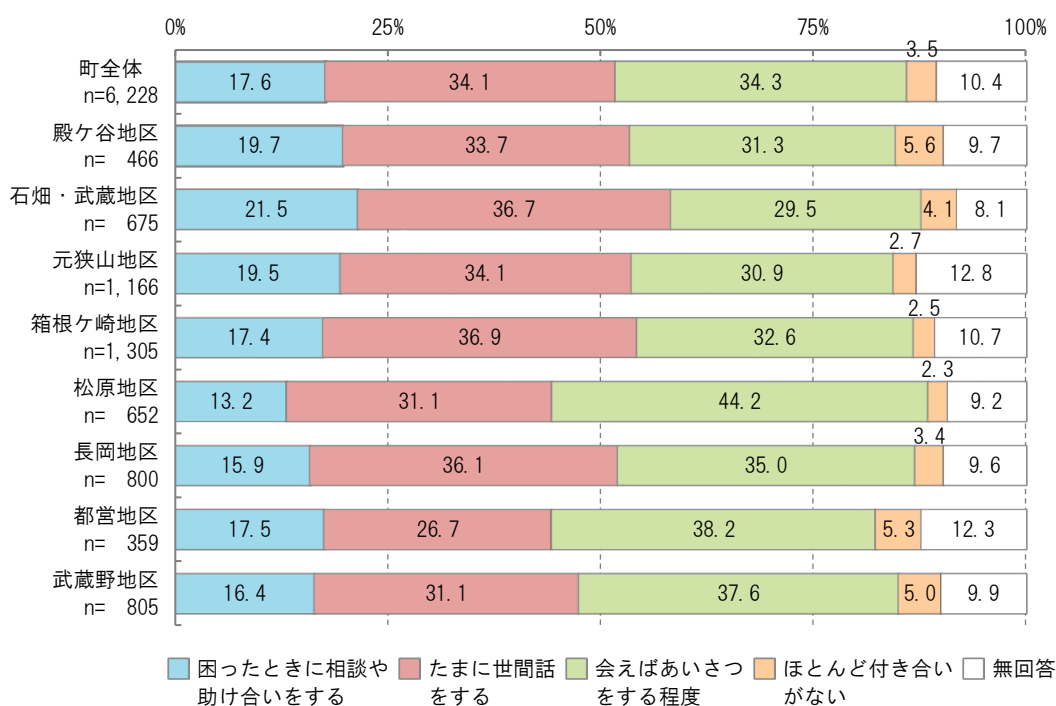
図表 4.4-1 近所付き合いの程度 (性別・年齢階級別)



図表 4.4-2 近所付き合いの程度（判定別）



図表 4.4-3 近所付き合いの程度（地区別）



3 孤食について

(1) 孤食の有無

町全体では「ほとんどない」が45.6%と最も高く、次いで「たまにある」が28.5%、「毎食」が19.8%となっています。

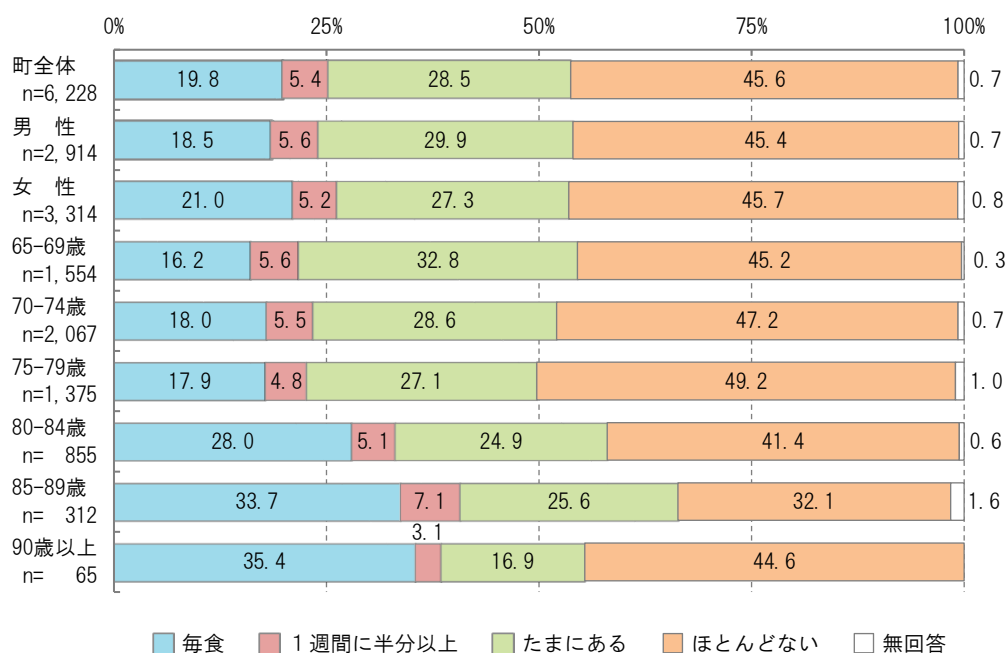
性別では、「毎食」は、女性が21.0%と、男性（18.5%）を2.5ポイント上回っています。

年齢階級別では、「毎食」は、概ね年齢階級が上がるにつれ上昇傾向にあり、「90歳以上」では35.4%となっています。「毎食」と「1週間に半分以上」を合わせた割合は、「85～89歳」では40.8%と最も高くなっています。

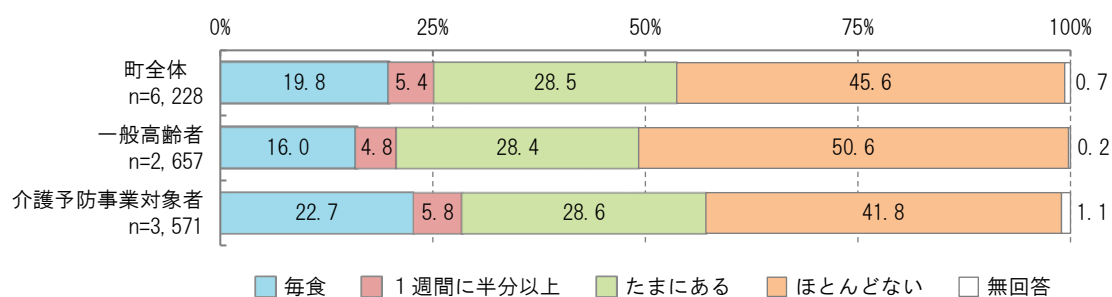
判定別では、「毎食」は、介護予防事業対象者が22.7%と、一般高齢者（16.0%）を6.7ポイント上回っています。

地区別では、「毎食」は、都営地区が31.5%と最も高く、次いで殿ヶ谷地区が22.3%となっています。一方、松原地区が15.8%と最も低く、次いで武蔵野地区が17.9%となっています。

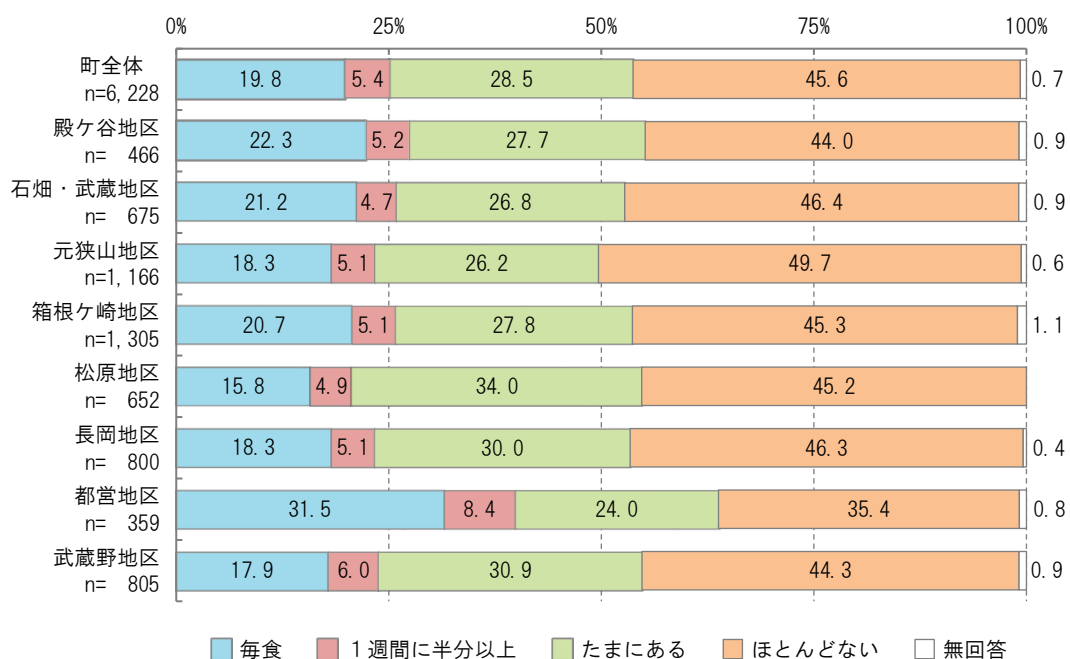
図表 4.5-1 孤食の有無（性別・年齢階級別）



図表 4.5-2 孤食の有無（判定別）



図表 4.5-3 孤食の有無（地区別）



(2) 孤食による孤独感の有無

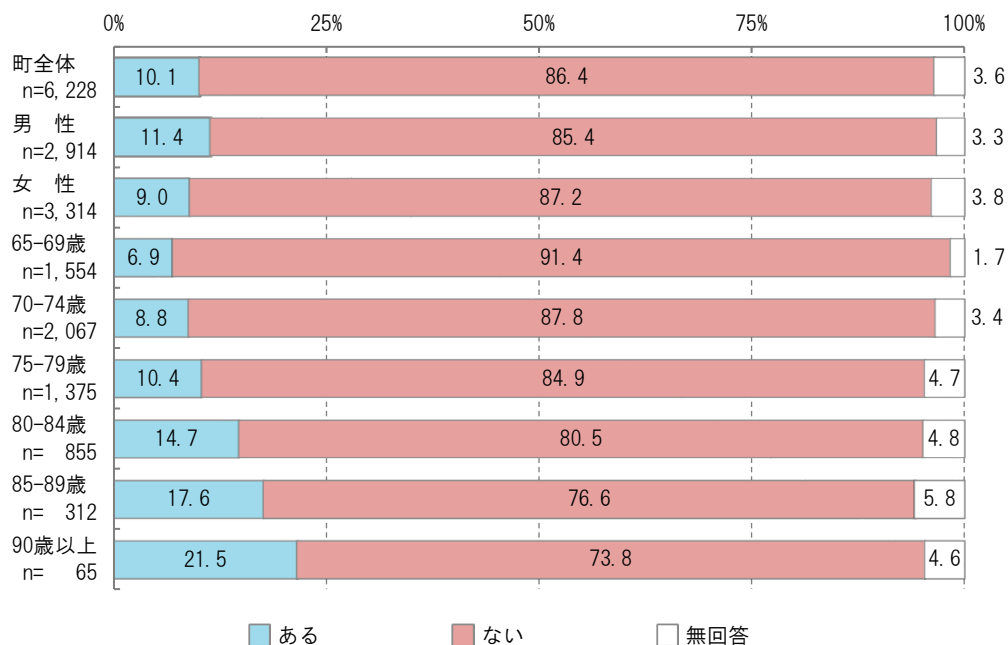
町全体では「ない（1人で食べることに寂しさや孤独を感じていない）」が86.4%、「ある（1人で食べることに寂しさや孤独を感じている）」が10.1%となっています。性別では、「ある」は、男性が11.4%と、女性（9.0%）を2.4ポイント上回っています。

年齢階級別では、「ある」は、年齢階級が上がるにつれ上昇し、「90歳以上」では21.5%となっています。

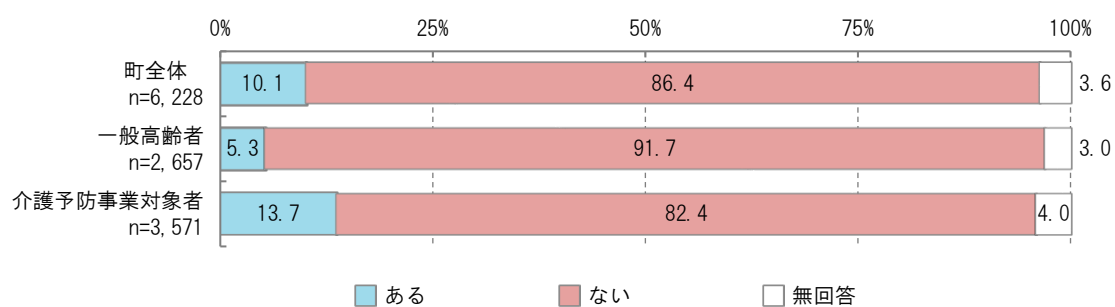
判定別では、「ある」は、介護予防事業対象者が13.7%と、一般高齢者（5.3%）を8.4ポイント上回っています。

地区別では、「ある」は、殿ヶ谷地区が12.7%と最も高く、次いで都営地区が12.0%となっています。一方、石畑・武蔵地区が8.7%と最も低く、次いで元狭山地区が9.1%となっています。

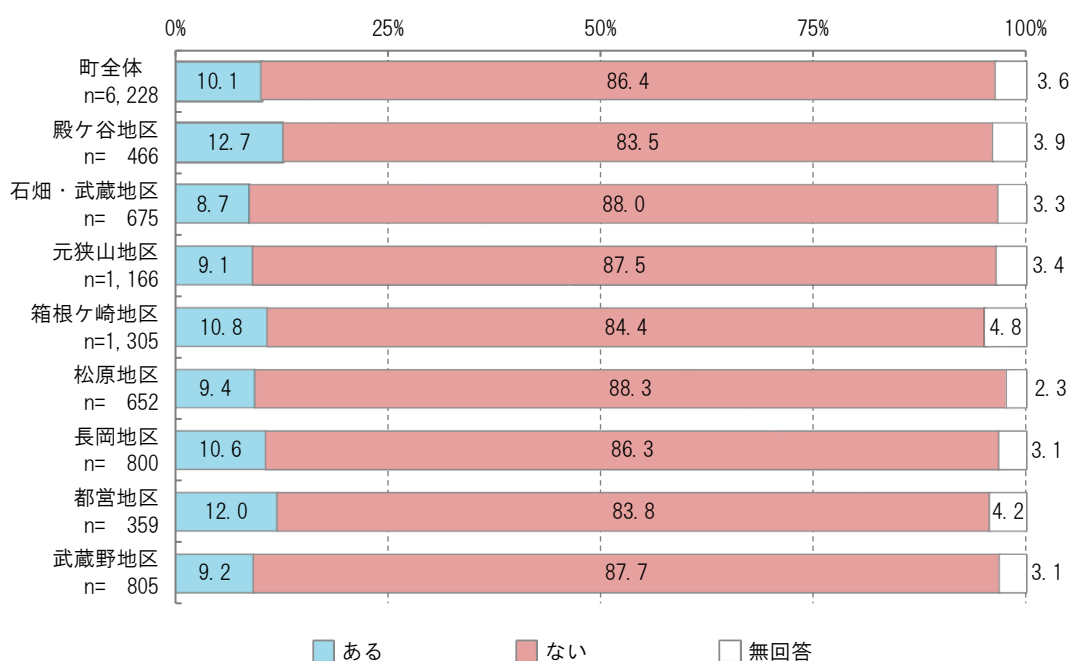
図表 4.6-1 孤食による孤独感の有無（性別・年齢階級別）



図表 4.6-2 孤食による孤独感の有無（判定別）



図表 4.6-3 孤食による孤独感の有無（地区別）



4 歯の健康について

(1) 義歯の使用状況

町全体では「はい（義歯を使用している）」が61.5%となっています。

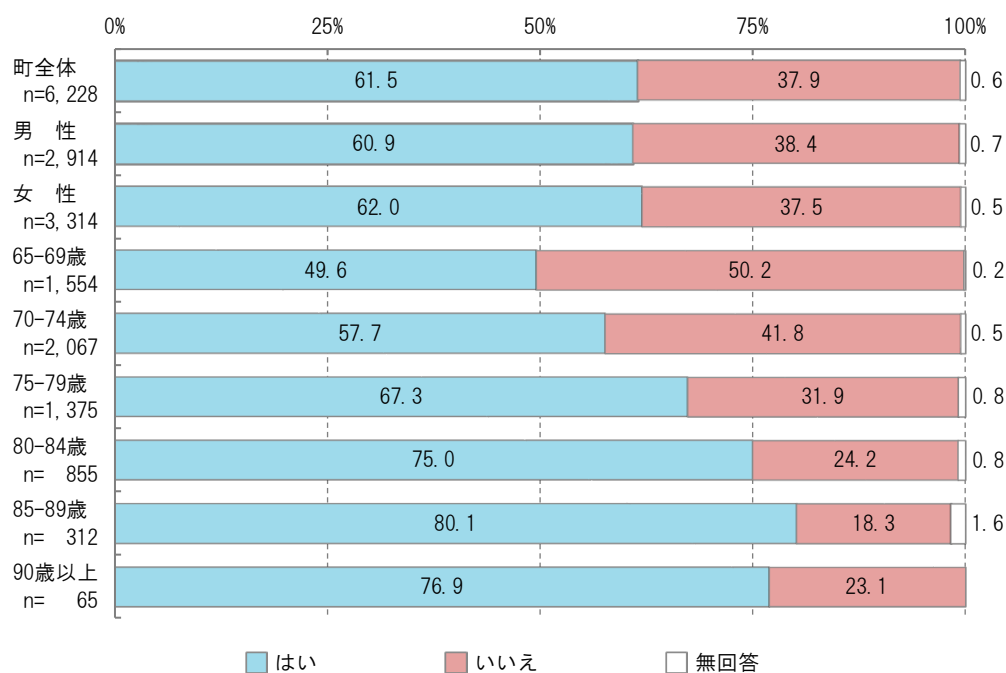
性別では、「はい」は、男性が60.9%、女性が62.0%と、大きな差はみられません。

年齢階級別では、「はい」は、年齢階級が上がるにつれ概ね上昇傾向にあり、「85～89歳」では80.1%となっています。

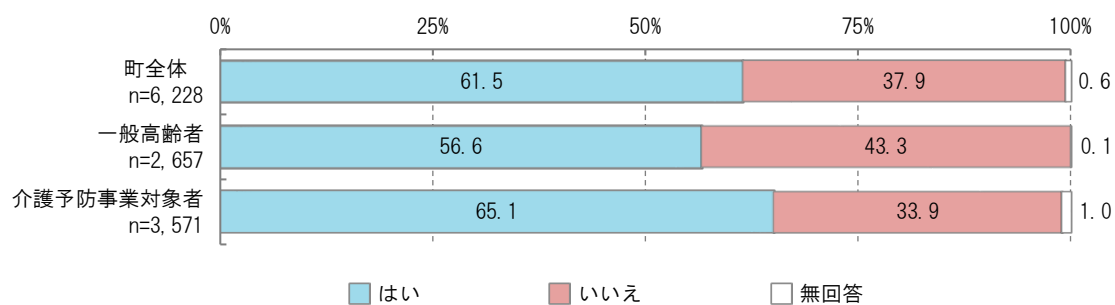
判定別では、「はい」は、介護予防事業対象者が65.1%と、一般高齢者（56.6%）を8.5ポイント上回っています。

地区別では、「はい」は、都営地区が70.2%と最も高く、次いで元狭山地区が63.4%となっています。一方、松原地区が57.5%と最も低く、次いで殿ヶ谷地区が58.6%となっています。

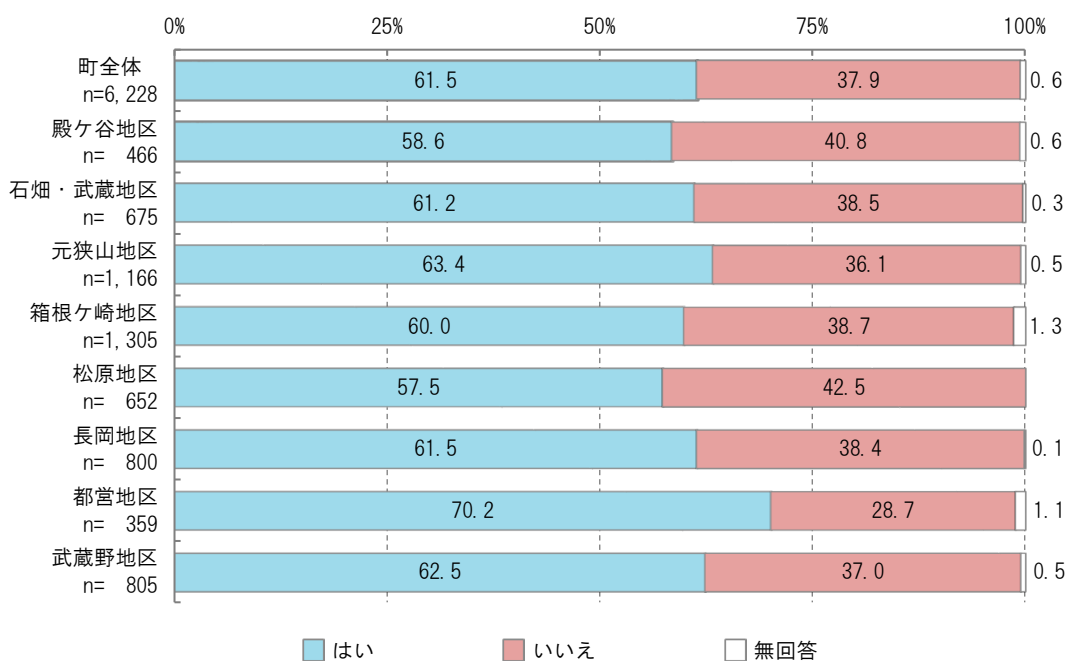
図表 4.7-1 義歯を使用している（性別・年齢階級別）



図表 4.7-2 義歯を使用している（判定別）



図表 4.7-3 義歯を使用している（地区別）



(2) 1年に1回以上、歯医者に行く

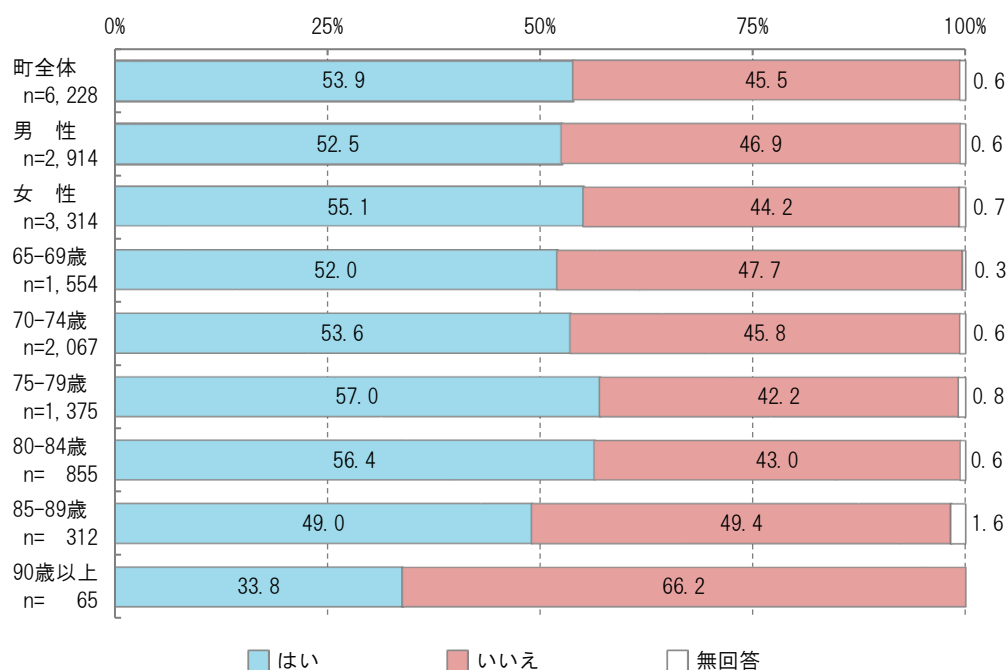
町全体では「はい（1年に1回以上、歯医者に行く）」が53.9%となっています。
性別では、「はい」は、女性が55.1%と、男性（52.5%）を2.6ポイント上回っています。

年齢階級別では、「はい」は、「80～84歳」まで50%を超え、「85～89歳」は49.0%、「90歳以上」は33.8%となっています。

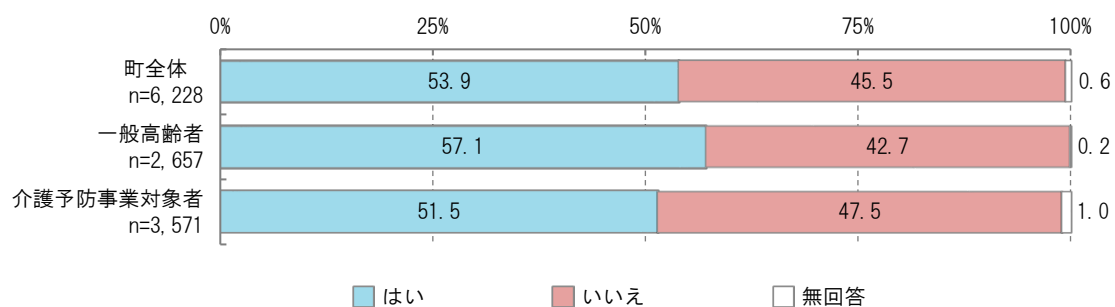
判定別では、「はい」は、一般高齢者が57.1%と、介護予防事業対象者（51.5%）を5.6ポイント上回っています。

地区別では、「はい」は、武蔵野地区が56.8%と最も高く、次いで松原地区が56.3%となっています。一方、都営地区が46.5%と最も低く、次いで長岡地区が50.3%となっています。

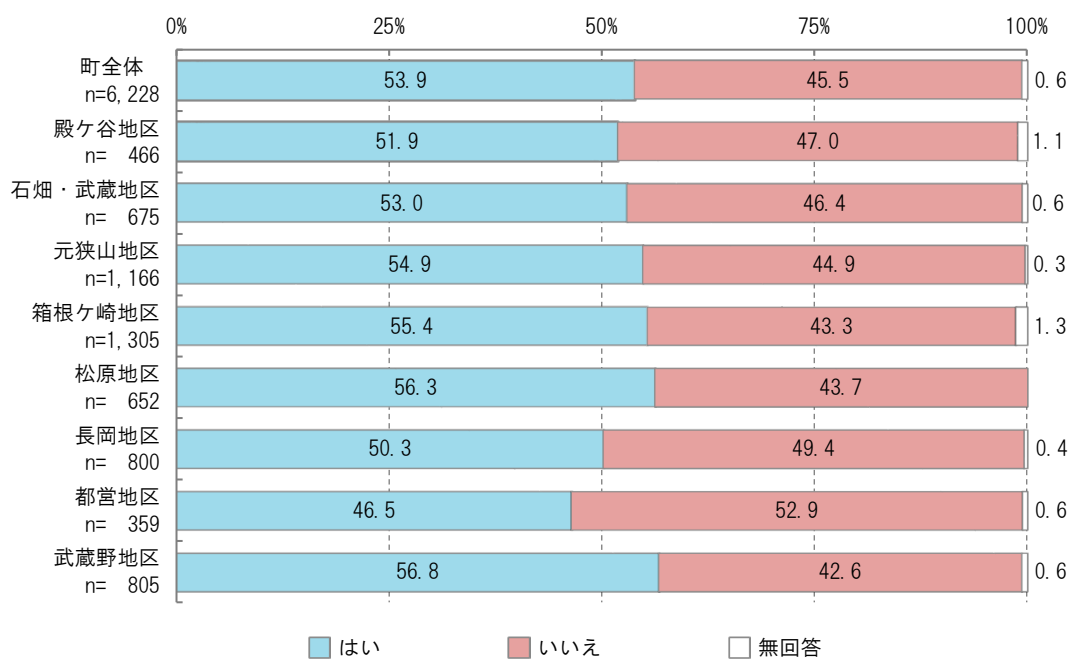
図表 4.8-1 1年に1回以上、歯医者に行く（性別・年齢階級別）



図表 4.8-2 1年に1回以上、歯医者に行く（判定別）



図表 4.8-3 1年に1回以上、歯医者に行く（地区別）



5 外出の状況

(1) 外出がおっくうだと感じる

町全体では「ない（外出がおっくうだと感じることはない）」が60.3%、「時々ある」が33.7%となっています。

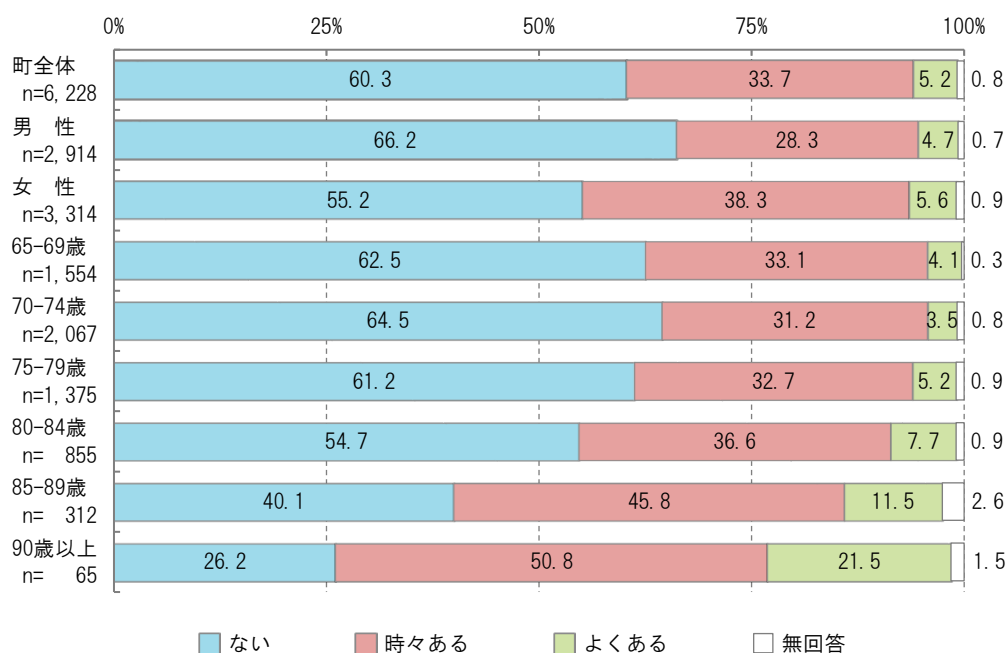
性別では、「ない」は、男性が66.2%と、女性（55.2%）を11.0ポイント上回っています。

年齢階級別では、「ない」は、概ね年齢階級が上がるにつれ低下傾向にあり、「90歳以上」では26.2%となっています。「時々ある」と「よくある」を合わせた割合は、85歳以上になると50%を超えています。

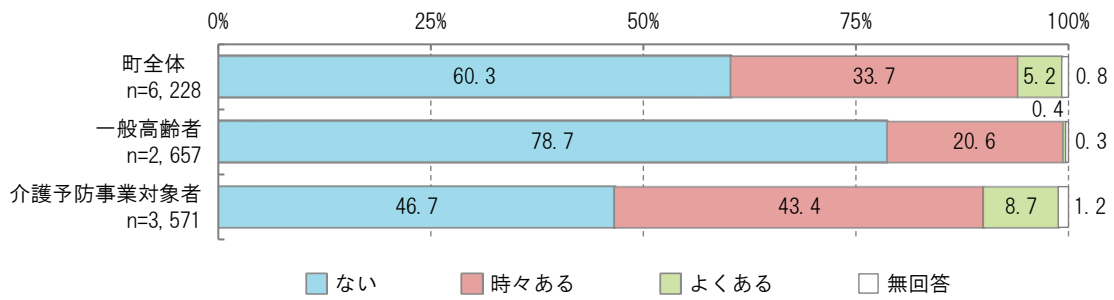
判定別では、「ない」は、一般高齢者が78.7%と、介護予防事業対象者（46.7%）を32.0ポイント上回っています。

地区別では、「ない」は、松原地区が64.4%と最も高く、次いで長岡地区が61.5%となっています。一方、都営地区が54.0%と最も低く、次いで殿ヶ谷地区が57.5%となっています。

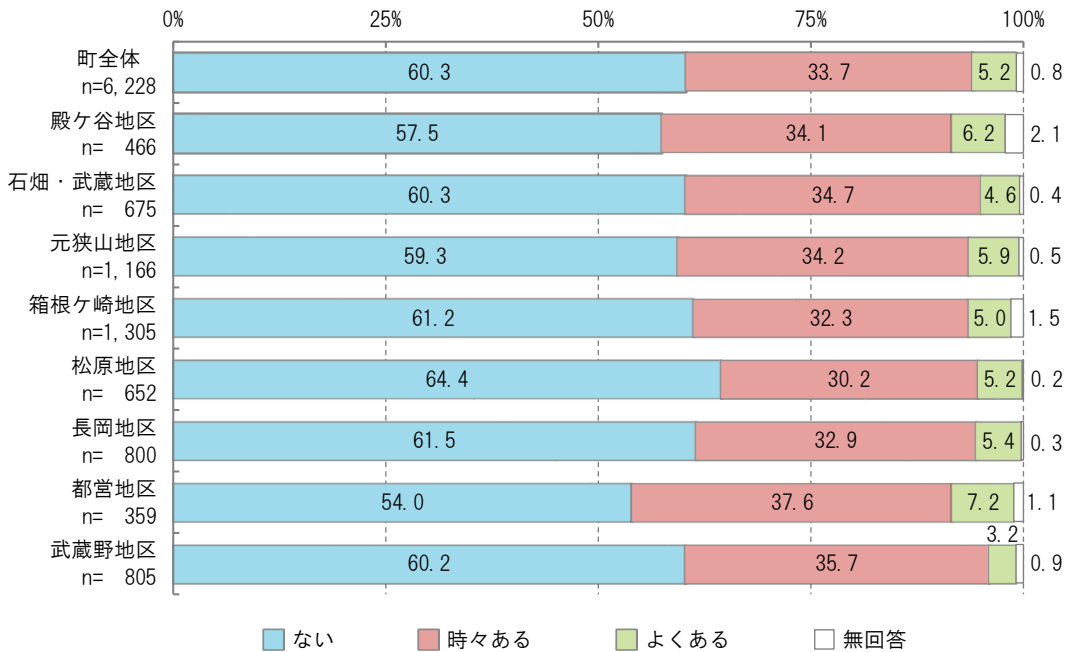
図表 4.9-1 外出がおっくうだと感じる（性別・年齢階級別）



図表 4.9-2 外出がおっくうだと感じる（判定別）



図表 4.9-3 外出がおっくうだと感じる（地区別）



(2) 外出がおっくうだと感じる理由

外出がおっくうだと感じる人がいる人のうち、その理由について、町全体では、「『出かけたがたい』と思える外出先が少ないから」が48.3%と最も高く、次いで「自身の健康面に不安があるから」が23.6%となっています。

性別では、男女ともに、「『出かけたがたい』と思える外出先が少ないから」が最も高く、男性が54.5%と、女性（44.2%）を10.3ポイント上回っています。「公共交通の便が良くない」は女性が21.9%と、男性（15.1%）を6.8ポイント上回り、「経済的な問題」は男性が12.9%と、女性（8.4%）を4.5ポイント上回っています。

年齢階級別では、「80～84歳」までは「『出かけたがたい』と思える外出先が少ないから」が最も高く、85歳以上になると「自身の健康面に不安があるから」が最も高くなっています。「65～69歳」「70～74歳」では「その他」を除いて、「公共交通の便が良くない」が2番目に高くなっています。また、「90歳以上」では「『出かけたがたい』と思える外出先が少ないから」と「外出するためには介助や付き添いが必要だから」がともに31.9%となっています。

判定別では、一般高齢者、介護予防事業対象者ともに「『出かけたがたい』と思える外出先が少ないから」が最も高くなっています。一般高齢者では「公共交通の便が良くない」が2番目に高く、介護予防事業対象者では「自身の健康面に不安があるから」が2番目に高くなっています。

地区別では、いずれも「『出かけたがたい』と思える外出先が少ないから」が最も高くなっています。元狭山地区は「公共交通の便が良くない」が31.2%と2番目に高くなっており、他の地区は「自身の健康面に不安があるから」が2番目に高くなっています。

図表 4.10-1 外出がおっくうだと感じる理由（性別・年齢階級別）※複数回答

上段：人/下段：%

項目	町全体	男性	女性	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上
	n=2,419	n=964	n=1,455	n=577	n=717	n=520	n=379	n=179	n=47
自身の健康面に不安があるから	571 (23.6)	224 (23.2)	347 (23.8)	81 (14.0)	116 (16.2)	136 (26.2)	140 (36.9)	74 (41.3)	24 (51.1)
「出かけたがたい」と思える外出先が少ないから	1,168 (48.3)	525 (54.5)	643 (44.2)	317 (54.9)	384 (53.6)	248 (47.7)	146 (38.5)	58 (32.4)	15 (31.9)
経済的な問題	246 (10.2)	124 (12.9)	122 (8.4)	75 (13.0)	75 (10.5)	53 (10.2)	27 (7.1)	15 (8.4)	1 (2.1)
外出するためには介助や付き添いが必要だから	96 (4.0)	26 (2.7)	70 (4.8)	5 (0.9)	11 (1.5)	14 (2.7)	27 (7.1)	24 (13.4)	15 (31.9)
公共交通の便が良くない	464 (19.2)	146 (15.1)	318 (21.9)	98 (17.0)	134 (18.7)	98 (18.8)	93 (24.5)	36 (20.1)	5 (10.6)
道が狭い、歩道がない	72 (3.0)	29 (3.0)	43 (3.0)	22 (3.8)	19 (2.6)	13 (2.5)	11 (2.9)	7 (3.9)	0 (0.0)
運転免許証を返納したから	178 (7.4)	88 (9.1)	90 (6.2)	12 (2.1)	24 (3.3)	49 (9.4)	57 (15.0)	33 (18.4)	3 (6.4)
その他	509 (21.0)	154 (16.0)	355 (24.4)	155 (26.9)	186 (25.9)	89 (17.1)	50 (13.2)	21 (11.7)	8 (17.0)
無回答	86 (3.6)	32 (3.3)	54 (3.7)	15 (2.6)	21 (2.9)	26 (5.0)	14 (3.7)	8 (4.5)	2 (4.3)

図表 4.10-2 外出がおっくうだと感じる理由（判定別）※複数回答 上段：人/下段：%

項目	町全体 n=2,419	一般高齢者 n=558	介護予防事業対象者 n=1,861
自身の健康面に不安があるから	571 (23.6)	37 (6.6)	534 (28.7)
「出かけたい」と思える外出先が少ないから	1,168 (48.3)	300 (53.8)	868 (46.6)
経済的な問題	246 (10.2)	37 (6.6)	209 (11.2)
外出するためには介助や付き添いが必要だから	96 (4.0)	2 (0.4)	94 (5.1)
公共交通の便が良くない	464 (19.2)	98 (17.6)	366 (19.7)
道が狭い、歩道がない	72 (3.0)	10 (1.8)	62 (3.3)
運転免許証を返納したから	178 (7.4)	21 (3.8)	157 (8.4)
その他	509 (21.0)	151 (27.1)	358 (19.2)
無回答	86 (3.6)	21 (3.8)	65 (3.5)

図表 4.10-3 外出がおっくうだと感じる理由（地区別）※複数回答 上段：人/下段：%

項目	町全体 n=2,419	殿ヶ谷地区 n=188	石畑・武蔵地区 n=265	元狭山地区 n=468	箱根ヶ崎地区 n=487	松原地区 n=231	長岡地区 n=306	都営地区 n=161	武蔵野地区 n=313
自身の健康面に不安があるから	571 (23.6)	60 (31.9)	59 (22.3)	104 (22.2)	119 (24.4)	49 (21.2)	70 (22.9)	41 (25.5)	69 (22.0)
「出かけたい」と思える外出先が少ないから	1,168 (48.3)	92 (48.9)	143 (54.0)	207 (44.2)	234 (48.0)	107 (46.3)	147 (48.0)	76 (47.2)	162 (51.8)
経済的な問題	246 (10.2)	22 (11.7)	19 (7.2)	48 (10.3)	49 (10.1)	18 (7.8)	34 (11.1)	25 (15.5)	31 (9.9)
外出するためには介助や付き添いが必要だから	96 (4.0)	11 (5.9)	10 (3.8)	14 (3.0)	25 (5.1)	6 (2.6)	14 (4.6)	5 (3.1)	11 (3.5)
公共交通の便が良くない	464 (19.2)	27 (14.4)	37 (14.0)	146 (31.2)	76 (15.6)	44 (19.0)	54 (17.6)	23 (14.3)	57 (18.2)
道が狭い、歩道がない	72 (3.0)	5 (2.7)	8 (3.0)	23 (4.9)	20 (4.1)	5 (2.2)	4 (1.3)	4 (2.5)	3 (1.0)
運転免許証を返納したから	178 (7.4)	11 (5.9)	26 (9.8)	28 (6.0)	37 (7.6)	10 (4.3)	25 (8.2)	15 (9.3)	26 (8.3)
その他	509 (21.0)	40 (21.3)	58 (21.9)	89 (19.0)	93 (19.1)	58 (25.1)	72 (23.5)	27 (16.8)	72 (23.0)
無回答	86 (3.6)	6 (3.2)	11 (4.2)	17 (3.6)	19 (3.9)	8 (3.5)	9 (2.9)	9 (5.6)	7 (2.2)

6 物忘れの状況

(1) 探し物をすることや物忘れ

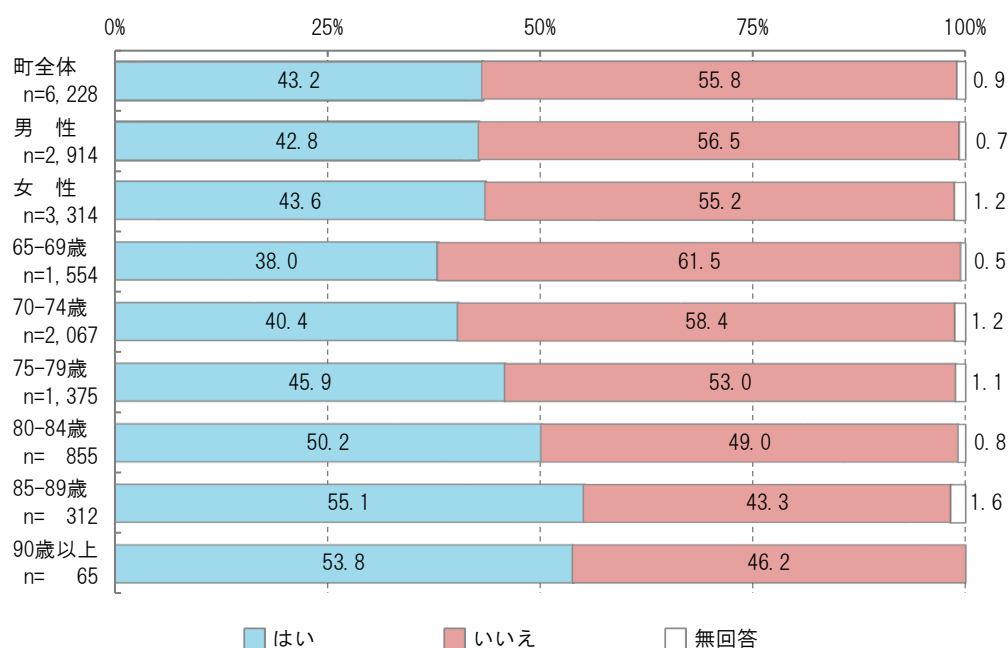
町全体では「はい（探し物をすることや物忘れが多くなったと感じる）」が43.2%、「いいえ」が55.8%となっています。

性別では、「はい」は、男性が42.8%、女性が43.6%と、大きな差はみられません。年齢階級別では、「はい」は、概ね年齢階級が上がるにつれ上昇傾向にあり、80歳以上になると50%を超えています。

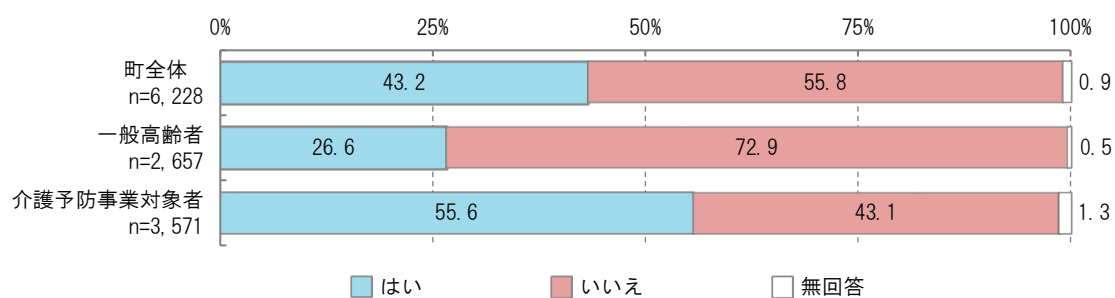
判定別では、「はい」は、介護予防事業対象者が55.6%と、一般高齢者（26.6%）を29.0ポイント上回っています。

地区別では、「はい」は、石畑・武蔵地区が47.6%と最も高く、次いで都営地区が45.7%となっています。一方、松原地区が39.3%と最も低く、次いで元狭山地区が41.8%となっています。

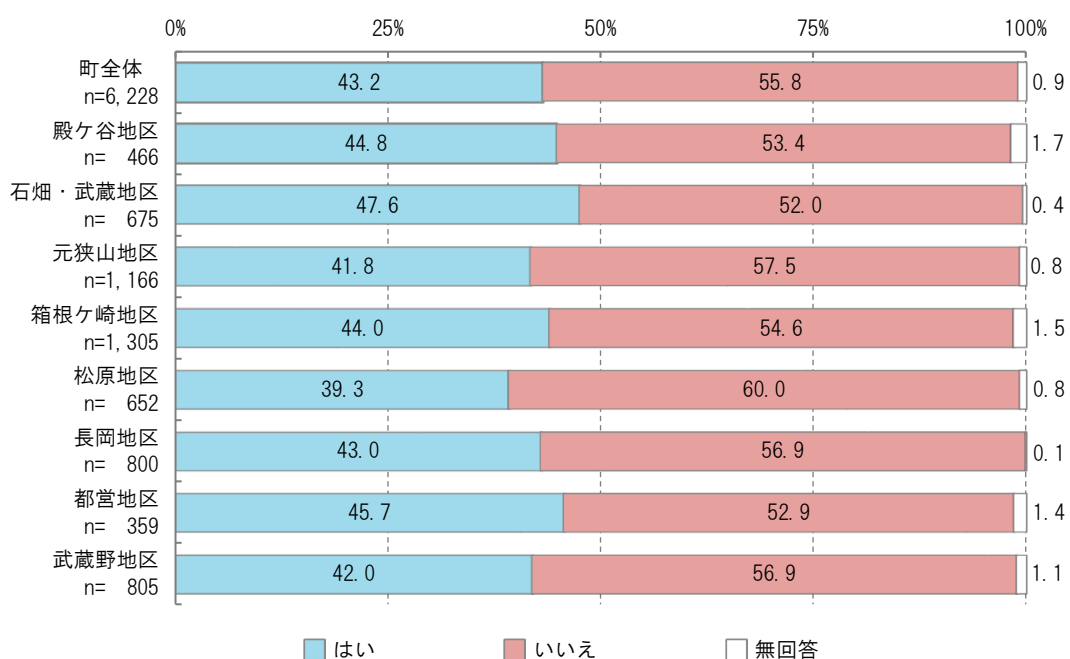
図表 4.11-1 探し物をすることや物忘れが多くなった（性別・年齢階級別）



図表 4.11-2 探し物をする事や物忘れが多くなった（判定別）



図表 4.11-3 探し物をする事や物忘れが多くなった（地区別）



7 スマートフォン等の使用状況

(1) スマートフォン等の所持状況

町全体では、「スマートフォン」が50.3%と最も高く、「パソコン」が23.3%、「持っていない」が31.1%となっています。

性別では、男女ともに、「スマートフォン」が最も高く、男性が53.2%と、女性(47.7%)を5.5ポイント上回っています。「パソコン」は男性が35.7%と、女性(12.5%)を23.2ポイント上回り、「持っていない」は女性が33.8%と、男性(28.1%)を5.7ポイント上回っています。

年齢階級別では、「スマートフォン等を持っている割合」※は、年齢階級が上がるにつれ低下しており、「65～69歳」では86.7%と最も高く、80歳以上になると50%を下回っています。

判定別では、「スマートフォン等を持っている割合」は、一般高齢者が75.3%と、介護予防事業対象者(60.2%)を15.1ポイント上回っています。

地区別では、「スマートフォン等を持っている割合」は、松原地区が73.4%と最も高く、次いで武蔵野地区が69.6%となっています。一方、都営地区が49.6%と最も低く、次いで殿ヶ谷地区が59.3%となっています。

※「スマートフォン等を持っている割合」は100.0%から「持っていない」と「無回答」の割合を引いたものです。

図表 4.12-1 スマートフォン等の所持状況（性別・年齢階級別）※複数回答 上段：人/下段：%

項目	町全体	男性	女性	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上
	n=6,228	n=2,914	n=3,314	n=1,554	n=2,067	n=1,375	n=855	n=312	n=65
タブレット	659 (10.6)	367 (12.6)	292 (8.8)	260 (16.7)	232 (11.2)	109 (7.9)	49 (5.7)	8 (2.6)	1 (1.5)
スマートフォン	3,133 (50.3)	1,551 (53.2)	1,582 (47.7)	1,134 (73.0)	1,171 (56.7)	552 (40.1)	225 (26.3)	46 (14.7)	5 (7.7)
高齢者向けの 簡単なスマートフォン	774 (12.4)	301 (10.3)	473 (14.3)	154 (9.9)	277 (13.4)	187 (13.6)	127 (14.9)	24 (7.7)	5 (7.7)
パソコン	1,454 (23.3)	1,040 (35.7)	414 (12.5)	562 (36.2)	525 (25.4)	245 (17.8)	89 (10.4)	30 (9.6)	3 (4.6)
持っていない	1,939 (31.1)	820 (28.1)	1,119 (33.8)	198 (12.7)	498 (24.1)	533 (38.8)	445 (52.0)	213 (68.3)	52 (80.0)
無回答	140 (2.2)	56 (1.9)	84 (2.5)	10 (0.6)	37 (1.8)	46 (3.3)	27 (3.2)	17 (5.4)	3 (4.6)
スマートフォン等を 持っている割合	(66.7)	(70.0)	(63.7)	(86.7)	(74.1)	(57.9)	(44.8)	(26.3)	(15.4)

図表 4.12-2 スマートフォン等の所持状況（判定別）※複数回答 上段：人/下段：%

項目	町全体 n=6,228	一般高齢者 n=2,657	介護予防事業対象者 n=3,571
タブレット	659 (10.6)	324 (12.2)	335 (9.4)
スマートフォン	3,133 (50.3)	1,575 (59.3)	1,558 (43.6)
高齢者向けの 簡単なスマートフォン	774 (12.4)	314 (11.8)	460 (12.9)
パソコン	1,454 (23.3)	764 (28.8)	690 (19.3)
持っていない	1,939 (31.1)	628 (23.6)	1,311 (36.7)
無回答	140 (2.2)	30 (1.1)	110 (3.1)
スマートフォン等を 持っている割合	(66.7)	(75.3)	(60.2)

図表 4.12-3 スマートフォン等の所持状況（地区別）※複数回答 上段：人/下段：%

項目	町全体	殿ヶ谷 地区	石畑・ 武蔵地区	元狭山 地区	箱根ヶ崎 地区	松原地区	長岡地区	都営地区	武蔵野 地区
	n=6,228	n=466	n=675	n=1,166	n=1,305	n=652	n=800	n=359	n=805
タブレット	659 (10.6)	33 (7.1)	67 (9.9)	125 (10.7)	146 (11.2)	95 (14.6)	83 (10.4)	18 (5.0)	92 (11.4)
スマートフォン	3,133 (50.3)	196 (42.1)	343 (50.8)	616 (52.8)	655 (50.2)	377 (57.8)	407 (50.9)	127 (35.4)	412 (51.2)
高齢者向けの 簡単なスマートフォン	774 (12.4)	64 (13.7)	70 (10.4)	156 (13.4)	165 (12.6)	69 (10.6)	110 (13.8)	39 (10.9)	101 (12.5)
パソコン	1,454 (23.3)	88 (18.9)	161 (23.9)	255 (21.9)	279 (21.4)	205 (31.4)	189 (23.6)	41 (11.4)	236 (29.3)
持っていない	1,939 (31.1)	173 (37.1)	223 (33.0)	348 (29.8)	403 (30.9)	155 (23.8)	238 (29.8)	174 (48.5)	225 (28.0)
無回答	140 (2.2)	17 (3.6)	13 (1.9)	19 (1.6)	35 (2.7)	18 (2.8)	12 (1.5)	7 (1.9)	19 (2.4)
スマートフォン等を 持っている割合	(66.7)	(59.3)	(65.1)	(68.6)	(66.4)	(73.4)	(68.7)	(49.6)	(69.6)

(2) 使用しているアプリ

スマートフォン等を持っている人のうち、使用しているアプリについて、町全体では、「LINE(ライン)」が73.1%と最も高く、次いで「YouTube(ユーチューブ)」が26.0%となっています。

性別では、男女ともに、「LINE(ライン)」が最も高く、女性が78.9%と、男性(66.7%)を12.2ポイント上回っています。「LINE(ライン)」を除いて、いずれも男性が女性を上回り、特に「YouTube(ユーチューブ)」は男性が30.8%と、女性(21.7%)を9.1ポイント上回っています。

年齢階級別では、全ての年齢階級で「LINE(ライン)」が最も高く、「65~69歳」では81.4%となっており、年齢階級が上がるにつれ低下しています。

判定別では、一般高齢者、介護予防事業対象者ともに「LINE(ライン)」が最も高く、一般高齢者が78.3%と、介護予防事業対象者(68.3%)を10.0ポイント上回っています。

地区別では、いずれも「LINE(ライン)」が最も高く、武蔵野地区が77.7%と最も高く、次いで松原地区が76.1%となっています。

図表 4.13-1 使用しているアプリ(性別・年齢階級別) ※複数回答 上段:人/下段:%

項目	町全体	男性	女性	65歳 ~ 69歳	70歳 ~ 74歳	75歳 ~ 79歳	80歳 ~ 84歳	85歳 ~ 89歳	90歳 以上
	n=3,958	n=1,882	n=2,076	n=1,309	n=1,465	n=742	n=360	n=72	n=10
LINE (ライン)	2,895 (73.1)	1,256 (66.7)	1,639 (78.9)	1,066 (81.4)	1,115 (76.1)	477 (64.3)	202 (56.1)	30 (41.7)	5 (50.0)
Facebook (フェイスブック)	240 (6.1)	172 (9.1)	68 (3.3)	96 (7.3)	98 (6.7)	36 (4.9)	10 (2.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
Instagram (インスタグラム)	139 (3.5)	69 (3.7)	70 (3.4)	72 (5.5)	45 (3.1)	17 (2.3)	5 (1.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
Twitter (ツイッター)	131 (3.3)	85 (4.5)	46 (2.2)	60 (4.6)	42 (2.9)	19 (2.6)	9 (2.5)	1 (1.4)	0 (0.0)
YouTube (ユーチューブ)	1,030 (26.0)	580 (30.8)	450 (21.7)	442 (33.8)	373 (25.5)	155 (20.9)	50 (13.9)	7 (9.7)	3 (30.0)
Zoom (ズーム)	236 (6.0)	127 (6.7)	109 (5.3)	91 (7.0)	91 (6.2)	36 (4.9)	14 (3.9)	3 (4.2)	1 (10.0)
Skype (スカイプ)	61 (1.5)	37 (2.0)	24 (1.2)	25 (1.9)	25 (1.7)	4 (0.5)	5 (1.4)	2 (2.8)	0 (0.0)
その他	399 (10.1)	223 (11.8)	176 (8.5)	99 (7.6)	150 (10.2)	78 (10.5)	54 (15.0)	15 (20.8)	3 (30.0)
無回答	595 (15.0)	314 (16.7)	281 (13.5)	115 (8.8)	188 (12.8)	165 (22.2)	97 (26.9)	27 (37.5)	3 (30.0)

図表 4.13-2 使用しているアプリ（判別別）※複数回答

上段：人/下段：%

項目	町全体 n=3,958	一般高齢者 n=1,916	介護予防事業対象者 n=2,042
LINE (ライン)	2,895 (73.1)	1,501 (78.3)	1,394 (68.3)
Facebook (フェイスブック)	240 (6.1)	122 (6.4)	118 (5.8)
Instagram (インスタグラム)	139 (3.5)	78 (4.1)	61 (3.0)
Twitter (ツイッター)	131 (3.3)	74 (3.9)	57 (2.8)
YouTube (ユーチューブ)	1,030 (26.0)	524 (27.3)	506 (24.8)
Zoom (ズーム)	236 (6.0)	129 (6.7)	107 (5.2)
Skype (スカイプ)	61 (1.5)	33 (1.7)	28 (1.4)
その他	399 (10.1)	169 (8.8)	230 (11.3)
無回答	595 (15.0)	236 (12.3)	359 (17.6)

図表 4.13-3 使用しているアプリ（地区別）※複数回答

上段：人/下段：%

項目	町全体 n=3,958	殿ヶ谷 地区 n=262	石畑・ 武蔵地区 n=420	元狭山 地区 n=775	箱根ヶ崎 地区 n=828	松原地区 n=456	長岡地区 n=527	都営地区 n=166	武蔵野 地区 n=524
LINE (ライン)	2,895 (73.1)	169 (64.5)	298 (71.0)	577 (74.5)	598 (72.2)	347 (76.1)	389 (73.8)	110 (66.3)	407 (77.7)
Facebook (フェイスブック)	240 (6.1)	16 (6.1)	23 (5.5)	42 (5.4)	59 (7.1)	31 (6.8)	27 (5.1)	8 (4.8)	34 (6.5)
Instagram (インスタグラム)	139 (3.5)	6 (2.3)	14 (3.3)	29 (3.7)	38 (4.6)	23 (5.0)	12 (2.3)	3 (1.8)	14 (2.7)
Twitter (ツイッター)	131 (3.3)	10 (3.8)	15 (3.6)	28 (3.6)	27 (3.3)	15 (3.3)	14 (2.7)	3 (1.8)	19 (3.6)
YouTube (ユーチューブ)	1,030 (26.0)	70 (26.7)	109 (26.0)	196 (25.3)	192 (23.2)	137 (30.0)	136 (25.8)	31 (18.7)	159 (30.3)
Zoom (ズーム)	236 (6.0)	5 (1.9)	26 (6.2)	46 (5.9)	53 (6.4)	39 (8.6)	30 (5.7)	3 (1.8)	34 (6.5)
Skype (スカイプ)	61 (1.5)	4 (1.5)	7 (1.7)	11 (1.4)	14 (1.7)	7 (1.5)	4 (0.8)	1 (0.6)	13 (2.5)
その他	399 (10.1)	34 (13.0)	45 (10.7)	75 (9.7)	89 (10.7)	51 (11.2)	42 (8.0)	16 (9.6)	47 (9.0)
無回答	595 (15.0)	58 (22.1)	69 (16.4)	118 (15.2)	124 (15.0)	49 (10.7)	83 (15.7)	36 (21.7)	58 (11.1)

(3) スマートフォン等の使い方教室等の参加意向

町全体では「はい(スマートフォン等の使い方教室等に参加したい)」が24.6%となっています。

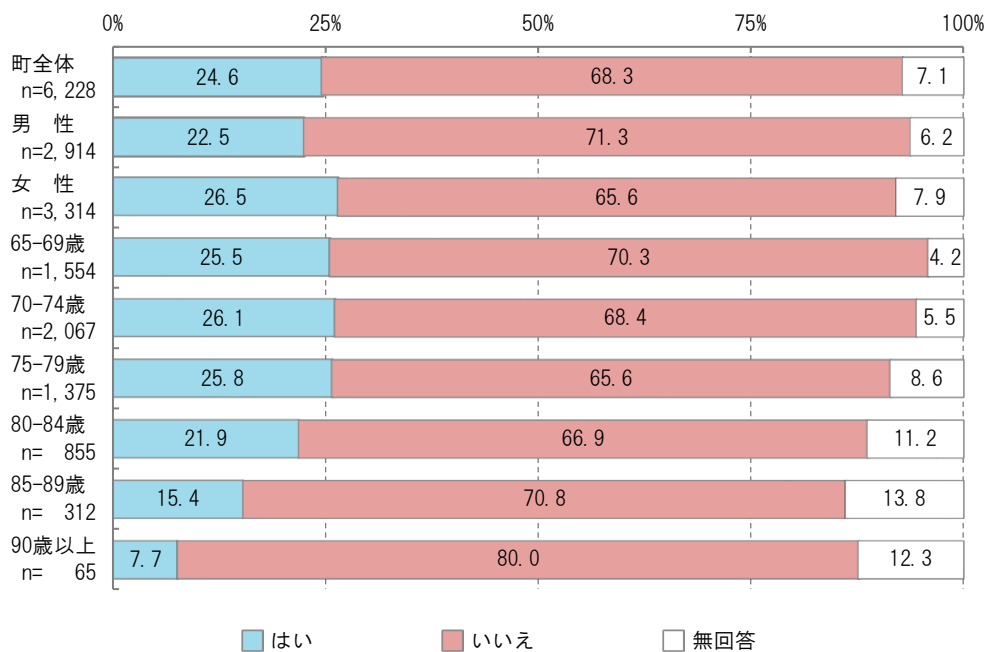
性別では、「はい」は、女性が26.5%と、男性(22.5%)を4.0ポイント上回っています。

年齢階級別では、「はい」は、「75~79歳」までは26%程度となっていますが、80歳以上になると低下し、「90歳以上」では7.7%となっています。

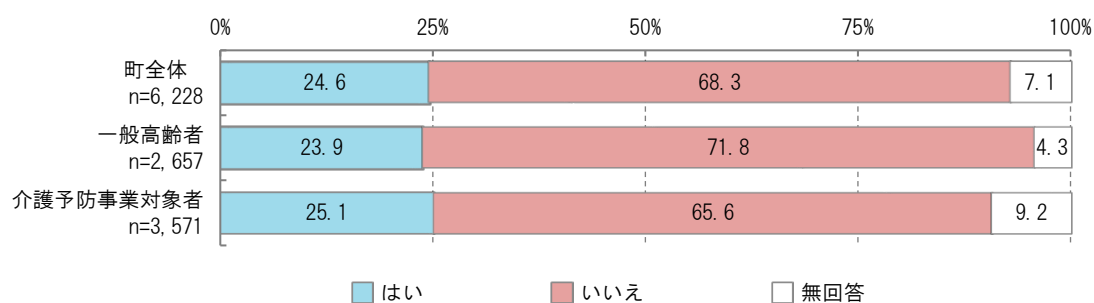
判定別では、「はい」は、一般高齢者が23.9%、介護予防事業対象者が25.1%となっています。

地区別では、「はい」は、箱根ヶ崎地区が27.4%と最も高く、次いで都営地区が25.9%となっています。一方、殿ヶ谷地区が21.5%と最も低く、次いで石畑・武蔵地区が21.9%となっています。

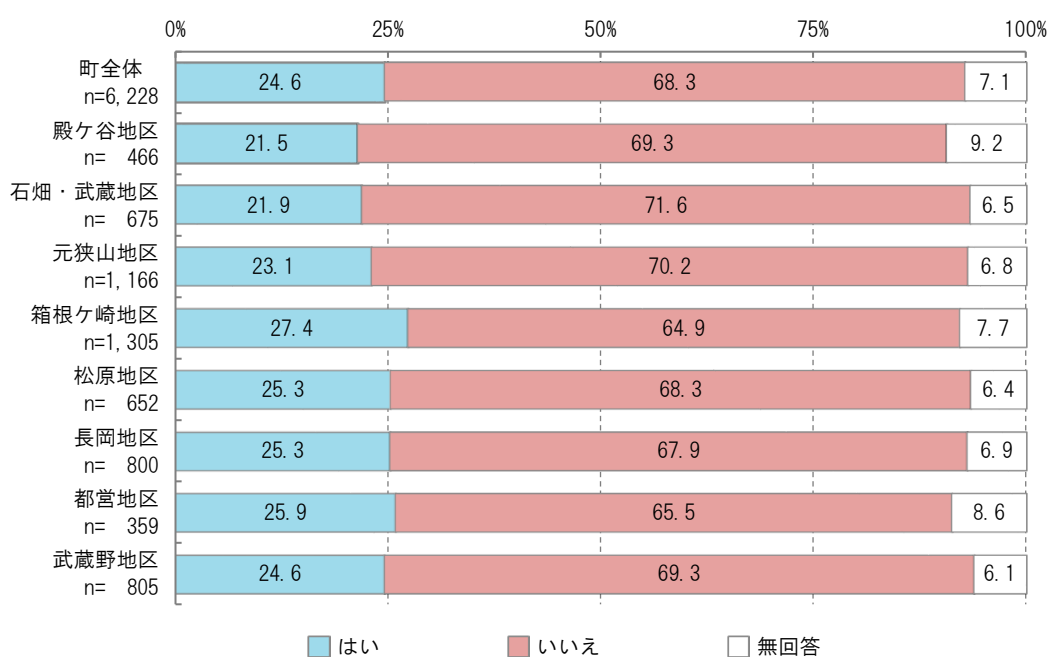
図表 4.14-1 スマートフォン等の使い方教室等に参加したい(性別・年齢階級別)



図表 4.14-2 スマートフォン等の使い方教室等に参加したい（判定別）



図表 4.14-3 スマートフォン等の使い方教室等に参加したい（地区別）



8 日常生活の手助けについて

(1) 日常生活の手助けをしてほしいこと

町全体では、「庭の手入れ」が7.7%と最も高く、次いで「家具の移動」が6.6%、「電球の取り換え」が6.4%となっています。また、「特にない」は70.9%となっています。

性別では、「何らかの手助けをしてほしい割合」※は、女性が25.3%と、男性(15.6%)を9.7ポイント上回っています。また、ほとんどの項目で女性が男性を上回り、「電球の取り換え」は8.0ポイント、「家具の移動」は6.6ポイント上回っています。

年齢階級別では、「何らかの手助けをしてほしい割合」は年齢階級が上がるにつれ上昇し、「90歳以上」では46.2%となっています。

判定別では、「何らかの手助けをしてほしい割合」は、介護予防事業対象者が27.7%と、一般高齢者(11.5%)を16.2ポイント上回っています。介護予防事業対象者では、「庭の手入れ」が10.0%と最も高くなっています。

地区別では、「何らかの手助けをしてほしい割合」は、都営地区が27.6%と最も高く、「電球の取り換え」(12.0%)、「家具の移動」(9.7%)などとなっています。次いで殿ヶ谷地区が24.1%となっており、「庭の手入れ」(9.7%)、「家具の移動」(7.3%)などとなっています。一方、武蔵野地区が17.1%と最も低く、次いで松原地区が17.5%となっています。

家族形態別では、「何らかの手助けをしてほしい割合」は、「ひとり暮らし」が33.5%と最も高く、「庭の手入れ」(11.8%)、「電球の取り換え」(11.1%)、「買物」(7.4%)、「車での送迎」(7.0%)などとなっています。次いで「子や孫、親族等との同居世帯」が20.2%となっており、「庭の手入れ」(8.0%)、「家具の移動」(6.9%)、「電球の取り換え」(6.5%)などとなっています。

※「何らかの手助けをしてほしい割合」は100.0%から「特にない」と「無回答」の割合を引いたものです。

図表 4.15-1 日常生活の手助けをしてほしいこと（性別・年齢階級別）※複数回答

上段：人/下段：%

項目	町全体 n=6,228	男性 n=2,914	女性 n=3,314	65歳 ～ 69歳 n=1,554	70歳 ～ 74歳 n=2,067	75歳 ～ 79歳 n=1,375	80歳 ～ 84歳 n=855	85歳 ～ 89歳 n=312	90歳 以上 n=65
買物	281 (4.5)	95 (3.3)	186 (5.6)	29 (1.9)	39 (1.9)	68 (4.9)	81 (9.5)	49 (15.7)	15 (23.1)
ゴミ出し	102 (1.6)	40 (1.4)	62 (1.9)	11 (0.7)	22 (1.1)	24 (1.7)	27 (3.2)	11 (3.5)	7 (10.8)
部屋の掃除	216 (3.5)	98 (3.4)	118 (3.6)	32 (2.1)	50 (2.4)	44 (3.2)	55 (6.4)	26 (8.3)	9 (13.8)
布団干し	224 (3.6)	58 (2.0)	166 (5.0)	23 (1.5)	45 (2.2)	50 (3.6)	65 (7.6)	27 (8.7)	14 (21.5)
炊事・洗濯	110 (1.8)	58 (2.0)	52 (1.6)	17 (1.1)	22 (1.1)	25 (1.8)	31 (3.6)	9 (2.9)	6 (9.2)
電球の取り換え	397 (6.4)	62 (2.1)	335 (10.1)	40 (2.6)	101 (4.9)	111 (8.1)	90 (10.5)	45 (14.4)	10 (15.4)
家具の移動	412 (6.6)	89 (3.1)	323 (9.7)	52 (3.3)	121 (5.9)	108 (7.9)	89 (10.4)	31 (9.9)	11 (16.9)
庭の手入れ	482 (7.7)	168 (5.8)	314 (9.5)	92 (5.9)	125 (6.0)	110 (8.0)	109 (12.7)	39 (12.5)	7 (10.8)
見守りや声かけ	69 (1.1)	12 (0.4)	57 (1.7)	2 (0.1)	8 (0.4)	17 (1.2)	27 (3.2)	11 (3.5)	4 (6.2)
話し相手	148 (2.4)	62 (2.1)	86 (2.6)	17 (1.1)	31 (1.5)	35 (2.5)	43 (5.0)	14 (4.5)	8 (12.3)
外出の同行	116 (1.9)	40 (1.4)	76 (2.3)	9 (0.6)	18 (0.9)	16 (1.2)	41 (4.8)	22 (7.1)	10 (15.4)
通院の付き添い	192 (3.1)	66 (2.3)	126 (3.8)	14 (0.9)	29 (1.4)	33 (2.4)	70 (8.2)	32 (10.3)	14 (21.5)
車での送迎	277 (4.4)	80 (2.7)	197 (5.9)	28 (1.8)	40 (1.9)	75 (5.5)	84 (9.8)	41 (13.1)	9 (13.8)
自主グループの 立ち上げ・運営	25 (0.4)	12 (0.4)	13 (0.4)	2 (0.1)	6 (0.3)	9 (0.7)	7 (0.8)	1 (0.3)	0 (0.0)
特にない	4,416 (70.9)	2,211 (75.9)	2,205 (66.5)	1,243 (80.0)	1,558 (75.4)	948 (68.9)	476 (55.7)	164 (52.6)	27 (41.5)
その他	125 (2.0)	53 (1.8)	72 (2.2)	26 (1.7)	30 (1.5)	23 (1.7)	25 (2.9)	18 (5.8)	3 (4.6)
無回答	518 (8.3)	247 (8.5)	271 (8.2)	103 (6.6)	185 (9.0)	119 (8.7)	80 (9.4)	23 (7.4)	8 (12.3)
何らかの手助けを してほしい割合	(20.8)	(15.6)	(25.3)	(13.4)	(15.6)	(22.4)	(34.9)	(40.0)	(46.2)

図表 4.15-2 日常生活の手助けをしてほしいこと（判定別）※複数回答

上段：人/下段：%

項目	町全体 n=6, 228	一般高齢者 n=2, 657	介護予防事業対象者 n=3, 571
買物	281 (4. 5)	43 (1. 6)	238 (6. 7)
ゴミ出し	102 (1. 6)	14 (0. 5)	88 (2. 5)
部屋の掃除	216 (3. 5)	30 (1. 1)	186 (5. 2)
布団干し	224 (3. 6)	35 (1. 3)	189 (5. 3)
炊事・洗濯	110 (1. 8)	13 (0. 5)	97 (2. 7)
電球の取り換え	397 (6. 4)	92 (3. 5)	305 (8. 5)
家具の移動	412 (6. 6)	109 (4. 1)	303 (8. 5)
庭の手入れ	482 (7. 7)	124 (4. 7)	358 (10. 0)
見守りや声かけ	69 (1. 1)	5 (0. 2)	64 (1. 8)
話し相手	148 (2. 4)	17 (0. 6)	131 (3. 7)
外出の同行	116 (1. 9)	12 (0. 5)	104 (2. 9)
通院の付き添い	192 (3. 1)	13 (0. 5)	179 (5. 0)
車での送迎	277 (4. 4)	38 (1. 4)	239 (6. 7)
自主グループの 立ち上げ・運営	25 (0. 4)	6 (0. 2)	19 (0. 5)
特にない	4, 416 (70. 9)	2, 134 (80. 3)	2, 282 (63. 9)
その他	125 (2. 0)	35 (1. 3)	90 (2. 5)
無回答	518 (8. 3)	219 (8. 2)	299 (8. 4)
何らかの手助けを してほしい割合	(20. 8)	(11. 5)	(27. 7)

図表 4.15-3 日常生活の手助けをしてほしいこと（地区別）※複数回答 上段：人/下段：%

項目	町全体 n=6,228	殿ヶ谷 地区 n=466	石畑・ 武蔵地区 n=675	元狭山 地区 n=1,166	箱根ヶ崎 地区 n=1,305	松原地区 n=652	長岡地区 n=800	都営地区 n=359	武蔵野 地区 n=805
買物	281 (4.5)	26 (5.6)	28 (4.1)	47 (4.0)	68 (5.2)	16 (2.5)	39 (4.9)	20 (5.6)	37 (4.6)
ゴミ出し	102 (1.6)	12 (2.6)	7 (1.0)	21 (1.8)	25 (1.9)	3 (0.5)	15 (1.9)	8 (2.2)	11 (1.4)
部屋の掃除	216 (3.5)	24 (5.2)	23 (3.4)	40 (3.4)	43 (3.3)	8 (1.2)	33 (4.1)	21 (5.8)	24 (3.0)
布団干し	224 (3.6)	28 (6.0)	33 (4.9)	38 (3.3)	47 (3.6)	7 (1.1)	33 (4.1)	15 (4.2)	23 (2.9)
炊事・洗濯	110 (1.8)	10 (2.1)	9 (1.3)	24 (2.1)	24 (1.8)	5 (0.8)	15 (1.9)	10 (2.8)	13 (1.6)
電球の取り換え	397 (6.4)	30 (6.4)	47 (7.0)	64 (5.5)	89 (6.8)	27 (4.1)	49 (6.1)	43 (12.0)	48 (6.0)
家具の移動	412 (6.6)	34 (7.3)	44 (6.5)	55 (4.7)	92 (7.0)	41 (6.3)	64 (8.0)	35 (9.7)	47 (5.8)
庭の手入れ	482 (7.7)	45 (9.7)	63 (9.3)	88 (7.5)	103 (7.9)	52 (8.0)	62 (7.8)	18 (5.0)	51 (6.3)
見守りや声かけ	69 (1.1)	7 (1.5)	5 (0.7)	11 (0.9)	16 (1.2)	4 (0.6)	11 (1.4)	6 (1.7)	9 (1.1)
話し相手	148 (2.4)	14 (3.0)	13 (1.9)	36 (3.1)	30 (2.3)	10 (1.5)	18 (2.3)	10 (2.8)	17 (2.1)
外出の同行	116 (1.9)	14 (3.0)	13 (1.9)	22 (1.9)	27 (2.1)	4 (0.6)	16 (2.0)	5 (1.4)	15 (1.9)
通院の付き添い	192 (3.1)	27 (5.8)	25 (3.7)	32 (2.7)	49 (3.8)	10 (1.5)	20 (2.5)	12 (3.3)	17 (2.1)
車での送迎	277 (4.4)	25 (5.4)	29 (4.3)	60 (5.1)	48 (3.7)	20 (3.1)	41 (5.1)	17 (4.7)	37 (4.6)
自主グループの 立ち上げ・運営	25 (0.4)	2 (0.4)	4 (0.6)	3 (0.3)	5 (0.4)	1 (0.2)	5 (0.6)	2 (0.6)	3 (0.4)
特にない	4,416 (70.9)	325 (69.7)	466 (69.0)	836 (71.7)	914 (70.0)	486 (74.5)	559 (69.9)	236 (65.7)	594 (73.8)
その他	125 (2.0)	13 (2.8)	9 (1.3)	23 (2.0)	27 (2.1)	15 (2.3)	12 (1.5)	11 (3.1)	15 (1.9)
無回答	518 (8.3)	29 (6.2)	61 (9.0)	104 (8.9)	107 (8.2)	52 (8.0)	68 (8.5)	24 (6.7)	73 (9.1)
何らかの手助けを してほしい割合	(20.8)	(24.1)	(22.0)	(19.4)	(21.8)	(17.5)	(21.6)	(27.6)	(17.1)

図表 4.15-4 日常生活の手助けをしてほしいこと（家族形態別）※複数回答 上段：人/下段：%

項目	町全体 n=6, 228	ひとり暮らし n=838	65歳以上の 高齢者の みの世帯 n=2, 579	子や孫、 親族等との 同居世帯 n=2, 322	その他 n=313	無回答 n=176
買物	281 (4.5)	62 (7.4)	81 (3.1)	118 (5.1)	8 (2.6)	12 (6.8)
ゴミ出し	102 (1.6)	15 (1.8)	38 (1.5)	40 (1.7)	5 (1.6)	4 (2.3)
部屋の掃除	216 (3.5)	51 (6.1)	74 (2.9)	74 (3.2)	8 (2.6)	9 (5.1)
布団干し	224 (3.6)	30 (3.6)	76 (2.9)	101 (4.3)	7 (2.2)	10 (5.7)
炊事・洗濯	110 (1.8)	18 (2.1)	45 (1.7)	39 (1.7)	5 (1.6)	3 (1.7)
電球の取り換え	397 (6.4)	93 (11.1)	126 (4.9)	150 (6.5)	13 (4.2)	15 (8.5)
家具の移動	412 (6.6)	73 (8.7)	157 (6.1)	160 (6.9)	17 (5.4)	5 (2.8)
庭の手入れ	482 (7.7)	99 (11.8)	160 (6.2)	186 (8.0)	19 (6.1)	18 (10.2)
見守りや声かけ	69 (1.1)	25 (3.0)	12 (0.5)	26 (1.1)	2 (0.6)	4 (2.3)
話し相手	148 (2.4)	49 (5.8)	34 (1.3)	52 (2.2)	6 (1.9)	7 (4.0)
外出の同行	116 (1.9)	16 (1.9)	37 (1.4)	52 (2.2)	3 (1.0)	8 (4.5)
通院の付き添い	192 (3.1)	26 (3.1)	56 (2.2)	99 (4.3)	4 (1.3)	7 (4.0)
車での送迎	277 (4.4)	59 (7.0)	83 (3.2)	115 (5.0)	12 (3.8)	8 (4.5)
自主グループの 立ち上げ・運営	25 (0.4)	7 (0.8)	8 (0.3)	8 (0.3)	1 (0.3)	1 (0.6)
特にない	4, 416 (70.9)	495 (59.1)	1, 917 (74.3)	1, 678 (72.3)	239 (76.4)	87 (49.4)
その他	125 (2.0)	30 (3.6)	47 (1.8)	37 (1.6)	5 (1.6)	6 (3.4)
無回答	518 (8.3)	62 (7.4)	223 (8.6)	175 (7.5)	24 (7.7)	34 (19.3)
何らかの手助けを してほしい割合	(20.8)	(33.5)	(17.1)	(20.2)	(15.9)	(31.3)

(2) 子育て家庭や高齢者の日常生活で手伝いできること

町全体では、「買物」が17.6%と最も高く、次いで「話し相手」が16.6%、「ゴミ出し」が15.4%となっています。また、「特にない」は54.1%となっています。

性別では、男性は、「買物」が18.5%と最も高く、次いで「電球の取り換え」が17.9%、「車での送迎」が17.7%となっています。女性は、「話し相手」が19.7%と最も高く、次いで「買物」が16.9%、「ゴミ出し」が14.9%となっています。

年齢階級別では、79歳までは「買物」が最も高く、80歳以上になると「ゴミ出し」が最も高くなっています。

判定別では、一般高齢者、介護予防事業対象者ともに「買物」が最も高く、次いで「話し相手」「ゴミ出し」の順となっており、全ての項目で一般高齢者が介護予防事業対象者を上回っています。

地区別では、上位の項目に大きな差はみられません。「特にない」は、都営地区が58.5%と最も高く、次いで武蔵野地区が55.8%となっています。

家族形態別では、上位の項目に大きな差はみられません。「特にない」は、「ひとり暮らし」が58.0%と最も高く、次いで「65歳以上の高齢者のみの世帯」が55.3%となっています。

図表 4.16-1 子育て家庭や高齢者の日常生活で手伝いできること（性別・年齢階級別）

※複数回答

上段：人/下段：%

項目	町全体	男性	女性	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上
	n=6,228	n=2,914	n=3,314	n=1,554	n=2,067	n=1,375	n=855	n=312	n=65
買物	1,098 (17.6)	538 (18.5)	560 (16.9)	333 (21.4)	345 (16.7)	228 (16.6)	146 (17.1)	43 (13.8)	3 (4.6)
ゴミ出し	960 (15.4)	466 (16.0)	494 (14.9)	237 (15.3)	293 (14.2)	215 (15.6)	157 (18.4)	52 (16.7)	6 (9.2)
部屋の掃除	754 (12.1)	341 (11.7)	413 (12.5)	202 (13.0)	218 (10.5)	169 (12.3)	122 (14.3)	37 (11.9)	6 (9.2)
布団干し	531 (8.5)	282 (9.7)	249 (7.5)	147 (9.5)	154 (7.5)	123 (8.9)	82 (9.6)	22 (7.1)	3 (4.6)
炊事・洗濯	588 (9.4)	208 (7.1)	380 (11.5)	164 (10.6)	162 (7.8)	135 (9.8)	91 (10.6)	33 (10.6)	3 (4.6)
電球の取り換え	634 (10.2)	522 (17.9)	112 (3.4)	179 (11.5)	207 (10.0)	141 (10.3)	85 (9.9)	20 (6.4)	2 (3.1)
家具の移動	401 (6.4)	333 (11.4)	68 (2.1)	118 (7.6)	125 (6.0)	90 (6.5)	52 (6.1)	14 (4.5)	2 (3.1)
庭の手入れ	737 (11.8)	502 (17.2)	235 (7.1)	167 (10.7)	226 (10.9)	179 (13.0)	125 (14.6)	38 (12.2)	2 (3.1)
見守りや声かけ	751 (12.1)	299 (10.3)	452 (13.6)	272 (17.5)	243 (11.8)	143 (10.4)	71 (8.3)	19 (6.1)	3 (4.6)
話し相手	1,036 (16.6)	384 (13.2)	652 (19.7)	291 (18.7)	335 (16.2)	209 (15.2)	153 (17.9)	44 (14.1)	4 (6.2)
外出の同行	563 (9.0)	315 (10.8)	248 (7.5)	168 (10.8)	174 (8.4)	128 (9.3)	68 (8.0)	24 (7.7)	1 (1.5)
通院の付き添い	490 (7.9)	268 (9.2)	222 (6.7)	147 (9.5)	152 (7.4)	103 (7.5)	71 (8.3)	16 (5.1)	1 (1.5)
車での送迎	735 (11.8)	517 (17.7)	218 (6.6)	231 (14.9)	240 (11.6)	170 (12.4)	76 (8.9)	17 (5.4)	1 (1.5)
自主グループの 立ち上げ・運営	76 (1.2)	46 (1.6)	30 (0.9)	22 (1.4)	25 (1.2)	19 (1.4)	10 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
特にない	3,372 (54.1)	1,605 (55.1)	1,767 (53.3)	829 (53.3)	1,162 (56.2)	748 (54.4)	422 (49.4)	171 (54.8)	40 (61.5)
その他	177 (2.8)	82 (2.8)	95 (2.9)	49 (3.2)	57 (2.8)	37 (2.7)	23 (2.7)	9 (2.9)	2 (3.1)
無回答	636 (10.2)	253 (8.7)	383 (11.6)	103 (6.6)	201 (9.7)	149 (10.8)	127 (14.9)	45 (14.4)	11 (16.9)

図表 4.16-2 子育て家庭や高齢者の日常生活で手伝いできること（判定別）※複数回答
上段：人/下段：%

項目	町全体 n=6, 228	一般高齢者 n=2, 657	介護予防事業対象者 n=3, 571
買物	1, 098 (17. 6)	527 (19. 8)	571 (16. 0)
ゴミ出し	960 (15. 4)	438 (16. 5)	522 (14. 6)
部屋の掃除	754 (12. 1)	353 (13. 3)	401 (11. 2)
布団干し	531 (8. 5)	273 (10. 3)	258 (7. 2)
炊事・洗濯	588 (9. 4)	269 (10. 1)	319 (8. 9)
電球の取り換え	634 (10. 2)	310 (11. 7)	324 (9. 1)
家具の移動	401 (6. 4)	200 (7. 5)	201 (5. 6)
庭の手入れ	737 (11. 8)	363 (13. 7)	374 (10. 5)
見守りや声かけ	751 (12. 1)	380 (14. 3)	371 (10. 4)
話し相手	1, 036 (16. 6)	488 (18. 4)	548 (15. 3)
外出の同行	563 (9. 0)	269 (10. 1)	294 (8. 2)
通院の付き添い	490 (7. 9)	232 (8. 7)	258 (7. 2)
車での送迎	735 (11. 8)	374 (14. 1)	361 (10. 1)
自主グループの 立ち上げ・運営	76 (1. 2)	43 (1. 6)	33 (0. 9)
特にない	3, 372 (54. 1)	1, 454 (54. 7)	1, 918 (53. 7)
その他	177 (2. 8)	76 (2. 9)	101 (2. 8)
無回答	636 (10. 2)	219 (8. 2)	417 (11. 7)

図表 4.16-3 子育て家庭や高齢者の日常生活で手伝いできること（地区別）※複数回答

上段：人/下段：%

項目	町全体 n=6,228	殿ヶ谷 地区 n=466	石畑・ 武蔵地区 n=675	元狭山 地区 n=1,166	箱根ヶ崎 地区 n=1,305	松原地区 n=652	長岡地区 n=800	都営地区 n=359	武蔵野 地区 n=805
買物	1,098 (17.6)	75 (16.1)	134 (19.9)	217 (18.6)	220 (16.9)	123 (18.9)	145 (18.1)	54 (15.0)	130 (16.1)
ゴミ出し	960 (15.4)	78 (16.7)	119 (17.6)	168 (14.4)	203 (15.6)	103 (15.8)	111 (13.9)	63 (17.5)	115 (14.3)
部屋の掃除	754 (12.1)	56 (12.0)	102 (15.1)	132 (11.3)	151 (11.6)	91 (14.0)	97 (12.1)	40 (11.1)	85 (10.6)
布団干し	531 (8.5)	47 (10.1)	58 (8.6)	102 (8.7)	98 (7.5)	64 (9.8)	70 (8.8)	29 (8.1)	63 (7.8)
炊事・洗濯	588 (9.4)	44 (9.4)	67 (9.9)	115 (9.9)	121 (9.3)	69 (10.6)	76 (9.5)	32 (8.9)	64 (8.0)
電球の取り換え	634 (10.2)	51 (10.9)	82 (12.1)	123 (10.5)	111 (8.5)	80 (12.3)	88 (11.0)	25 (7.0)	74 (9.2)
家具の移動	401 (6.4)	38 (8.2)	45 (6.7)	88 (7.5)	66 (5.1)	42 (6.4)	53 (6.6)	19 (5.3)	50 (6.2)
庭の手入れ	737 (11.8)	57 (12.2)	103 (15.3)	152 (13.0)	134 (10.3)	76 (11.7)	98 (12.3)	28 (7.8)	89 (11.1)
見守りや声かけ	751 (12.1)	51 (10.9)	84 (12.4)	139 (11.9)	166 (12.7)	78 (12.0)	106 (13.3)	28 (7.8)	99 (12.3)
話し相手	1,036 (16.6)	75 (16.1)	130 (19.3)	211 (18.1)	204 (15.6)	104 (16.0)	141 (17.6)	50 (13.9)	121 (15.0)
外出の同行	563 (9.0)	34 (7.3)	67 (9.9)	115 (9.9)	109 (8.4)	66 (10.1)	77 (9.6)	18 (5.0)	77 (9.6)
通院の付き添い	490 (7.9)	38 (8.2)	68 (10.1)	92 (7.9)	97 (7.4)	56 (8.6)	66 (8.3)	18 (5.0)	55 (6.8)
車での送迎	735 (11.8)	62 (13.3)	91 (13.5)	167 (14.3)	140 (10.7)	83 (12.7)	91 (11.4)	24 (6.7)	77 (9.6)
自主グループの 立ち上げ・運営	76 (1.2)	4 (0.9)	6 (0.9)	15 (1.3)	18 (1.4)	10 (1.5)	13 (1.6)	3 (0.8)	7 (0.9)
特にない	3,372 (54.1)	257 (55.2)	340 (50.4)	614 (52.7)	724 (55.5)	357 (54.8)	421 (52.6)	210 (58.5)	449 (55.8)
その他	177 (2.8)	15 (3.2)	10 (1.5)	32 (2.7)	38 (2.9)	21 (3.2)	25 (3.1)	12 (3.3)	24 (3.0)
無回答	636 (10.2)	48 (10.3)	69 (10.2)	129 (11.1)	126 (9.7)	69 (10.6)	76 (9.5)	41 (11.4)	78 (9.7)

図表 4.16-4 子育て家庭や高齢者の日常生活で手伝いできること（家族形態別）※複数回答
上段：人/下段：%

項目	町全体 n=6, 228	ひとり暮らし n=838	65歳以上の 高齢者の みの世帯 n=2, 579	子や孫、 親族等との 同居世帯 n=2, 322	その他 n=313	無回答 n=176
買物	1, 098 (17. 6)	98 (11. 7)	451 (17. 5)	468 (20. 2)	52 (16. 6)	29 (16. 5)
ゴミ出し	960 (15. 4)	84 (10. 0)	369 (14. 3)	440 (18. 9)	40 (12. 8)	27 (15. 3)
部屋の掃除	754 (12. 1)	59 (7. 0)	294 (11. 4)	348 (15. 0)	33 (10. 5)	20 (11. 4)
布団干し	531 (8. 5)	41 (4. 9)	216 (8. 4)	232 (10. 0)	28 (8. 9)	14 (8. 0)
炊事・洗濯	588 (9. 4)	45 (5. 4)	219 (8. 5)	278 (12. 0)	30 (9. 6)	16 (9. 1)
電球の取り換え	634 (10. 2)	53 (6. 3)	280 (10. 9)	252 (10. 9)	38 (12. 1)	11 (6. 3)
家具の移動	401 (6. 4)	35 (4. 2)	173 (6. 7)	162 (7. 0)	26 (8. 3)	5 (2. 8)
庭の手入れ	737 (11. 8)	61 (7. 3)	285 (11. 1)	332 (14. 3)	38 (12. 1)	21 (11. 9)
見守りや声かけ	751 (12. 1)	84 (10. 0)	325 (12. 6)	290 (12. 5)	39 (12. 5)	13 (7. 4)
話し相手	1, 036 (16. 6)	133 (15. 9)	415 (16. 1)	411 (17. 7)	51 (16. 3)	26 (14. 8)
外出の同行	563 (9. 0)	51 (6. 1)	237 (9. 2)	227 (9. 8)	28 (8. 9)	20 (11. 4)
通院の付き添い	490 (7. 9)	52 (6. 2)	202 (7. 8)	200 (8. 6)	23 (7. 3)	13 (7. 4)
車での送迎	735 (11. 8)	69 (8. 2)	307 (11. 9)	303 (13. 0)	38 (12. 1)	18 (10. 2)
自主グループの 立ち上げ・運営	76 (1. 2)	4 (0. 5)	27 (1. 0)	38 (1. 6)	4 (1. 3)	3 (1. 7)
特にない	3, 372 (54. 1)	486 (58. 0)	1, 425 (55. 3)	1, 213 (52. 2)	168 (53. 7)	80 (45. 5)
その他	177 (2. 8)	33 (3. 9)	67 (2. 6)	62 (2. 7)	13 (4. 2)	2 (1. 1)
無回答	636 (10. 2)	100 (11. 9)	258 (10. 0)	210 (9. 0)	25 (8. 0)	43 (24. 4)

9 活動への参加

(1) 参加している活動

町全体では、「趣味活動」が23.3%と最も高く、次いで「収入のある仕事」が22.0%、「町内会活動」が16.4%となっています。また、「何らかの活動に参加している割合」※は、56.0%となっています。

性別では、「何らかの活動に参加している割合」は、男性が57.5%と、女性(54.6%)を2.9ポイント上回っています。「収入のある仕事」は13.0ポイント、「町内会活動」は7.9ポイント、男性が女性を上回っています。一方、「体操教室」は女性が16.3%と、男性(2.2%)を14.1ポイント上回っています。

年齢階級別では、「何らかの活動に参加している割合」は年齢階級が上がるにつれ低下し、80歳以上になると50%を下回っています。

判定別では、「何らかの活動に参加している割合」は、一般高齢者が64.9%と、介護予防事業対象者(49.3%)を15.6ポイント上回っており、「老人クラブ」を除いて、一般高齢者が介護予防事業対象者を上回っています。

地区別では、「何らかの活動に参加している割合」は、元狭山地区が59.7%と最も高く、次いで石畑・武蔵地区が58.5%となっています。一方、都営地区が41.8%と最も低く、次いで殿ヶ谷地区が53.0%となっています。

※「何らかの活動に参加している割合」は100.0%から「いずれの活動にも参加していない」と「無回答」の割合を引いたものです。

図表 4.17-1 参加している活動（性別・年齢階級別）※複数回答 上段：人/下段：%

項目	町全体	男性	女性	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 以上
	n=6,228	n=2,914	n=3,314	n=1,554	n=2,067	n=1,375	n=855	n=312	n=65
趣味活動	1,452 (23.3)	678 (23.3)	774 (23.4)	359 (23.1)	497 (24.0)	356 (25.9)	184 (21.5)	54 (17.3)	2 (3.1)
老人クラブ	440 (7.1)	183 (6.3)	257 (7.8)	24 (1.5)	101 (4.9)	132 (9.6)	113 (13.2)	60 (19.2)	10 (15.4)
体操教室	605 (9.7)	65 (2.2)	540 (16.3)	115 (7.4)	205 (9.9)	151 (11.0)	96 (11.2)	36 (11.5)	2 (3.1)
町内会活動	1,020 (16.4)	600 (20.6)	420 (12.7)	261 (16.8)	346 (16.7)	246 (17.9)	119 (13.9)	45 (14.4)	3 (4.6)
サロン活動	89 (1.4)	12 (0.4)	77 (2.3)	8 (0.5)	27 (1.3)	24 (1.7)	26 (3.0)	3 (1.0)	1 (1.5)
ボランティア活動	394 (6.3)	218 (7.5)	176 (5.3)	85 (5.5)	151 (7.3)	104 (7.6)	44 (5.1)	10 (3.2)	0 (0.0)
収入のある仕事	1,369 (22.0)	843 (28.9)	526 (15.9)	565 (36.4)	526 (25.4)	206 (15.0)	61 (7.1)	11 (3.5)	0 (0.0)
その他	229 (3.7)	117 (4.0)	112 (3.4)	61 (3.9)	79 (3.8)	39 (2.8)	35 (4.1)	12 (3.8)	3 (4.6)
いずれの活動にも 参加していない	2,506 (40.2)	1,144 (39.3)	1,362 (41.1)	536 (34.5)	818 (39.6)	559 (40.7)	390 (45.6)	157 (50.3)	46 (70.8)
無回答	237 (3.8)	93 (3.2)	144 (4.3)	41 (2.6)	66 (3.2)	56 (4.1)	55 (6.4)	16 (5.1)	3 (4.6)
何らかの活動に 参加している割合	(56.0)	(57.5)	(54.6)	(62.9)	(57.2)	(55.2)	(48.0)	(44.6)	(24.6)

図表 4.17-2 参加している活動（判定別）※複数回答

上段：人/下段：%

項目	町全体 n=6,228	一般高齢者 n=2,657	介護予防事業対象者 n=3,571
趣味活動	1,452 (23.3)	789 (29.7)	663 (18.6)
老人クラブ	440 (7.1)	183 (6.9)	257 (7.2)
体操教室	605 (9.7)	296 (11.1)	309 (8.7)
町内会活動	1,020 (16.4)	527 (19.8)	493 (13.8)
サロン活動	89 (1.4)	43 (1.6)	46 (1.3)
ボランティア活動	394 (6.3)	224 (8.4)	170 (4.8)
収入のある仕事	1,369 (22.0)	717 (27.0)	652 (18.3)
その他	229 (3.7)	107 (4.0)	122 (3.4)
いずれの活動にも 参加していない	2,506 (40.2)	863 (32.5)	1,643 (46.0)
無回答	237 (3.8)	68 (2.6)	169 (4.7)
何らかの活動に 参加している割合	(56.0)	(64.9)	(49.3)

図表 4.17-3 参加している活動（地区別）※複数回答

上段：人/下段：%

項目	町全体 n=6,228	殿ヶ谷 地区 n=466	石畑・ 武蔵地区 n=675	元狭山 地区 n=1,166	箱根ヶ崎 地区 n=1,305	松原地区 n=652	長岡地区 n=800	都営地区 n=359	武蔵野 地区 n=805
趣味活動	1,452 (23.3)	109 (23.4)	158 (23.4)	274 (23.5)	327 (25.1)	158 (24.2)	204 (25.5)	48 (13.4)	174 (21.6)
老人クラブ	440 (7.1)	24 (5.2)	58 (8.6)	142 (12.2)	47 (3.6)	29 (4.4)	71 (8.9)	4 (1.1)	65 (8.1)
体操教室	605 (9.7)	41 (8.8)	58 (8.6)	136 (11.7)	130 (10.0)	53 (8.1)	69 (8.6)	41 (11.4)	77 (9.6)
町内会活動	1,020 (16.4)	69 (14.8)	128 (19.0)	223 (19.1)	238 (18.2)	111 (17.0)	102 (12.8)	31 (8.6)	118 (14.7)
サロン活動	89 (1.4)	7 (1.5)	4 (0.6)	20 (1.7)	9 (0.7)	10 (1.5)	13 (1.6)	7 (1.9)	19 (2.4)
ボランティア活動	394 (6.3)	31 (6.7)	32 (4.7)	107 (9.2)	79 (6.1)	36 (5.5)	52 (6.5)	14 (3.9)	43 (5.3)
収入のある仕事	1,369 (22.0)	79 (17.0)	158 (23.4)	283 (24.3)	267 (20.5)	157 (24.1)	184 (23.0)	59 (16.4)	182 (22.6)
その他	229 (3.7)	11 (2.4)	35 (5.2)	41 (3.5)	46 (3.5)	34 (5.2)	26 (3.3)	8 (2.2)	28 (3.5)
いずれの活動にも 参加していない	2,506 (40.2)	199 (42.7)	249 (36.9)	424 (36.4)	544 (41.7)	247 (37.9)	317 (39.6)	189 (52.6)	337 (41.9)
無回答	237 (3.8)	20 (4.3)	31 (4.6)	45 (3.9)	42 (3.2)	26 (4.0)	28 (3.5)	20 (5.6)	25 (3.1)
何らかの活動に 参加している割合	(56.0)	(53.0)	(58.5)	(59.7)	(55.1)	(58.1)	(56.9)	(41.8)	(55.0)

(2) 活動に参加していない理由

いずれの活動にも参加していない人のうち、その理由について、町全体では、「仕事や家庭の事情等で忙しい」が27.8%で最も高く、次いで「健康や体力に自信がない」が24.9%となっています。

性別では、男女ともに「仕事や家庭の事情等で忙しい」が最も高く、男性は27.4%、女性は28.0%となっています。また、女性は「活動場所が家から遠い」が8.1%と、男性(3.0%)を5.1ポイント上回っています。

年齢階級別では、65～74歳は「仕事や家庭の事情等で忙しい」が最も高く、75歳以上になると「健康や体力に自信がない」が最も高くなっています。また、「65～69歳」では「どのような活動があるか知らない」が18.7%と2番目に高く、「90歳以上」では「一緒に参加する友人がいない」が21.7%となっています。

判定別では、一般高齢者は「仕事や家庭の事情等で忙しい」が35.7%と最も高く、介護予防事業対象者は「健康や体力に自信がない」が32.6%と最も高くなっています。

地区別では、殿ヶ谷地区、都営地区は「健康や体力に自信がない」が最も高く、それ以外の地区は「仕事や家庭の事情等で忙しい」が最も高くなっています。

図表 4.18-1 活動に参加していない理由（性別・年齢階級別）※複数回答 上段：人/下段：%

項目	町全体 n=2,506	男性 n=1,144	女性 n=1,362	65歳 ～ 69歳 n=536	70歳 ～ 74歳 n=818	75歳 ～ 79歳 n=559	80歳 ～ 84歳 n=390	85歳 ～ 89歳 n=157	90歳 以上 n=46
健康や体力に 自信がない	625 (24.9)	271 (23.7)	354 (26.0)	91 (17.0)	148 (18.1)	161 (28.8)	136 (34.9)	60 (38.2)	29 (63.0)
仕事や家庭の 事情等で忙しい	696 (27.8)	314 (27.4)	382 (28.0)	193 (36.0)	249 (30.4)	130 (23.3)	89 (22.8)	30 (19.1)	5 (10.9)
どのような活動が あるか知らない	370 (14.8)	188 (16.4)	182 (13.4)	100 (18.7)	122 (14.9)	75 (13.4)	47 (12.1)	20 (12.7)	6 (13.0)
一緒に参加する 友人がいない	272 (10.9)	135 (11.8)	137 (10.1)	65 (12.1)	77 (9.4)	54 (9.7)	47 (12.1)	19 (12.1)	10 (21.7)
活動場所が 家から遠い	145 (5.8)	34 (3.0)	111 (8.1)	21 (3.9)	31 (3.8)	44 (7.9)	30 (7.7)	14 (8.9)	5 (10.9)
手間や経費が かかる	143 (5.7)	73 (6.4)	70 (5.1)	49 (9.1)	50 (6.1)	19 (3.4)	14 (3.6)	9 (5.7)	2 (4.3)
その他	635 (25.3)	301 (26.3)	334 (24.5)	141 (26.3)	243 (29.7)	127 (22.7)	87 (22.3)	30 (19.1)	7 (15.2)
無回答	160 (6.4)	67 (5.9)	93 (6.8)	15 (2.8)	48 (5.9)	46 (8.2)	36 (9.2)	12 (7.6)	3 (6.5)

図表 4.18-2 活動に参加していない理由（判定別）※複数回答 上段：人/下段：%

項目	町全体 n=2,506	一般高齢者 n=863	介護予防事業対象者 n=1,643
健康や体力に 自信がない	625 (24.9)	90 (10.4)	535 (32.6)
仕事や家庭の 事情等で忙しい	696 (27.8)	308 (35.7)	388 (23.6)
どのような活動が あるか知らない	370 (14.8)	110 (12.7)	260 (15.8)
一緒に参加する 友人がいない	272 (10.9)	68 (7.9)	204 (12.4)
活動場所が 家から遠い	145 (5.8)	40 (4.6)	105 (6.4)
手間や経費が かかる	143 (5.7)	35 (4.1)	108 (6.6)
その他	635 (25.3)	251 (29.1)	384 (23.4)
無回答	160 (6.4)	69 (8.0)	91 (5.5)

図表 4.18-3 活動に参加していない理由（判定別）※複数回答 上段：人/下段：%

項目	町全体 n=2,506	殿ヶ谷 地区 n=199	石畑・ 武蔵地区 n=249	元狭山 地区 n=424	箱根ヶ崎 地区 n=544	松原地区 n=247	長岡地区 n=317	都営地区 n=189	武蔵野 地区 n=337
健康や体力に 自信がない	625 (24.9)	54 (27.1)	48 (19.3)	106 (25.0)	141 (25.9)	55 (22.3)	83 (26.2)	62 (32.8)	76 (22.6)
仕事や家庭の 事情等で忙しい	696 (27.8)	51 (25.6)	83 (33.3)	132 (31.1)	154 (28.3)	77 (31.2)	98 (30.9)	24 (12.7)	77 (22.8)
どのような活動が あるか知らない	370 (14.8)	35 (17.6)	34 (13.7)	50 (11.8)	85 (15.6)	30 (12.1)	48 (15.1)	39 (20.6)	49 (14.5)
一緒に参加する 友人がいない	272 (10.9)	22 (11.1)	33 (13.3)	40 (9.4)	59 (10.8)	23 (9.3)	36 (11.4)	22 (11.6)	37 (11.0)
活動場所が 家から遠い	145 (5.8)	4 (2.0)	9 (3.6)	28 (6.6)	32 (5.9)	22 (8.9)	20 (6.3)	12 (6.3)	18 (5.3)
手間や経費が かかる	143 (5.7)	11 (5.5)	11 (4.4)	20 (4.7)	30 (5.5)	11 (4.5)	17 (5.4)	21 (11.1)	22 (6.5)
その他	635 (25.3)	55 (27.6)	63 (25.3)	92 (21.7)	139 (25.6)	66 (26.7)	77 (24.3)	47 (24.9)	96 (28.5)
無回答	160 (6.4)	11 (5.5)	18 (7.2)	33 (7.8)	32 (5.9)	11 (4.5)	18 (5.7)	13 (6.9)	24 (7.1)

(3) 通いの場（体操教室等）やサロンの認知度

町全体では「知っている」が61.3%となっています。

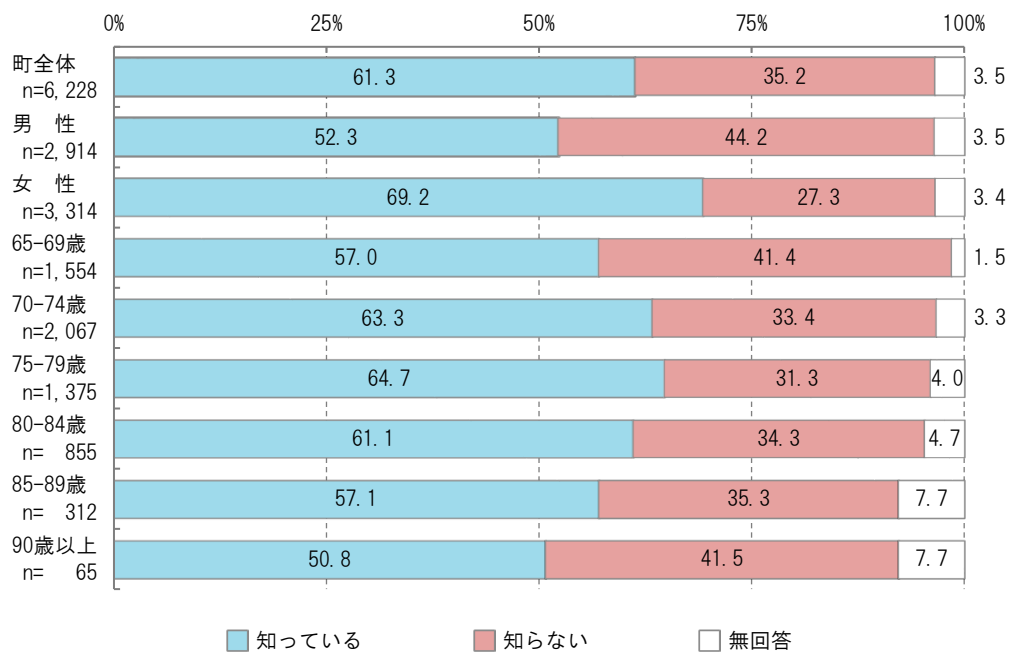
性別では、「知っている」は、女性が69.2%と、男性（52.3%）を16.9ポイント上回っています。

年齢階級別では、「知っている」は、70～84歳では60%台となっていますが、「65～69歳」は57.0%、「85～89歳」は57.1%、「90歳以上」は50.8%となっています。

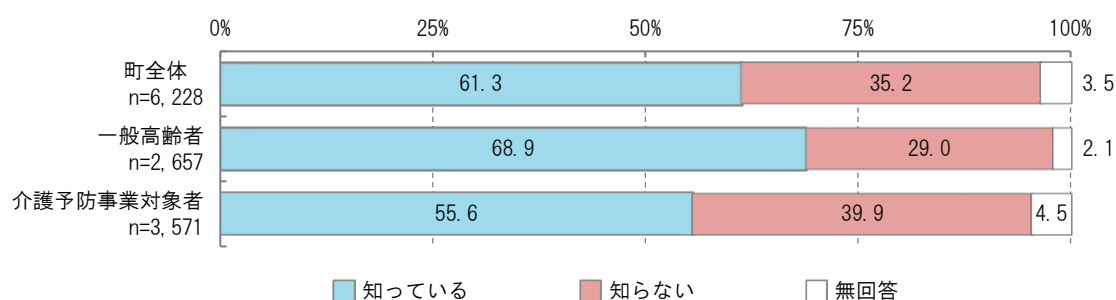
判定別では、「知っている」は、一般高齢者が68.9%と、介護予防事業対象者（55.6%）を13.3ポイント上回っています。

地区別では、「知っている」は、殿ヶ谷地区が66.3%と最も高く、次いで長岡地区が63.8%となっています。一方、松原地区が55.7%と最も低く、次いで都営地区が56.3%となっています。

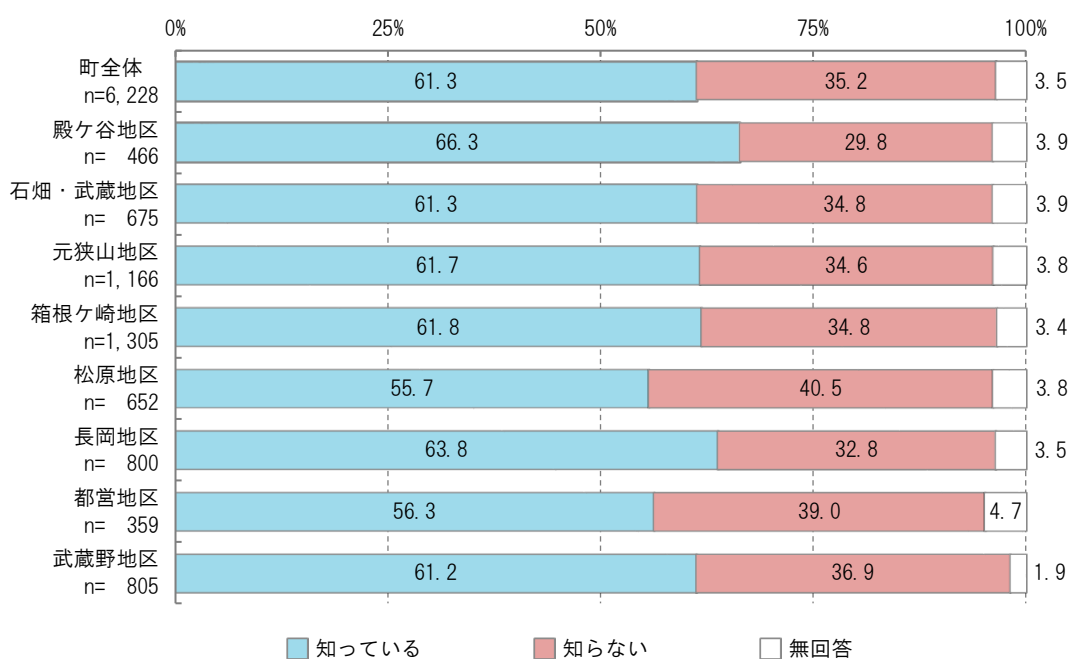
図表 4.19-1 通いの場（体操教室等）やサロンの認知度（性別・年齢階級別）



図表 4.19-2 通いの場（体操教室等）やサロンの認知度（判定別）



図表 4.19-3 通いの場（体操教室等）やサロンの認知度（地区別）



(4) 体操教室やサロン等への参加意向

町全体では「はい(地域に体操教室やサロン等があれば参加したい)」が28.2%となっています。

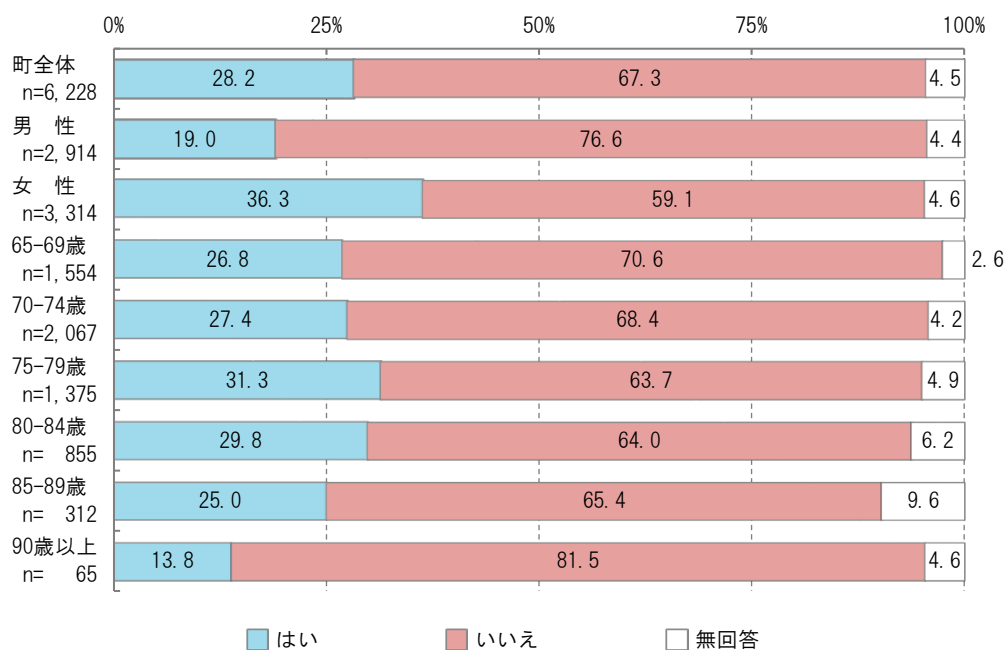
性別では、「はい」は、女性が36.3%と、男性(19.0%)を17.3ポイント上回っています。

年齢階級別では、「はい」は、75~84歳では約30%となっており、65~74歳では約27%となっていますが、「85~89歳」は25.0%、「90歳以上」は13.8%となっています。

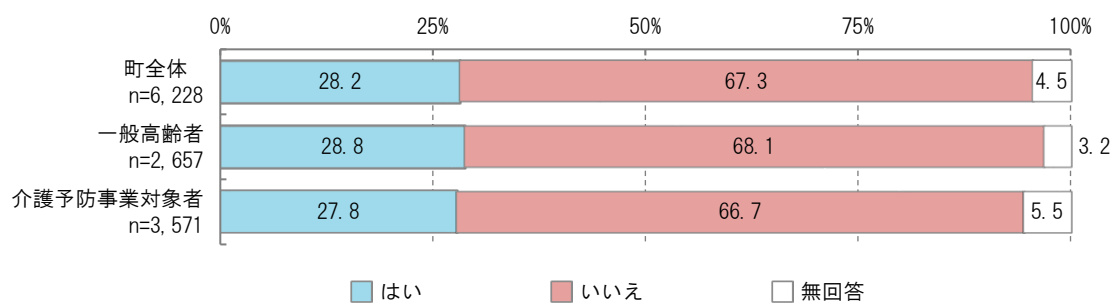
判定別では、「はい」は、一般高齢者が28.8%、介護予防事業対象者が27.8%となっています。

地区別では、「はい」は、殿ヶ谷地区が29.8%と最も高く、次いで都営地区が29.5%となっています。一方、石畑・武蔵地区が26.2%と最も低く、次いで松原地区が26.8%となっています。

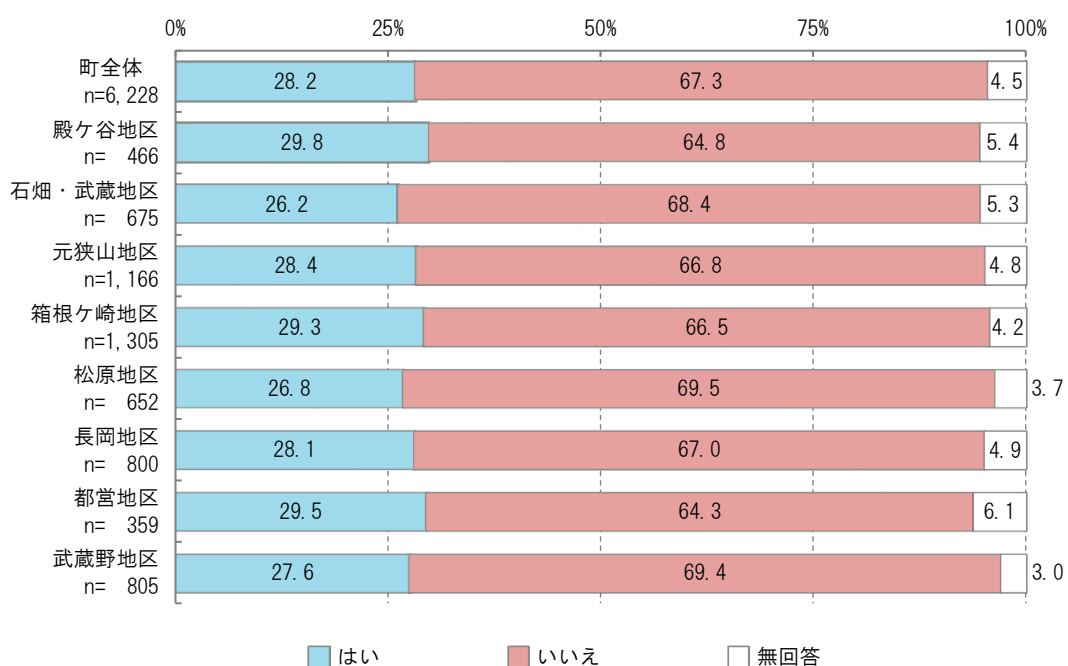
図表 4.20-1 地域に体操教室やサロン等があれば参加したい(性別・年齢階級別)



図表 4.20-2 地域に体操教室やサロン等があれば参加したい（判定別）



図表 4.20-3 地域に体操教室やサロン等があれば参加したい（地区別）



資料編

資料編

1 電算処理の設定条件

集計等の電算処理は、以下の条件に基づいて行いました。

■判定の設定条件

項目	判定条件	
高齢者像	※該当設問に無回答・重複回答があれば、「リスクあり」とする	
一般高齢者	国が示した基本チェックリスト判定条件の非該当者	
介護予防事業対象者	国が示した基本チェックリスト判定条件の該当者	
生活機能低下リスク	該当	・10点以上
	非該当	・0点以上9点以下
	判定不能	・10項目以上無回答があった場合
運動機能低下リスク	該当	・3点以上
	非該当	・0点以上2点以下
	判定不能	・3項目以上無回答があった場合
低栄養リスク	該当	・2点
	非該当	・0点以上1点以下
	判定不能	・1項目以上無回答があった場合
口腔機能低下リスク	該当	・2点以上
	非該当	・0点以上1点以下
	判定不能	・2項目以上無回答があった場合
閉じこもりリスク	該当	・問24が「いいえ」の場合
	非該当	・問24が「はい」の場合
	判定不能	・問24が無回答の場合
物忘れリスク	該当	・1点以上
	非該当	・0点
	判定不能	・1項目以上無回答があった場合
うつ傾向リスク	該当	・2点以上
	非該当	・0点以上1点以下
	判定不能	・2項目以上無回答があった場合

■生活機能低下リスクの判定項目・配点

問番号	項目	配点	選択肢
問3	バスや電車で1人で外出していますか	1	いいえ
		0	はい
問4	日用品の買物をしていますか	1	いいえ
		0	はい
問5	預貯金の出し入れをしていますか	1	いいえ
		0	はい
問6	友人の家を訪ねていますか	1	いいえ
		0	はい
問7	家族や友人の相談にのっていますか	1	いいえ
		0	はい
問10	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	いいえ
		0	はい
問11	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	いいえ
		0	はい
問12	15分位続けて歩いていますか	1	いいえ
		0	はい
問13	この1年間に転んだことがありますか	1	はい
		0	いいえ
問14	転倒に対する不安は大きいですか	1	はい
		0	いいえ
問15	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1	はい
		0	いいえ
問16	身長と体重をご記入ください	1	BMIが18.5未満
		0	BMIが18.5以上
問17	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	はい
		0	いいえ
問18	お茶や汁物等でむせることがありますか	1	はい
		0	いいえ
問19	口の(くち) 渴きが気になりますか	1	はい
		0	いいえ
問24	週に1回以上は外出していますか	1	いいえ
		0	はい
問25	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	はい
		0	いいえ
問28	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	1	はい
		0	いいえ
問29	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1	いいえ
		0	はい
問30	今日が何月何日かわからない時がありますか	1	はい
		0	いいえ

※全ての設問が無回答の場合は、判定不能とします。

■運動機能低下リスクの判定項目・配点

問番号	項目	配点	選択肢
問 10	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	いいえ
		0	はい
問 11	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	いいえ
		0	はい
問 12	15分位続けて歩いていますか	1	いいえ
		0	はい
問 13	この1年間に転んだことがありますか	1	はい
		0	いいえ
問 14	転倒に対する不安は大きいですか	1	はい
		0	いいえ

※全ての設問が無回答の場合は、判定不能とします。

■低栄養リスクの判定項目・配点

問番号	項目	配点	選択肢
問 15	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1	はい
		0	いいえ
問 16	身長と体重をご記入ください	1	BMIが18.5未満
		0	BMIが18.5以上

※全ての設問が無回答の場合は、判定不能とします。

■口腔機能低下リスクの判定項目・配点

問番号	項目	配点	選択肢
問 17	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	はい
		0	いいえ
問 18	お茶や汁物等でむせることがありますか	1	はい
		0	いいえ
問 19	口の（くち）渇きが気になりますか	1	はい
		0	いいえ

※全ての設問が無回答の場合は、判定不能とします。

■閉じこもりリスクの判定項目・配点

問番号	項目	配点	選択肢
問 24	週に1回以上は外出していますか	1	いいえ
		0	はい
問 25	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	はい
		0	いいえ

■物忘れリスクの判定項目・配点

問番号	項目	配点	選択肢
問 28	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	1	はい
		0	いいえ
問 29	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1	いいえ
		0	はい
問 30	今日が何月何日かわからない時がありますか	1	はい
		0	いいえ

■うつ傾向リスクの判定項目・配点

問番号	項目	配点	選択肢
問 32	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がないですか	1	はい
		0	いいえ
問 33	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなりましたか	1	はい
		0	いいえ
問 34	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられますか	1	はい
		0	いいえ
問 35	(ここ2週間) 自分は役に立つ人間だと思えない事がありますか	1	はい
		0	いいえ
問 36	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがしますか	1	はい
		0	いいえ

2 使用した帳票類

(1) 調査票

**令和3年度 瑞穂町
介護予防を推進するための
基本チェックリスト**

記入のしかた

黒のサインペンまたはボールペンで回答してください。



数字は枠内に右詰めで記入してください。
小数点以下は省略します。

体 重 kg

回答するときは、あてはまる四角を塗りつぶしてください。

回答の書き方 → はい いいえ はい いいえ

間違えた回答の方は「×」をばつきりとお書きください。

間違えた場合 → 

**基本チェックリストに
関するお問い合わせ**

基本チェックリスト コールセンター
0120-931-811 (電話)
平日(土・祝)を除く午前9時～午後5時

本事業は、アシスト株式会社に委託し実施しています。

【事業実施主体】瑞穂町 福祉部 高齢者福祉課 電話：042-557-7623(直通) FAX：042-555-3401

→ 回答日及び電話番号を記入してから、以下の質問にお答えください。

回答日

令和 3年

月

日

電話番号 ※ご本人と連絡のとれる電話番号(携帯電話可)を記入ください。

- ##### -

1	現在の家族構成はどれですか	<input type="checkbox"/> ①ひとり暮らし <input type="checkbox"/> ②65歳以上の高齢者のみの世帯 <input type="checkbox"/> ③子や孫、親族等との同居世帯 <input type="checkbox"/> ④その他
2	現在の健康状態はいかがですか	<input type="checkbox"/> ①良い <input type="checkbox"/> ②まあ良い <input type="checkbox"/> ③普通 <input type="checkbox"/> ④あまり良くない <input type="checkbox"/> ⑤良くない

質問は次ページに続きます。ページをめくってください。 次ページ

前のページを回答してから、以下の質問にお答えください。

40	日常生活で手助けをほしいことはありますか (あてはまるものを全てをお選びください) ※その他の場合、具体的に書きください	<input type="checkbox"/> A: 買物 <input type="checkbox"/> B: コミ出し <input type="checkbox"/> C: 部屋の掃除 <input type="checkbox"/> D: 布団干し <input type="checkbox"/> E: 炊事洗濯 <input type="checkbox"/> F: 電球の取り換え <input type="checkbox"/> G: 家具の移動 <input type="checkbox"/> H: 塵の手入れ <input type="checkbox"/> I: 見守りや声かけ <input type="checkbox"/> J: 話し相手 <input type="checkbox"/> K: 外出の同行 <input type="checkbox"/> L: 通院の付き添い <input type="checkbox"/> M: 車での送迎 <input type="checkbox"/> N: 自主グループの立ち上げ運営 <input type="checkbox"/> O: 特になし
41	子育て家庭や高齢者の日常生活で、 ご自身がお手伝いできること はありますか (あてはまるものを全てをお選びください) ※その他の場合、具体的に書きください	<input type="checkbox"/> A: 買物 <input type="checkbox"/> B: コミ出し <input type="checkbox"/> C: 部屋の掃除 <input type="checkbox"/> D: 布団干し <input type="checkbox"/> E: 炊事洗濯 <input type="checkbox"/> F: 電球の取り換え <input type="checkbox"/> G: 家具の移動 <input type="checkbox"/> H: 塵の手入れ <input type="checkbox"/> I: 見守りや声かけ <input type="checkbox"/> J: 話し相手 <input type="checkbox"/> K: 外出の同行 <input type="checkbox"/> L: 通院の付き添い <input type="checkbox"/> M: 車での送迎 <input type="checkbox"/> N: 自主グループの立ち上げ運営 <input type="checkbox"/> O: 特になし
42	次の活動に参加していただけますか (あてはまるものを全てをお選びください)	<input type="checkbox"/> ①趣味活動 <input type="checkbox"/> ②老人クラブ <input type="checkbox"/> ③体操教室 <input type="checkbox"/> ④町内会活動 <input type="checkbox"/> ⑤サロン活動 <input type="checkbox"/> ⑥ボランティア活動 <input type="checkbox"/> ⑦取入のある仕事 <input type="checkbox"/> ⑧その他 <input type="checkbox"/> ⑨いずれの活動にも参加していない
43	問42で⑨「いずれの活動にも参加していない」と回答した方のみ 活動に参加していない理由は何ですか (あてはまるものを全てをお選びください)	<input type="checkbox"/> ①健康や体力に自信がない <input type="checkbox"/> ②仕事や家庭の事情で忙しい <input type="checkbox"/> ③どのような活動があるか知らない <input type="checkbox"/> ④一緒に参加する友人がいない <input type="checkbox"/> ⑤活動場所が家から遠い <input type="checkbox"/> ⑥手間や経費がかかる <input type="checkbox"/> ⑦その他
44	町内に通いの場(体操教室やサロン等)があるのを知っていますか	<input type="checkbox"/> 知っています <input type="checkbox"/> 知らない
45	通える範囲に体操教室やサロン等があれば参加したいですか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

これで質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

令和3年9月17日(金)までに投函してください。

前のページを回答してから、以下の質問にお答えください。

3	バスや電車で1人で外出していますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
4	日用品の買物をしていますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
5	預貯金の出し入れをしていますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
6	友人の家を訪ねていますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
7	家族や友人の相談のっていますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
8	何か困ったときに相談できる人が身近にいますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
9	日頃、正障とはどのような付き合いをしていますか	<input type="checkbox"/> ①困ったときに相談や助け合いをする <input type="checkbox"/> ②たまに世間話をする <input type="checkbox"/> ③会えばあいざつをする程度 <input type="checkbox"/> ④ほとんど付き合いがない
10	階段をすすりや壁をつたわらずに昇っていますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
11	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
12	15分位続けて歩いていますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
13	この1年間に断んだことがありますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
14	転倒に対する不安は大きいですか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
15	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
16	身長と体重をご記入ください。 (小数点以下は省略してください。)	身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm 体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg
17	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
18	お茶や汁物等でむせることがありますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
19	口(くち)の渇きが気になりますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
20	1人で會事をするがありますか	<input type="checkbox"/> ①毎食 <input type="checkbox"/> ②1週間に半分以上 <input type="checkbox"/> ③たまにある <input type="checkbox"/> ④ほとんどない
21	1人で會べることに寂しさや孤独を感じることがありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
22	義歯(総入れ歯 部分入れ歯問わず)を使用していますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

23	1年に1回以上、歯医者に行きますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
24	週に1回以上は外出していますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
25	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
26	外出がおっくうだと感じることがありますか	<input type="checkbox"/> ①ない <input type="checkbox"/> ②時々ある <input type="checkbox"/> ③よくある
	【問26で「②時々ある」または「③よくある」と回答した方にお聞きします。】 その理由は何か(複数回答可)	
27	<input type="checkbox"/> ①自身の健康面に不安があるから <input type="checkbox"/> ②「出かけたい」と思える外出先が少ないから <input type="checkbox"/> ③経済的な問題 <input type="checkbox"/> ④外出するためには介助や付き添いが必要だから <input type="checkbox"/> ⑤公共交通の便が良くない <input type="checkbox"/> ⑥道が狭い、歩道がない <input type="checkbox"/> ⑦運転免許証を返納したから <input type="checkbox"/> ⑧その他()	
28	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
29	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
30	今日が何月何日かわからない時がありますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
31	探し物をすることや物忘れが多くなつたと感じますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
32	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がないですか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
33	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなりましたか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
34	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
35	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えないことがありますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
36	(ここ2週間)わけもなく涙れたような感じがしますか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
37	タブレット端末やスマートフォン等は お持ちですか(複数回答可)	<input type="checkbox"/> ①タブレット <input type="checkbox"/> ②スマートフォン <input type="checkbox"/> ③高齢者向けの簡単なスマートフォン <input type="checkbox"/> ④パソコン <input type="checkbox"/> ⑤持っていない
38	【問37で持っている(①～③)と回答した方にお聞きします。】 お使いのアプリはありますか (複数回答可)	<input type="checkbox"/> ①LINE(ライン) <input type="checkbox"/> ②Facebook(フェイスブック) <input type="checkbox"/> ③Instagram(インスタグラム) <input type="checkbox"/> ④Twitter(ツイッター) <input type="checkbox"/> ⑤YouTube(ユーチューブ) <input type="checkbox"/> ⑥Zoom(ズーム) <input type="checkbox"/> ⑦Skype(スカイプ) <input type="checkbox"/> ⑧その他()
39	スマートフォン等の使い方を学ぶ教室や講座があれば参加したいですか	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

質問は次ページに続きます。ページをめくってください。

次ページ

(2) 結果アドバイス票

令和3年度 **瑞穂町**
介護予防を推進するための
基本チェックリスト
結果アドバイス票

〒190-1292
西多摩郡瑞穂町大字瑞穂ヶ丘2335
瑞穂町 太郎 様

03-99999999

この票は、「瑞穂町 介護予防を推進するための基本チェックリスト」にご回答いただきありがとうございます。回答内容をもとに分類した「結果アドバイス票」をお送りいたします。ご一読いただき、今後より健康的な生活を維持・向上していくために今後立ててください。

平成30年度基本チェックリストの調査結果の概要

「平成30年度瑞穂町介護予防を推進するための基本チェックリスト」にご回答いただきありがとうございます。調査結果を報告いたします。

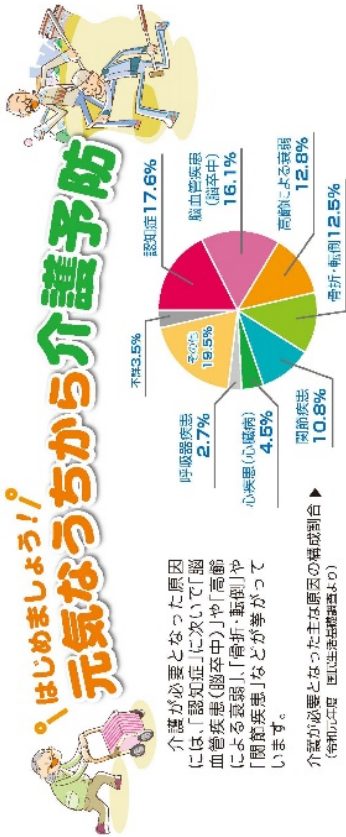
回答率 **85.1%**

- **基本チェックリスト回答率**
平成30年度に実施した基本チェックリストでは、約86%の回答をいただきました。
- **基本チェックリスト判定結果**
健康に留意して注意が必要な方(介護予防対象者)は、回答者の約53.6%となっており、そのうち物忘れや心の健康、お口の健康、足腰の状態に注意が必要割合が高くなっています。

平成30年度は、平成27年度に比べると、ほとんどの項目で注意の必要割合が上昇しています。基本チェックリストによって介護予防の必要性を知り、健康を維持・向上するための取り組みを行うことが効果的であることを示しています。



今年度のあなたの回答結果を確かめてみましょう。 **次ページ**



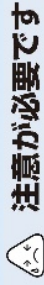
できることから取り組みましょう

日々の生活を少し工夫することで、介護予防につながることはたくさんあります。できるだけ介護を必要とせずに快適な生活を送るため、日々の生活に気をつけましょう。

運動 足腰を鍛えて転倒予防! <ul style="list-style-type: none"> ■散歩や家事などで、できるだけ体を動かしましょう。 ■体力に合わせた運動を、無理なく楽しく続けましょう。 	栄養 バランスよく食べ栄養満点! <ul style="list-style-type: none"> ■定期的に体重を測り、体重が減っていないか確認しましょう。 ■肉、魚、卵、乳製品などのたんぱく質を積極的に食べましょう。 ■食事を抜いたりせず、1日3食とりましょう。 	口 お口元気で体も元気! <ul style="list-style-type: none"> ■口の中のお手入れをよく行って歯を丈夫に保ちましょう。 ■友人、知人との会話を楽しみ、口をよく動かしましょう。 ■定期的に歯科検診を受け、口の中の健康状態を知っておきましょう。 	心 心の健康も大切に! <ul style="list-style-type: none"> ■ストレスをためないようにしましょう。 ■睡眠を十分にとりましょう。 ■気分が落ち込みや不安が長く続く場合は、専門医に相談しましょう。
外出 外に出て生活を活発に! <ul style="list-style-type: none"> ■早起きをして、生活リズムを整えましょう。 ■趣味や地域活動を通じて、外出の機会を増やしましょう。 ■友人・知人との交流を大切にしましょう。 	物忘れ 頭を使って脳力アップ! <ul style="list-style-type: none"> ■日頃から本や新聞を読みましょう。 ■読み書き計算などで、できるだけ脳を使うようにしましょう。 ■短い居寝(30分以内)と運動を行うことにより、脳の健康に役立ちます。 		

結果アドバイス票についてのお問い合わせ
瑞穂町 福祉部 高齢者福祉課 電話：042-557-7623(直通) FAX：042-556-3401

令和3年度基本チエックリスト 判定結果



注意が必要です

町が行っている以下の教室への参加をおすすめします。同封のはがきでお申し込みください。

- **ほほえみ体操** ○ **はつらつ健康体操** ○ **接骨院での運動教室**

各種教室・健康づくりについてのお問い合わせ

高齢者支援センターは、高齢者やその家族のための総合相談窓口です。介護の悩み、介護予防、保健福祉サービスなどについて、医療・保健・福祉の専門スタッフが相談に応じます。お気軽にご相談ください。

東部高齢者支援センター ☎ 042-557-3852
 担当地区 → 緑ヶ谷、生保、有楽町南(中野区)・西三丁目(松戸市)を除く、元赤土(幸町町を除く)

西部高齢者支援センター ☎ 042-557-0609
 担当地区 → 知床分庁(一丁目、三丁目、松戸町)、長町、元赤土(幸町町)、武蔵野、西牛

高齢者支援センターは、高齢者やその家族のための総合相談窓口です。介護の悩み、介護予防、保健福祉サービスなどについて、医療・保健・福祉の専門スタッフが相談に応じます。お気軽にご相談ください。

基本チエックリスト判定質問	回答と点数
○ バスや電車ですら一人で外出していますか	いいえ 1点
○ 日用品の買物をしていますか	いいえ 1点
○ 預貯金の出入入れをしていますか	いいえ 1点
○ 友人の家を訪ねていますか	いいえ 1点
○ 家族や友人の相談のついでに昇っていますか	いいえ 1点
○ 階段を下りたりや壁をつたわらずに昇っていますか	いいえ 1点
○ 椅子に座った状態から何もつがまらずに立ち上がっていますか	いいえ 1点
○ 15分位頻りに歩いていますか	いいえ 1点
○ この1年間に5kg以上体重減少がありますか	はい 1点
○ 毎朝に必ず朝食を食べていますか	はい 1点
○ 6か月以上2〜3kg以上の体重減少がありますか	はい 1点
○ 身長と体重を「記入してください。身長 162 cm 体重 40 kg (BMI = 17.6)	はい 1点
○ 半年前に比べて重いものが食べにくくなりましたか	はい 1点
○ お菜や汁物等が食べられなくなりましたか	はい 1点
○ 口くさりの臭いが気になりますか	はい 1点
★週に1回以上はかたしてはいますか	いいえ 1点
○ 昨年と比べて外出の回数が増えていますか	はい 1点
○ 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	はい 1点
○ 自分で電話番号を調べ、電話をかけることをしていますか	いいえ 1点
○ 今日が何月何日かわからず、時が過ぎていますか	はい 1点
○ (ここ2週間)毎日の生活に充実感がありませんか	はい 1点
○ (ここ2週間)これまで楽しんでやっていたことが楽しめなくなりましたか	はい 1点
○ (ここ2週間)自分が役に立つ人高さを思えないことがありますか	はい 1点
○ (ここ2週間)かけもちやなく疲れたような感じがしますか	はい 1点

※BMI(体重(kg)÷身長(m)×身長(m))はBMI値が18.5未満のとき1点と判定します。
 ○1点の付く質問は、回答が「はい」または「いいえ」のいずれかを答える必要があります。

項目別アドバイス

項目別点数	項目別の様子	項目別アドバイス
1	生活全体の様子 前回 0点 / 今回 0点 10点以上は注意	身の回りのことは自分でできるよ心がけ、体を積極的に動かすことで、日常生活を維持するための体力の向上に努めましょう。また、友人との交流や趣味のある分野での様々な活動を楽しみましょう。
2	足腰の様子 前回 0点 / 今回 0点 3点以上は注意	普段の生活で軽歩や徐歩な運動をして体を積極的に動かす。足腰の筋力やバランス能力、歩行能力などの運動機能の維持向上に努めましょう。
3	栄養状態 前回 0点 / 今回 0点 2点以上は注意	食べることは、健康で自立した生活を送るための基本です。これから栄養バランスや食事に気を付けて、毎日の食生活を豊かにしていきましょう。
4	口の健康 前回 0点 / 今回 0点 2点以上は注意	この辺りの筋肉や舌の動きを強くしたり、口腔内を清潔に保つことは、食後の健康を保つことにつながります。これからは、よく噛んで食べることや口をよこ動かすこと、口腔内を清潔に保つことを心がけましょう。
5	外出の様子 前回 0点 / 今回 0点 ★が1点以上は注意	これからの趣味の楽しみや地域活動に参加するなど、楽しみを另つけて外出の機会を積極的に増やしましょう。
6	物忘れ 前回 0点 / 今回 0点 1点以上は注意	これからは、友人・知人との交流、本や新聞を読むこと、日記を付けることなど、頭の働きを高める活動に取り組みましょう。
7	心の健康 前回 0点 / 今回 0点 2点以上は注意	これからは、生きがいや楽しみを持ち、心の健康を保つ生活を心がけましょう。意欲がわかない、生活全体に張り合いがなくなったり、いつまでも憂鬱な気分が続いたりしたら、信頼できる相手に早めに相談しましょう。

※項目もあわせてご確認ください。

令和3年度瑞穂町生活支援事業ニーズ調査

結果報告書

発行 令和4（2022）年3月

編集 瑞穂町 福祉部 高齢者福祉課

〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2335

電話 042-557-7623